

2 0 2 2 年 度

主要事業の概要

(地方創生事業 以外)

説 明 資 料

豊岡市 政策調整部 財政課

主 要 事 業 の 概 要 （ 目 次 ）

No.	事 業 名	ページ
1	DX・行革の推進(市民目線での行政サービス向上対策)	【新規】 4
2	ぴったりサービス対応のためのシステム改修	【新規】 5
3	地域コミュニティの推進	【継続】 7
4	子どもの読書活動推進事業	【新規】 8
5	新文化会館の整備	【継続】 9
6	乳幼児等医療費助成事業(0～3歳児無料化)	【新規】 10
7	LED防犯灯整備補助	【継続】 11
8	環境政策推進事業	【継続】 12
9	ごみの減量・再資源化対策事業 (プラごみ削減キックオフイベント)	【新規】 13
10	ひきこもり対策	【拡大】 【継続】 14
11	子どもの貧困対策推進事業	【継続】 15
12	生活困窮世帯等子どもの学習支援	【新規】 16
13	健康行動計画の見直し・策定	【継続】 17
14	ふるさと応援寄附金の推進	【拡大】 【継続】 18
15	内発型産業育成事業(経済ビジョンの策定)	【新規】 20
16	特産振興事業 (「豊岡靴×ふるさと納税」シナジープロジェクト)	【新規】 21
17	観光の振興	【拡大】 【継続】 22
18	鳥獣被害防止緊急対策	【継続】 24
19	農業ビジョンの推進	【拡大】 【継続】 25
20	森林環境の整備	【継続】 26
21	地籍調査事業	【継続】 27

No.	事業名		ページ
22	内水処理 (山田川流域内水対策、市街地道路冠水対策)	【継続】	28
23	道路維持 (道路構造物の長寿命化、大規模舗装修繕等)	【継続】	32
24	道路整備 (市単独事業:池上日吉線)	【継続】	63
25	栃江橋整備	【継続】	65
26	上野橋整備	【継続】	67
27	交通安全施設整備 (通学路交通安全緊急対策等)	【継続】	69
28	公共交通利用促進事業 (ノーマイカーデーの拡充実証実験)	【拡大】 【継続】	91
29	城崎振興局の取組み	【新規】 【継続】	92
30	竹野振興局の取組み	【新規】 【継続】	93
31	日高振興局の取組み	【新規】 【継続】	94
32	出石振興局の取組み	【新規】 【継続】	95
33	但東振興局の取組み	【新規】 【拡大】 【継続】	96
34	市民交流広場、こども広場の運営管理	【継続】	97
35	放課後児童クラブ整備事業	【継続】	98
36	私立認定こども園の整備	【新規】	99

No.1	事業名	DX・行革の推進（市民目線での行政サービス向上対策）	2022 年度 予算額	1,027 (493) 千円	新規 拡大 継続
------	-----	----------------------------	-------------------	-------------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進戦略の中間目標である「市民等の手続きは簡単・便利になり、市職員は定型業務をしていた時間を市民サービス向上に使っている」という姿をめざし、市民の視点から、特に窓口等で提供する行政サービスの利便性の向上（例：子育てワンストップ等）について、手続き、業務フロー等の見直しを行う。

2 事業内容

(1) 内 容

ア 内部での検討（5回程度）

関係部署の職員が、有識者等の意見を踏まえ、めざす姿や現状の共有、課題設定、解決策の検討等を行う。

イ 行財政改革委員会での検討（2回程度）

内部での検討結果について、有識者とともに協議する。

(2) 事業期間

2022 年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 2022 年度予算

493 千円

担当課名【政策調整課】（内線 2086）

施策体系番号 6-3-2-2

No.2	事業名	ぴったりサービス対応のためのシステム改修	2022 年度 予算額	12,500 千円	新規 拡大 継続
------	-----	----------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

本市のDX推進戦略に定める「いつでもどこでも問い合わせ、手続き等ができるようになっている」状態の実現を目指すため、市民等がマイナポータルの「ぴったりサービス」を使用してパソコンやスマホから市役所の手続きを行えるように、システム等の改修を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア マイナポータルと豊岡市の基幹系システムを接続するためのネットワーク改修及びファイアウォール等のセキュリティ機器を導入する。

イ ぴったりサービスで入力された申請データを管理するための申請管理システムを導入する。

ウ オンライン手続の対象となるのは、介護・子育て関連の26手続。

(2) 事業期間

ア システム改修期間 2022年度

イ オンライン手続の開始予定 2023年4月1日

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

12,500千円（デジタル基盤改革支援補助金 1/2）

3 2022年度予算

(1) 予算額

12,500千円

(2) 事業内容

ア ネットワーク改修及びセキュリティ機器の導入

イ 申請管理システムの導入

4 その他参考事項

対象となる手続きは別紙参照。

担当課名【情報推進課】（内線 2101）

施策体系番号 6-3-2-3

2023年度より利用開始(予定)となる手続

子育て関係(15手続)

児童手当等の受給資格及び児童手当の額についての認定請求

受給資格者の申出による学校給食費等の徴収等の変更等の申出

児童手当等の額の改定の請求及び届出

児童手当等の現況届

氏名変更/住所変更等の届出

支給認定の申請

受給事由消滅の届出

保育施設等の利用申込

未支払の自動手当等の請求

保育施設等の現況届

児童手当等に係る寄附の申出

児童扶養手当の現況届の事前送信

児童手当に係る寄附変更等の申出

妊娠の届出

受給資格者の申出による学校給食費等の徴収等の申出

介護関係(11手続)

要介護・要支援認定の申請

高額介護(予防)サービス費の支給申請

要介護・要支援更新認定の申請

介護保険負担限度額認定申請

要介護・要支援状態区分変更認定の申請

居宅介護(介護予防)福祉用具購入費の支給申請

居住(介護予防)サービス計画作成(変更)依頼の届出

居宅介護(介護予防)住宅改修費の支給申請

介護保険負担割合証の再交付申請

住居移転後の要介護・要支援認定申請

被保険者証の再交付申請

No.3 事業名 地域コミュニティの推進	2022 年度 予算額	163,351 千円	新規 拡大 継続
----------------------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

人口が減少し、少子化・高齢化が進むことで生じる様々な地域課題に対し、地域コミュニティ組織が主体となって実施する地域づくり活動や地域の課題解決への取組みを中間支援組織ちいきのてとともに支援し、地域の活性化と持続可能な地域運営を図る。

2 2022 年度予算

(1) 予算額

163,351 千円

(2) 事業内容

- ア 地域コミュニティ組織への財政支援
 - (ア) コミュニティづくり交付金
 - (イ) 活動促進事業交付金
- イ 地域コミュニティ組織運営への支援
 - (ア) 地域づくり計画の策定
 - (イ) 地域マネージャーの配置、地域づくり人材の育成
 - (ウ) 地域運営における各種相談
- ウ 地域コミュニティビジョンの実現に向けた取組み
 - (ア) 地域づくり戦略会議
 - (イ) 地域づくり職員ネットワーク会議
 - (ウ) 島根大学との共同研究（住民自治組織のあり方に関する研究）
- エ 自治会活動保険への補助金交付

3 その他参考事項（コミュニティセンター管理費）

(1) コミュニティセンター長寿化事業

豊岡市コミュニティセンター個別施設計画（2019年3月策定）に基づき、老朽化などを踏まえ、施設の長寿化を図る。

(2) 予算額

62,100 千円

(3) 内容

- ア 日高地区コミュニティセンター 実施設計
- イ 清滝地区コミュニティセンター 実施設計・工事監理、改修工事

担当課名【コミュニティ政策課】（内線 2781）

施策体系番号 5-2-1-2

No.4 事業名 子どもの読書活動推進事業	2022 年度 予算額	339 千円	新規 拡大 継続
------------------------------	-------------------	--------	----------------

1 事業目的（趣旨）

子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものである。子どもに読書する習慣を身につけるため、0歳からの連続的な読書支援を実施する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ア 読書の習慣化を支援
- イ 調べ学習の定着を支援
- ウ 学校図書室の支援
- エ ボランティア等の人材の育成

(2) 事業期間 2022 年度～

(3) 事業主体 豊岡市

3 2022 年度予算

(1) 予算額 339 千円

(2) 事業内容

ア ママ・パパへの読書タイムプレゼント

親が読書する子どもは、読書習慣が身につくことがわかっている。0歳から就学前の子育て中の保護者を対象に、図書館で一時保育を行い、ママ・パパに読書タイムをプレゼントする。

イ 図書館体験ツアー

小学1年生を対象に、出前講座やリモート講座を通じて図書館の使い方を周知し、実際に体験し、利用者登録を促し、本や図書館に興味関心を持つように支援する。

ウ 図書館リーダー育成研修会

市内小学校の児童（図書委員等）に図書館員の仕事（貸出や書架整理、読み聞かせ等）を体験してもらう。図書館や本への関心を高め、学校での読書推進のきっかけにする。

4 その他参考事項

豊岡市図書館未来プラン（新版）〔2022年10月策定〕の中で、子どもの読書支援について重点的に取り組むこととしている。

担当課名【生涯学習課 図書館】（内線 2691）

施策体系番号 5-1-1-2

No.5	事業名 新文化会館の整備	2022 年度 予算額	178,418 千円	新規 拡大 継続
------	--------------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

豊岡市民会館と旧出石文化会館のホール機能を統合する形で新たな文化会館を整備する。

整備に向けて、2021年3月末に作成した基本設計をもとに、実施設計をまとめる。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

整備スケジュール（予定）

ア	2018年度	基本構想の策定
イ	2019年度	基本計画の策定
ウ	2020年度	基本設計の作成
エ	2021～2022年度	実施設計の作成
オ	2023～2025年度	整備工事
カ	2026年度	開館
キ	2026～2027年度	現豊岡市民会館解体後、駐車場整備

(2) 事業期間

2018年度～2027年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 2022年度予算

(1) 予算額

178,418千円

財源	〔	公共施設等適正管理推進事業債	147,200千円（充当率90%）
		公共施設整備基金	30,300千円

(2) 事業内容

ア	実施設計業務	135,773千円
イ	土壌調査業務	13,574千円
ウ	電波障害調査業務	990千円
エ	樹木移植工事	3,596千円
オ	樹木伐採工事	10,618千円
カ	技術支援業務	11,825千円
キ	その他（事務費、手数料等）	2,042千円

担当課名【新文化会館整備推進室】（内線 2776）

施策体系番号 5-1-2-1

No.6	事業名	乳幼児等医療費助成事業 (0～3歳児無料化)	2022 年度 予算額	12,714 千円	新規 拡大 継続
------	-----	---------------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

子育て支援をより充実させるため、0～3歳児の医療費について、所得制限を設けず自己負担額を無料とし、子育て世帯の経済的な負担軽減を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア 健康保険上の医療費自己負担額（通常医療費 2 割または 3 割）のうち、一部負担金を除いた額を助成する。

イ 今回は、現行の助成内容に加え、0～3歳児の医療費について、所得制限を設けず自己負担を無料にする。

(2) 事業期間

2022年7月1日～2026年6月30日診療分

(3) 事業主体

豊岡市

3 2022年度予算

(1) 予算額

乳幼児等医療費助成事業全体	121,083 千円
うち0～3歳児の無料化に係る助成額（市単独助成）	12,714 千円
（扶助費 12,600 千円，事務費 114 千円）	

(2) 事業内容

ア 一部負担金

区分	0～3歳	4歳～小学3年生	
		一般（課税世帯）	非課税世帯
外来	無料	1医療機関、1薬局ごとに 400円まで/1日 月2回までの負担	無料
入院	無料	無料	無料
所得制限（※）	なし	あり	あり

※ 保護者（父・母）または扶養義務者の市民税所得割額の合計が23万5千円未満であること。

イ 対象人数（2021年12月末時点）

0～3歳	1,925人
2021年度乳幼児等医療費助成制度 認定の4歳～小3の者	3,187人
合計	5,112人

担当課名【市民課】（内線 2251）

施策体系番号 1-2-7-2

No.7	事業名	LED防犯灯整備補助	2022 年度 予算額	5,880 千円	新規 拡大 継続
------	-----	------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

LED灯は、長寿命・省電力という大きなメリットがあり、従来の蛍光灯の防犯灯と比べランニングコストを削減することができる。

市内の自治会（区・町内会）が設置する防犯灯は1万基以上と推測され、市は地域の防犯と安全で安心な暮らしを推進し、照明による環境負荷を低減するため、自治会の防犯灯のLED化に対して補助金を交付している（2012年度からの整備補助でLED化した防犯灯は8,263基）。

現在でも、この補助制度に対する自治会からの要望が多くあるため、補助事業を継続する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

自治会（区・町内会）に対する防犯灯整備補助

ア LED防犯灯新設工事

イ 既存防犯灯のLED化工事

ウ 故障防犯灯器具のLED取替工事

(2) 事業期間

2012年度～（2012年度からLED化を促進している。）

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

補助金額は、設置に要する費用の1/2以内で、1灯あたりの上限は次のとおり。

区分	限度額
電柱等既存の支柱への設置	12,000円
支柱等の新設しての設置	17,500円

3 2022年度予算

(1) 予算額

5,880千円（市が所有する太陽光発電施設の売電収入を一部活用）

(2) 事業内容

自治会（区・町内会）に対するLED防犯灯整備補助 490基

4 その他参考事項

【過去の補助実績】

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
補助数 (基)	248	302	565	596	1,092	1,352	1,427	1,023	1,008	650

※2021年度は補助予定基数を記載

担当課名【生活環境課】（内線2281）

施策体系番号 1-1-3-2

No.8 事業名 環境政策推進事業	2022 年度 予算額	35,831 千円	新規 拡大 継続
-------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

世界的に喫緊の課題である気候変動に関して次世代への責任を果たすため、本市は2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指すことを表明した。異常気象による災害や生態系への影響を防ぐため、2050年二酸化炭素排出実質ゼロに向けた脱炭素化の取組みを進める。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

円滑に再生可能エネルギーの導入を進めるため、市内の再生可能エネルギー導入促進区域の設定に向けた現地調査や環境調査、ゾーニングマップ案の作成、脱炭素化事業モデルの検討、地域等の合意形成を図る。

(2) 事業期間

2022年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

35,831千円（国補助金35,000千円・補助率10/10）

3 2022年度予算

(1) 予算額

35,831千円

(2) 事業内容

- ア 再生可能エネルギー導入促進区域の設定（35,000千円）
- イ 環境審議会を開催
- ウ 脱炭素職員研修及び国県等協議等

担当課名【生活環境課】（内線2281）

施策体系番号 2-1-2-3

No.9	事業名 ごみの減量・再資源化対策事業 (プラスチック削減キックオフ イベント)	2022 年度 予算額	2,000 千円	新規 拡大 継続
------	--	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

2021年度に策定の「豊岡市プラスチックごみ削減対策実行計画」について広く普及し、プラスチックごみの排出抑制を市民一丸となって実践し、循環型社会の構築および脱炭素社会の実現を目指す。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

プラスチックごみ削減キックオフイベントの開催

日 時：2022年10月15日（土）午前10時～午後3時30分

場 所：豊岡市民プラザ（アイティ7階）

ステージプログラム：基調講演（講演者調整中）

映画「マイクロプラスチック・ストーリー」上映

有識者と市内学生によるトークセッション

ブース出展：環境問題を意識する「コウノトリマーケット」の出店

リユースショップや学生による環境活動のポスター発表など

(2) 事業期間

2022年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

2,000千円（環境保全促進助成金2,000千円 補助率10/10）

3 その他参考事項

「豊岡市プラスチックごみ削減対策実行計画」は策定委員会（有識者（1人）、事業者（3人）、市民（5人）、市内高校生（6人））が5回の委員会を経て策定。市民、事業者、学校、行政の各主体に求める「プラスチックごみ削減取組み」をまとめている。

担当課名【生活環境課】（内線2281）

施策体系番号 2-2-1-1

No.10 事業名 ひきこもり対策	2022 年度 予算額	6,918 千円	新規 拡大 継続
-------------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

全国的に社会問題化しているひきこもりの課題を抱える者の自立と社会参加を支援することを目的とする。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ひきこもり支援連絡会議の運営、連携体制整備の推進、普及啓発の充実などを通して、ひきこもり状態にある者の自立と社会参加を支援する。

ア ひきこもり支援連絡会議

(ア) 担当者会において新規ケースのチーム支援の検討（年6回）

イ 本人及び家族に対する専門相談

(イ) ひきこもり相談窓口開設（健康増進課）

(イ) 年6回心理カウンセラー、年4回の心理士による専門相談（社会福祉課）

(イ) 各支援機関による相談支援

ウ 居場所運営・相談（委託事業）

(ウ) 居場所の運営

(ウ) 家族の対応力向上を目的とした学習会を計画的に実施

エ サポーターの派遣（委託事業）

県の研修を受けたサポーターが居場所につながっていない対象者等の家庭等を定期的に訪問し関係を構築する中で、居場所や社会復帰に向けて伴走支援を行う。

(2) 事業期間

2022年度から事業拡充

(3) 事業主体

豊岡市

3 2022年度予算

6,918千円

【補助率1/2：生活困窮者自立相談支援事業（ひきこもり支援推進事業）】

担当課名【社会福祉課】（内線 3001）

施策体系番号 1-2-6-2

No.11	事業名	子どもの貧困対策推進事業	2022 年度 予算額	2,629 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	--------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

子どもを育てる世帯の所得格差が、子どもの学力格差を生み出し、さらには学力格差が将来の所得格差につながり、世代を超えて貧困状態におかれる「貧困の世代的再生産（世代間連鎖）」が社会問題となり、危惧されている。

そのため、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備するため、子どもの貧困対策を推進する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア 非認知能力と学力の向上

(ア) 演劇ワークショップの実施（こども教育課） ※地方創生事業 3,433 千円

小学校の1年生を対象に、演劇的手法を活用したワークショップを実施する。

(イ) ひとり親家庭文化芸術鑑賞支援事業の実施（社会福祉課・文化振興課） 61 千円

ひとり親家庭の中学生以下の子どもを、市などが主催する文化芸術事業イベントに無料招待する。

イ 課題を有する子どもの早期発見・支援（社会福祉課） 125 千円

気になる子どもについて職員の気づきを促す「気づきシート」の導入

2020年度に幼稚園、保育園、認定こども園に導入した「気づきシート」を小中学校に拡充し、気になる子どもについて教職員の気づきを促す。

ウ ひとり親非正規雇用者に対する重点的支援（社会福祉課） 1,693 千円

(ア) ステップアップセミナーの実施

将来必要となる子どもの教育費等を考えることをきっかけに、ひとり親家庭の非正規雇用者が安定した就労収入を得られるよう、ステップアップ意識を高めるセミナーを実施する。 ⇒ 参加人数 30 人予定

(イ) 就業支援個別相談会

ステップアップセミナー参加により、ステップアップ意識が高まったひとり親を対象に正規雇用への転職に向けた具体的助言を行う個別相談会を実施する。

エ 子ども食堂の開設支援（社会福祉課） 750 千円

子ども食堂立ち上げ時の負担軽減を図るため、設備整備費及び運営費の一部を補助する。 ⇒ 補助件数 2 件予定

(2) 事業期間

2020 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 2022 年度予算

2,629 千円（地方創生事業を除く）

担当課名【社会福祉課】（内線 3001）

施策体系番号 1-2-7-3

No.12	事業名	生活困窮世帯等子どもの学習支援	2022 年度 予算額	2,010 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-----------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

生活の困窮により学力や自立して生きていく力を身につけていくことが阻害されないよう、学習環境の改善や学習支援を行い、貧困の連鎖を断つ。

また、学習だけでなく、その家庭全体の生活実態や課題を把握し、生活改善への助言を行うなど、世帯全体の生活環境の整備や精神的な安定を支援し、子どもの将来の自立を後押しし、明るい未来をサポートする。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

生活学習支援コーディネーター等が対象者宅を訪問し、マンツーマンの形で学習支援を行う。

ア 対象者 生活保護受給世帯等に属する小中学生

イ 実施回数 週 1 回 90 分程度

ウ 利用料 無料

エ その他

(ア) 生活学習支援コーディネーターは、学校の担任や専門職等と連携し、対象児童の学習習熟状況や生活環境をアセスメントし、支援方針の作成や進捗状況に応じた調整を行う。

(イ) 学習環境が整っていない家庭には、生活習慣や学習ができる環境の形成を支援する。

(2) 事業期間

2022 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 2022 年度予算

2,010 千円（国 1/2 補助）

担当課名【社会福祉課】（内線 3001）

施策体系番号 1-2-7-3

No.13	事業名	健康行動計画等の見直し・策定	2022 年度 予算額	3,248 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	----------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

豊岡市では、健康増進法に基づいた「豊岡市健康行動計画（第2次）」、食育基本法に基づいた「豊岡市食育推進計画」、自殺対策基本法に基づいた「いのち支える豊岡市自殺対策計画」を“とよおか健康ぷらん21”と総称して、2018年度に策定した。

2021年度に行った住民意識調査（市民アンケート）結果の分析及び現計画の評価等を基に、各計画の見直し・策定を行い、市民、市が取り組む健康づくりの行動目標などを示し、市民の健康増進を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

2021年度に住民意識調査（市民アンケート）を実施し、その結果を分析した。

2022年度には、2018～2027年度を計画期間とする豊岡市健康行動計画（第2次）の見直しを行う。また、2018～2022年度を計画期間とする豊岡市食育推進計画、いのち支える豊岡市自殺対策計画の第2次計画を策定する。

(2) 事業期間

2021～2022年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

合 計 5,744千円

2021年度 2,496千円

2022年度 3,248千円

3 2022年度予算

(1) 予算額

3,248千円（豊岡市自殺対策計画について県1/2補助）

(2) 事業内容

ア とよおか健康ぷらん21策定委員会の設置

イ 関係市民団体ヒアリング

ウ 現計画の評価

エ 取組方針・行動目標等の見直し・策定

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

施策体系番号 1-2-3

No.14	事業名	ふるさと応援寄附金の推進	2022 年度 予算額	500,000 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	--------------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

ふるさと納税の推進により自主財源の確保を図るとともに、本市のPR及び本市特産品等の返礼を通じ市内経済活性化へ寄与する。

2 2022年度予算

(1) 予算額

500,000 千円

(2) 事業内容

ア 寄附申込受付、寄附金受領証明書等の送付

イ 寄附金の一部を返礼品等の事務的経費に充当し、残額を地域振興基金等に積立て、翌年度以降に寄附者の意向に沿った事業に有効活用する。

ウ 返礼品に係る事業（業務委託）

新たに「ANAふるさと納税」サイトを追加

エ ふるさと納税のPR（広告掲載等）

ふるさと応援はがきの作成・送付、Web広告など

(3) 寄附額の目標（歳入）

10 億円

3 寄附金実績及び活用予定

(1) 2021年度寄附実績（2022年1月末時点）

ア 金額及び件数

1,108,611 千円 19,273 件

イ 指定された使途別

（単位：千円、%）

使 途	寄附金額	割合
「小さな世界都市」の実現を目指すまちづくり	245,136	22.1
深さを持った「演劇のまち」づくり	94,597	8.6
コウノトリをシンボルとした人と自然が共生するまちづくり	183,266	16.5
安全に安心して暮らせるまちづくり	118,786	10.7
持続可能な「力」を高めるまちづくり	62,438	5.6
未来を拓く人を育むまちづくり	277,760	25.1
人生を楽しみお互いを支え合うまちづくり	48,648	4.4
上記以外のまちづくり施策	76,394	6.9
※GCF（ガバメント・クラウド・ファンディング）	1,586	0.1
合 計	1,108,611	100.0

※GCF：特定の事業に対して寄附を募る仕組み。「演劇ワークショップで子どもたちの「非認知能力」を育てる」プロジェクトを支援していただくため、2021年10月11日～12月31日の間で寄附を募った。

(2) 2022年度活用予定

寄附金は、「小さな世界都市」の実現や地方創生に向けた取組み等に有効活用する。

ア 活用予定事業 43事業 490,435千円（充当額）

イ 主な活用予定事業 (単位:千円)

事業名	予算額	充当額
「小さな世界都市」の実現を目指すまちづくり		
ワークイノベーション推進事業【地方創生】	7,658	3,000
ジェンダーギャップ解消推進事業【地方創生】	6,222	3,000
子育て中の女性の就労促進事業【地方創生】	5,302	2,000
英語遊び保育推進事業【地方創生】	3,757	3,000
海外戦略推進事業【地方創生】	27,708	14,000
多文化共生推進事業	8,112	3,500
内発型産業育成事業【地方創生】	59,679	31,000
豊岡の未来を創る高校生支援事業【地方創生】	3,030	2,600
深さを持った「演劇のまち」づくり		
専門職大学連携推進事業【地方創生】	10,544	5,000
豊岡演劇祭協同開催事業【地方創生】	54,344	17,000
演劇のまちづくり推進事業【地方創生】	3,277	1,000
出石永楽館歌舞伎開催事業【地方創生】	84,461	27,000
コウノトリをシンボルとした人と自然が共生するまちづくり		
コウノトリ育む農法推進事業	3,827	3,000
農業ビジョン推進事業	6,077	2,000
多面的機能支払事業	253,157	62,000
コウノトリ野生復帰推進事業	7,753	7,000
安全に安心して暮らせるまちづくり		
老人福祉事業	22,625	20,000
公立豊岡病院組合負担金	28,415	28,000
持続可能な「力」を高めるまちづくり		
特産振興事業	18,369	18,000
企業誘致推進事業【地方創生】	13,476	9,000
未来を拓く人を育むまちづくり		
子育て支援総合拠点整備事業【地方創生】	76,404	5,413
市民交流広場及びこども広場管理費	61,422	61,422
人生を楽しみお互いを支え合うまちづくり		
地域コミュニティ推進事業	163,351	16,000
上記以外のまちづくり施策		
学校振興事業（就学援助）	1,000	1,000
キャリアデザイン推進事業	11,579	10,000
結婚・女性活躍推進事業費	7,736	4,000

担当課名【環境経済課】（内線 2009）

施策体系番号 6-3-2-1

No.15	事業名	内発型産業育成事業 (経済ビジョンの策定)	2022 年度 予算額	2,699 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	--------------------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

豊岡市の目指すべき経済の姿及びその姿を実現するための取組の方向性を定める新しい「経済ビジョン」を策定し、市の経済政策の戦略的な実施に活用するとともに、市内事業者等への周知・浸透を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内容

下記の手法により豊岡市の新たな経済ビジョンの策定に取り組む。

ア 学識者による指導・監修・助言

ビジョンの前提条件等について庁内で検討後、内容や方向性、必要となるエビデンスの特定や経済分析の実施に関し、学識者から指導・監修・助言を受ける。

イ 市内企業経営者・商工団体等への意見聴取の実施

検討内容に合わせた市内事業者へのヒアリングや会議による意見聴取、アンケート調査等を実施する。

ウ 経済分析シミュレーションの実施

(ア) 基幹統計等の情報(付加価値額の推移等)を収集し、市経済の現状分析を行う。

(イ) 産業連関表を用いた市経済の将来推計、市経済に影響があった事象(新型コロナウイルス感染症や大学開学等)の経済効果等のシミュレーションに取り組む。

(2) 事業期間

2022 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

2,699 千円

担当課名【環境経済課】（内線 2009）

施策体系番号 3-1-7-4

No.16	事業名	特産振興事業（「豊岡靴×ふるさと納税」シナジープロジェクト）	2022年度 予算額	16,000 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	--------------------------------	---------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

2021年度のふるさと応援寄附金（ふるさと納税）は、12月末に10億円に到達し、1月末時点で11億861万円となっている。寄附金額が年々増加している要因として、他市町にはない返礼品「豊岡靴」の存在が大きい。

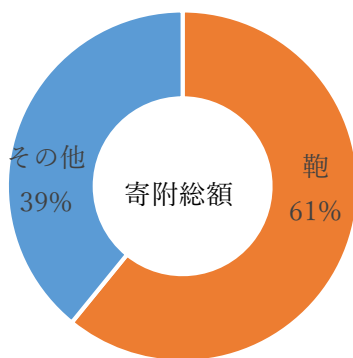
そこで、ふるさと納税でいただいた財源の一部を、豊岡靴の認知度（人気、魅力）向上に投資し、ふるさと納税のさらなる増加に繋げる好循環を目指し、「豊岡靴×ふるさと納税」シナジープロジェクトを実施する。

2 全体の事業内容

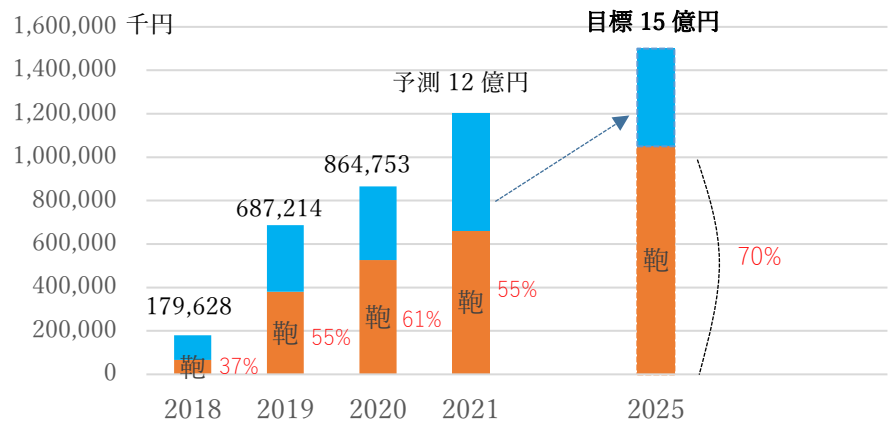
(1) 内容

ア 現状及び目標

2020年度寄附における返礼品内訳



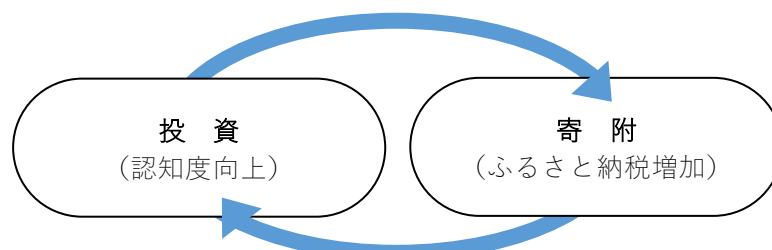
寄附金額の推移及び目標



イ 取組内容

市と兵庫県靴工業組合が一体となって、ふるさと納税に直結するWeb上のプロモーションを中心に、認知度向上策を重点的に実施する。

豊岡靴「認知度向上」とふるさと納税増加のシナジー効果



(2) 事業期間

2022年度～

(3) 事業主体

豊岡市、兵庫県靴工業組合

(4) 全体事業費

16,000 千円

担当課名【環境経済課】（内線 2009）

施策体系番号 6-3-2-1

No.17	事業名	観光の振興	2022	90,308 (78,982)	千円	新規
			年度 予算額			拡大
						継続

1 事業目的（趣旨）

大交流の推進による「小さな世界都市」の実現に向け、市内観光関係団体との連携や広域観光を進めるとともに、市内周遊拡大のための二次交通の充実、様々な媒体を活用した効果的な情報発信や広告宣伝、各種メディア・旅行エージェント等へのアプローチなどを行うことにより誘客促進を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア 観光協会等運営支援事業【53,326千円】

各観光協会及び豊岡ツーリズム協議会の運営支援を行うとともに、相互連携の推進、観光を学ぶ学生を対象としたインターンシップ事業による誘客や滞在型観光の促進を図る。

イ カーシェアリング運営事業【2,207千円】

タイムズモビリティ株式会社の運営オペレーションを活用し、カーシェアリング運営事業を実施する。

ウ 観光データ基盤構築活用事業【20,000千円】

城崎温泉宿泊者用外湯入浴券機能付きアプリケーションを開発するとともに、来訪者情報を収集・蓄積して顧客情報管理体制を構築し、マーケティングを実施する。

エ 夢但馬周遊バス「たじまわる」運営事業【2,149千円】＜拡大＞

但馬の玄関口（主要バス停、鉄道駅、空港）と但馬3市2町の観光地とを結ぶ周遊バスを運行し、観光客の二次交通の整備・充実によって地域の魅力をより向上させることにより、観光誘客と観光地の周遊を促進する。

オ 関係団体負担金【1,300千円】

(ア) 一般社団法人豊岡観光イノベーション 年会費 300千円

(イ) 日本海縦断観光ルート・プロジェクト推進協議会 負担金 1,000千円

担当課名【大交流課】（内線 2011）

施策体系番号 3-1-2-3

No.18	事業名	鳥獣被害防止緊急対策	2022	132,291	千円	新規 拡大 継続
			年度 予算額	(116,188)		

1 事業目的（趣旨）

野生動物による農作物被害は依然として農業者に深刻な影響を与えている。そのため防除対策として国や県の財政支援を受け獣害防護柵の設置等を推進する。

また、捕獲対策については、「第3期シカ有害被害撲滅大作戦」の3年目として、わな猟によるシカ捕獲専任班を中心とした捕獲体制に加え、2020年度新設の「流し撃ち部隊※」を推進することで、引き続きシカの生息状況に応じた“隙間の無い捕獲”に取り組み、農林業及び植生被害の減少を図る。

また、サル対策として、国の「集落支援員」制度を活用して、防護柵の維持管理や追い払いなど集落への防除指導や講習を行うとともに、サル被害地域における被害防除を目的とした農地への柵設置に対する補助金の活用を促し、防除対策を推進する。

※ 流し撃ち部隊：流し猟（林道等を車で移動し、シカがいれば車から降りて射撃する捕獲方法）による捕獲を実施する部隊

2 2022年度の事業内容

(1) 内 容

ア 鳥獣被害防止緊急対策事業（ハード事業）

- ・事業主体：豊岡市野生動物被害対策推進協議会
- ・事業量：金網柵（1地区） L=1,600m、電気柵（1地区） L=1,500m、ワイヤーメッシュ柵（3地区） L=7,900m

イ 有害鳥獣駆除対策事業

- ・事業主体：豊岡市、豊岡市野生動物被害対策推進協議会
- ・内 容：特に被害が大きいシカ対策として、シカ捕獲専任班の実施や「流し撃ち部隊」の継続等により、捕獲体制をさらに強化し、年間の捕獲頭数6,500頭（有害捕獲5,000頭）を目標に捕獲を進める。

ウ シカ緊急捕獲拡大事業

- ・事業主体：豊岡市
- ・内 容：狩猟期におけるシカの捕獲を推進するため、狩猟者へ報償金を支給する兵庫県へ負担金を支払う。

(2) 事業費（補助率・負担率等）

- | | | |
|--|----------|----------|
| ア 鳥獣被害防止緊急対策事業（ハード事業） | 24,243千円 | |
| （金網柵：国50%～55%、その他柵：国85%、特交・県・市） | | |
| イ 有害鳥獣駆除対策事業（報償金） | 73,455千円 | |
| （シカ：国7千円/頭・特交・県・市、カワウ：特交・県・市、その他獣種：特交・市） | | |
| 集落支援員の導入 | 4,163千円 | （特交） |
| ニホンザル被害対策事業補助金 | 600千円 | （特交・市） |
| ウ シカ緊急捕獲拡大事業 | 13,727千円 | （特交・県・市） |

3 第3期シカ有害被害撲滅大作戦の概要

(1) 目標

第3期(2020年度～2022年度)の3年間、年間のシカ捕獲目標頭数を6,500頭とする。
また、有害捕獲による年間捕獲頭数5,000頭の達成を目指す。

(2) 捕獲体制の主な内容(2020、2021年度の捕獲体制を継続実施)

ア 「流し撃ち部隊」で捕獲困難地域での捕獲推進

捕獲が困難な地域に定着しているシカの捕獲を目指し、捕獲班から推薦された者のみで組織した「流し撃ち部隊」で流し猟による捕獲を実施する。

イ 鳥獣害対策員及び集落支援員による捕獲の強化

鳥獣害対策員が実施している捕獲活動に集落支援員を加え、捕獲体制を強化し、スキー場など高標高地での捕獲を推進する。

4 その他参考事項

《関連事業》

ア 鳥獣被害防止緊急対策事業(ソフト事業)等 390千円

(国50%・特交・市、一部国100%)

- ・対策員用双眼鏡、カメラ、三脚の購入 等

イ 有害鳥獣駆除対策事業 15,713千円 (特交・市)

- ・鳥獣害対策員2名の配置、一般駆除や一斉駆除の業務委託、集落による捕獲柵・防護柵の設置や新規狩猟免許取得支援、60歳以上の高齢者による防護柵の設置に係る助成等

担当課名【農林水産課】(内線2361)

施策体系番号 3-1-3-4

No.19	事業名 農業ビジョンの推進	2022 年度 予算額	5,004 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

豊岡市農業ビジョンでは、農業が「環境」「経済」「社会」に対して、相互及び包括的な「支援」と「貢献」の関係性を築きあげることにより、農業者や事業者を含む市民の「幸せ」が向上し、それにより「誇り（プライド）」が高まるとしている。

そうしたことの総体をこれから豊岡市がめざす農業として「豊岡グッドローカル農業」として推進する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ア 豊岡市農業ビジョン推進委員会の開催、運営
- イ 「豊岡グッドローカル農業」の普及・推進
- ウ 地域おこし企業人交流プログラムによる外部人材の登用

(2) 事業期間

2020 年度～

(3) 事業主体

豊岡市



3 2021 年度予算

(1) 予算額

- ア 豊岡市農業ビジョン推進委員会開催等 618 千円
- イ 「豊岡グッドローカル農業」の普及・推進 710 千円
- ウ 地域おこし企業人交流プログラムによる外部人材の登用 3,676 千円

(2) 事業内容

- ア 豊岡市農業ビジョン推進委員会の開催 5 回
- イ プロジェクトチーム（推進委員会の下に設置）会議の開催 5 回
- ウ 「豊岡グッドローカル農業宣言」の推進
- エ 第0回「豊岡グッドローカル農業大会」の開催
- オ 地域おこし企業人交流プログラムによる外部人材の登用 1 名

担当課名【農林水産課】（内線 2361）

施策体系番号 3-1-3-2

No.20	事業名 森林環境の整備	2022 年度 予算額	46,952 千円	新規 拡大 継続
-------	-------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

持続可能な力強い林業をめざした森林整備の中・長期的な目標設定と、その実現に向けた行動計画を新たな森林経営管理の方針（ビジョン）としてとりまとめ、森林環境譲与税を財源として実践に取り組む。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア 豊岡市林業ビジョン策定検討委員会の運営

2021年度から進めてきた検討委員会を継続し、市内の森林の現状や問題点を踏まえたうえで、森林整備や保全、人材育成、木材活用のあり方などを検討し、ビジョンとしてとりまとめる。

イ 森林整備計画業務

市内人工林の森林整備に当たり、森林所有者情報の収集、地番配置図の整備、現況の調査及び森林所有者への意向の聞き取りを実施し、計画的かつ継続的な森林施業に結び付ける。

ウ 森林環境保全対策事業補助金

市内各区における森林整備に供する森林作業道の補修や緊急度の高い危険木の伐採等、比較的小規模な森林の課題を改善するための補助制度を運用する。

(2) 事業期間

2019年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

218,088千円（財源：森林環境譲与税）

3 2022年度予算

(1) 予算額

46,952千円

(2) 事業内容

ア 豊岡市林業ビジョン検討委員会の運営

(ア) 費用弁償、謝金及び事務費等 218千円

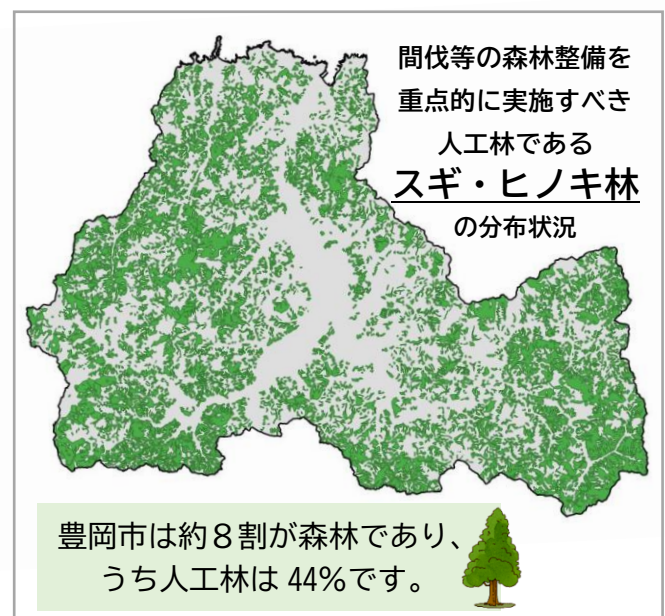
(イ) 業務委託料 3,135千円

イ 森林整備計画業務

業務委託料 38,599千円

ウ 森林環境保全対策事業補助金

補助金（補助率 2/3） 5,000千円



担当課名【農林水産課】（内線 2361）

施策体系番号 3-1-4-2

No.21	事業名 地籍調査事業	2022 年度 予算額	124,768 千円	新規 拡大 継続
-------	------------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

一筆ごとの土地境界点を座標値で管理することにより、境界の復元を可能とする。
土地の境界トラブル防止、取引の円滑化、公共事業の早期推進、災害後の迅速な復旧、課税の公正公平化に寄与する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

一筆ごとの土地について、所有者・地番・地目等の調査を実施し、土地所有者等関係人の立会によって境界の確認特定を行い、地積測量を経て「地籍簿（案）」と「地籍図（案）」を作成する。土地所有者等関係人が当該案を閲覧確認し、国県の認証後に成果として法務局へ送付する。

調査対象地区内で法務局の登記が完了した土地については、市が証明書として一筆図（土地図形及び筆界座標）を交付することが可能となる。

(2) 事業期間

2006 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

全体事業費 未定

負担率 県営事業 国 50%、県 50%

市営事業 国 50%、県 25%、市 25%



一筆地（現地立会）調査状況

3 2022 年度予算

(1) 予算額

124,768 千円

(2) 事業内容

【実施大字】 城崎町飯谷、竹野町小城、竹野町坊岡、竹野町林、江野、滝、森津、吉井、赤石、出石町荒木、但東町西谷（11 大字）

【事業量】 調査素図作成、図根三角測量 1.09km²
一筆地（現地立会）調査、詳細測量 3.80km²
地籍簿(案)・地籍図(案)作成、閲覧 3.89km²

担当課名【地籍調査課】（内線 2382）

施策体系番号 3-2-1-3

No.22	事業名	内水処理（山田川流域内水対策、市街地道路冠水対策）	2022 年度 予算額	446,350 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	---------------------------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

(1) 山田川流域内水対策

福田地区の慢性的な湛水の原因となっている栃江橋たもとの横断暗渠を改修するとともに下流域（下陰区）への影響を抑制するため、福田第一樋門付近に（仮）福田排水機場を構築し、別途計画している下水道事業の雨水幹線整備と併せて、山田川流域全体の浸水被害の軽減を図る。

(2) 市街地道路冠水対策

市街地に設置している道路排水ポンプの能力不足により道路冠水が頻発していることから、ポンプ能力の増強や水路整備を行い、その軽減を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア 山田川流域内水対策

(ア) 排水ポンプ ポンプ形式：φ900mm コラム式水中ポンプ
ポンプ能力：3.1m³/s(1.55m³/s×2台)

イ 市街地道路冠水対策

(イ) 加広野田線（西花園ポンプ）
(イ) 小田井上陰線（上陰ポンプ）

(2) 事業期間

ア 山田川流域内水対策 2016年度～2022年度
イ 市街地道路冠水対策 2022年度～2025年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

ア 山田川流域内水対策

977,288千円

2020年度～緊急自然災害防止対策事業債 充当率100%(交付税算入率70%)

イ 市街地道路冠水対策

基本設計にて施設規模を決定して、全体事業費を算出する。

3 2022 年度予算

(1) 予算額

ア 山田川流域内水対策

430,350 千円（債務負担行為 780,000 千円の内 2022 年度分 430,000 千円、備品購入費 350 千円）

イ 市街地道路冠水対策

16,000 千円

(2) 事業内容

ア 山田川流域内水対策

土木工事、建築工事、機械電気設備工事、建築工事監理業務、備品購入

イ 市街地道路冠水対策

路線測量、基本設計

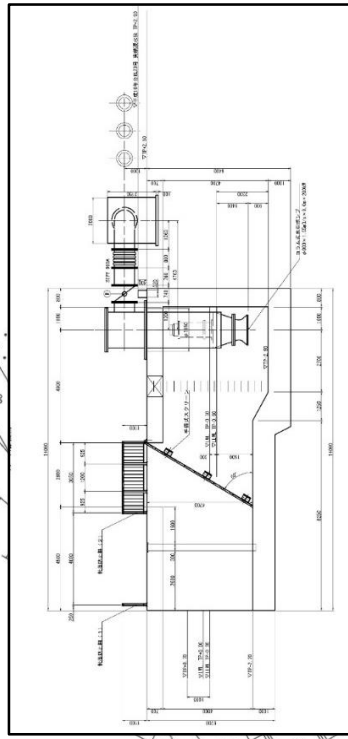
担当課名【建設課】（内線 2421）

施策体系番号 1-1-1-1

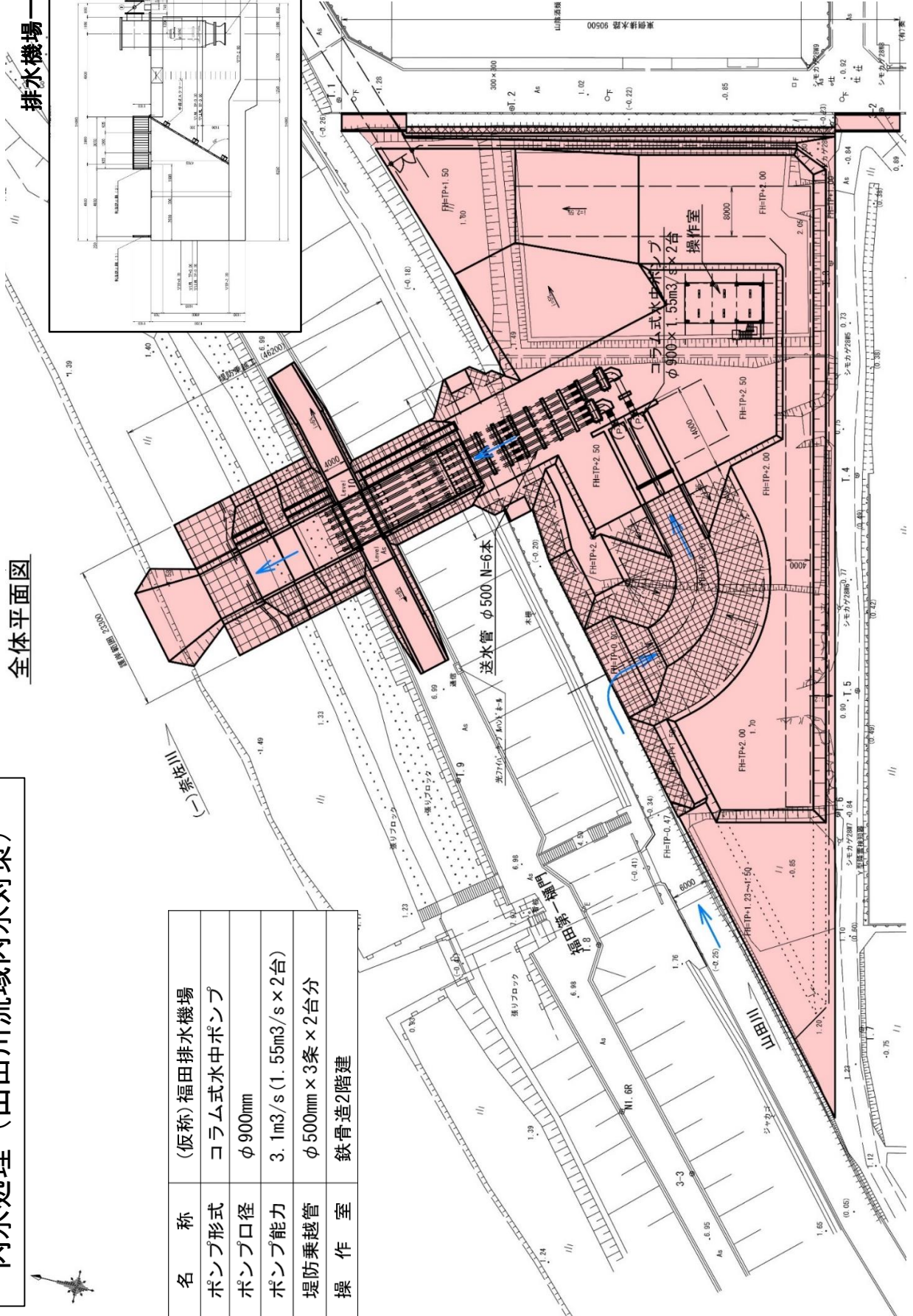
内水処理（山田川流域内水対策）

全体平面図

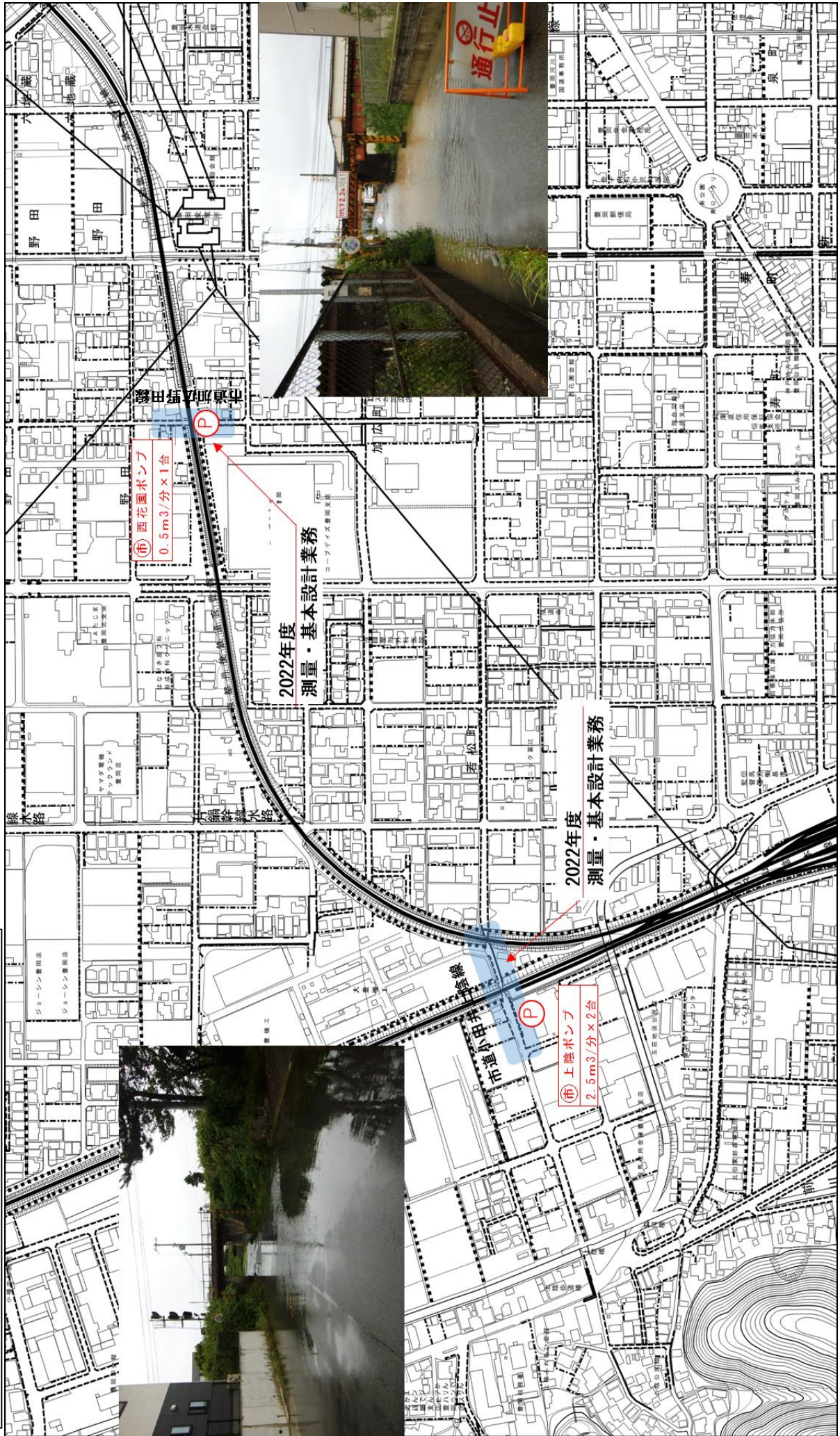
排水機場一般図



名称	(仮称) 福田排水機場
ポンプ形式	コラム式水中ポンプ
ポンプ口径	φ 900mm
ポンプ能力	3.1m ³ /s (1.55m ³ /s × 2台)
堤防乗越管	φ 500mm × 3条 × 2台分
操作室	鉄骨造2階建



内水処理（市街地道路冠水対策）



No.23	事業名	道路維持（道路構造物の長寿化、大規模舗装修繕等）	2022 年度 予算額	262,605 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	--------------------------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市道における老朽化の著しい舗装及び側溝などについて、計画的に修繕及び改修を行うことで、快適な生活環境、安全安心な道路環境を確保する。

また、道路構造物点検を行い、その結果に基づき計画的な補修を行うことにより、長寿命化を図る。

2 2022 年度予算

(1) 予算額

262,605 千円

(2) 事業内容

ア 道路構造物長寿命化

赤崎江原線（ロックシェッド補修）	L= 90m	日高町浅倉地内
正法寺坂津線（落石防止網補修）	L= 39m	但東町正法寺地内栗山
妙見線（拡幅床版補修）	L= 21m	日高町観音寺地内
大谷地蔵湯線外（照明移設・地上機器修景）	N= 1 式	城崎町湯島地内
奥野久美浜線（調査・概略設計・法面補修）	L= 80m	豊岡市奥野地内
阿金谷轟線外（特定道路土工構造物点検）	N=14 箇所	竹野町須谷外地内

イ 道路防災

一日市水路沿線（道路補修）	L= 40m	一日市地内
河畑分尾線（法面補修）	L= 34m	日高町羽尻地内
三原区内線第3号（法面補修）	L= 26m	竹野町三原地内
久谷線（簡易落石防護柵設置）	L= 30m	但東町薬王寺地内

ウ 側溝修繕

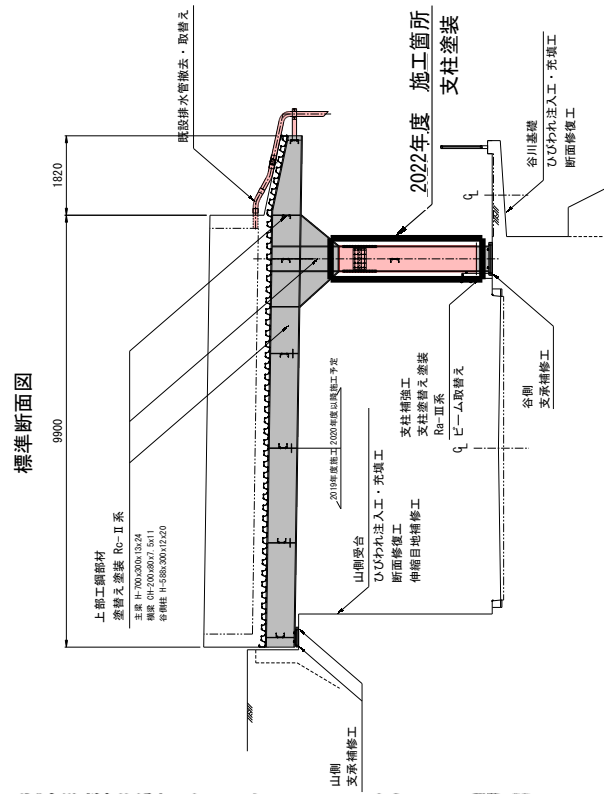
岩井北清水線	L= 58m	岩井 地内
御所2号線	L=100m	城崎町湯島地内
愛宕3号線	L= 70m	城崎町湯島地内
小見塚1号線	L= 40m	城崎町今津地内
東町区内線第6号	L= 45m	竹野町竹野地内
下町区内線第1号	L= 11m	竹野町竹野地内
山田地内線	L= 22m	日高町山田地内

エ 大規模舗装修繕		
日和山線	L=180m	瀬戸 地内
東條線	L=180m	出石町東條地内
大開一日市線	L=290m	中陰地内
金剛寺畑上線	L=150m	金剛寺地内
森津一日市線	L=195m	下陰地内
高屋戸牧線	L=325m	高屋地内
学園線	L=240m	出石町水上地内
八木町分線	L=166m	出石町町分地内
一の湯松崎線	L=290m	城崎町湯島地内
来日山線	L=250m	城崎町湯島地内
草飼引舟線	L=160m	竹野町竹野地内
中山太田線	L=240m	但東町中山地内

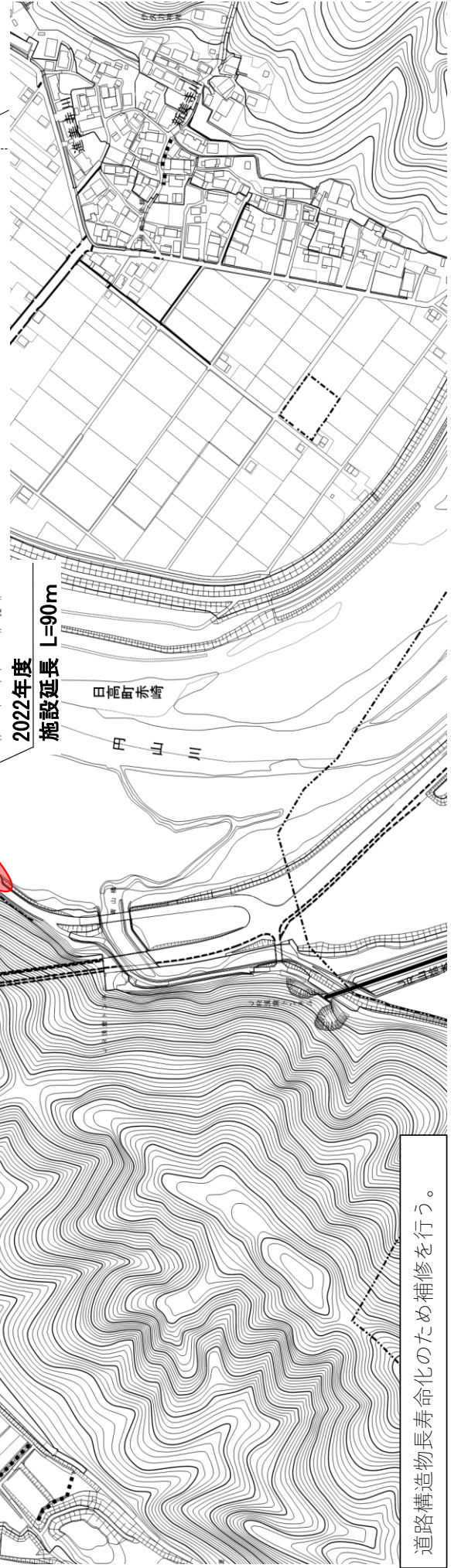
担当課名【建設課】（内線 2421）

施策体系番号 3-2-3-3

道路維持（道路構造物長寿命化・補修）：赤崎江原線

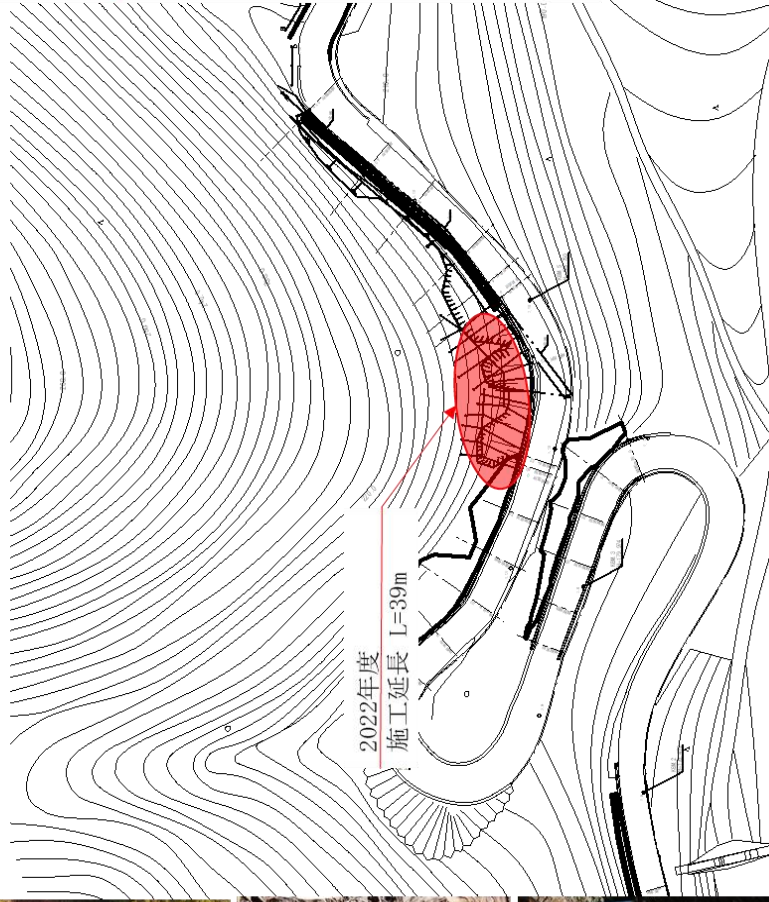


2022年度
施設延長 L=90m

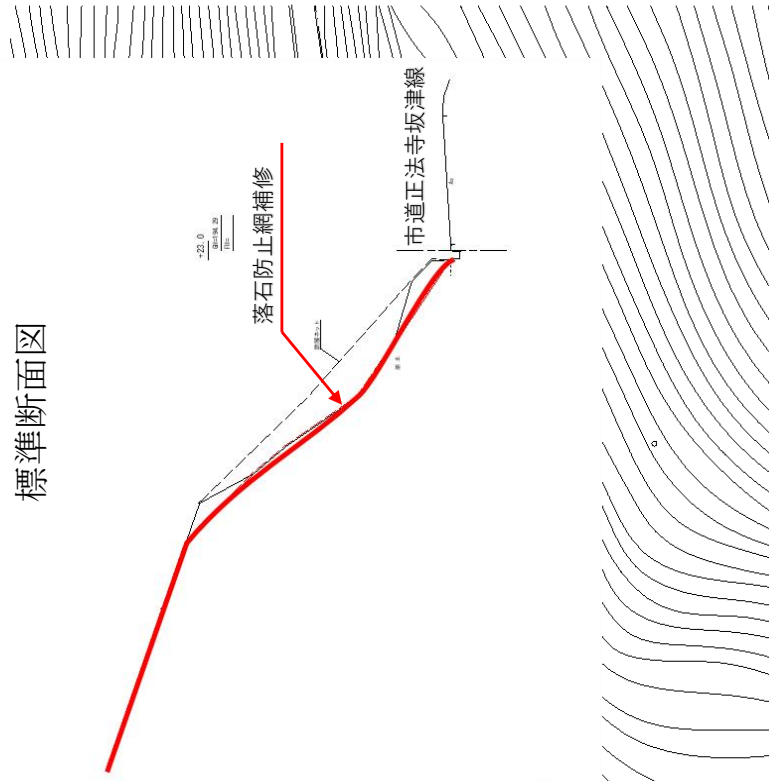


道路構造物長寿命化のため補修を行う。

道路維持（道路構造物長寿命化・補修）：正法寺坂津線



標準断面図



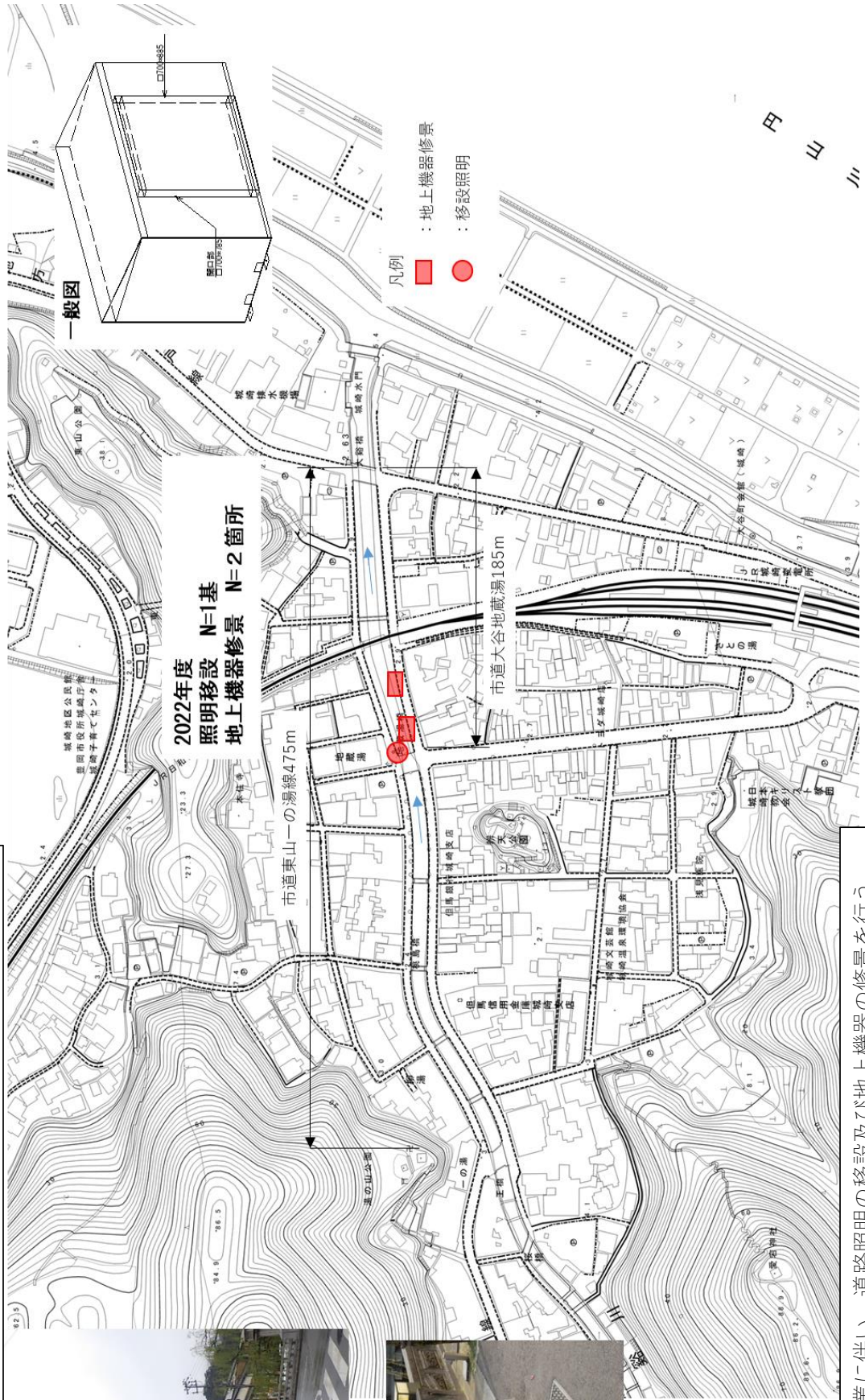
道路構造物長寿命化のため補修を行う。

道路維持（道路構造物長寿命化・補修）：栗山妙見線



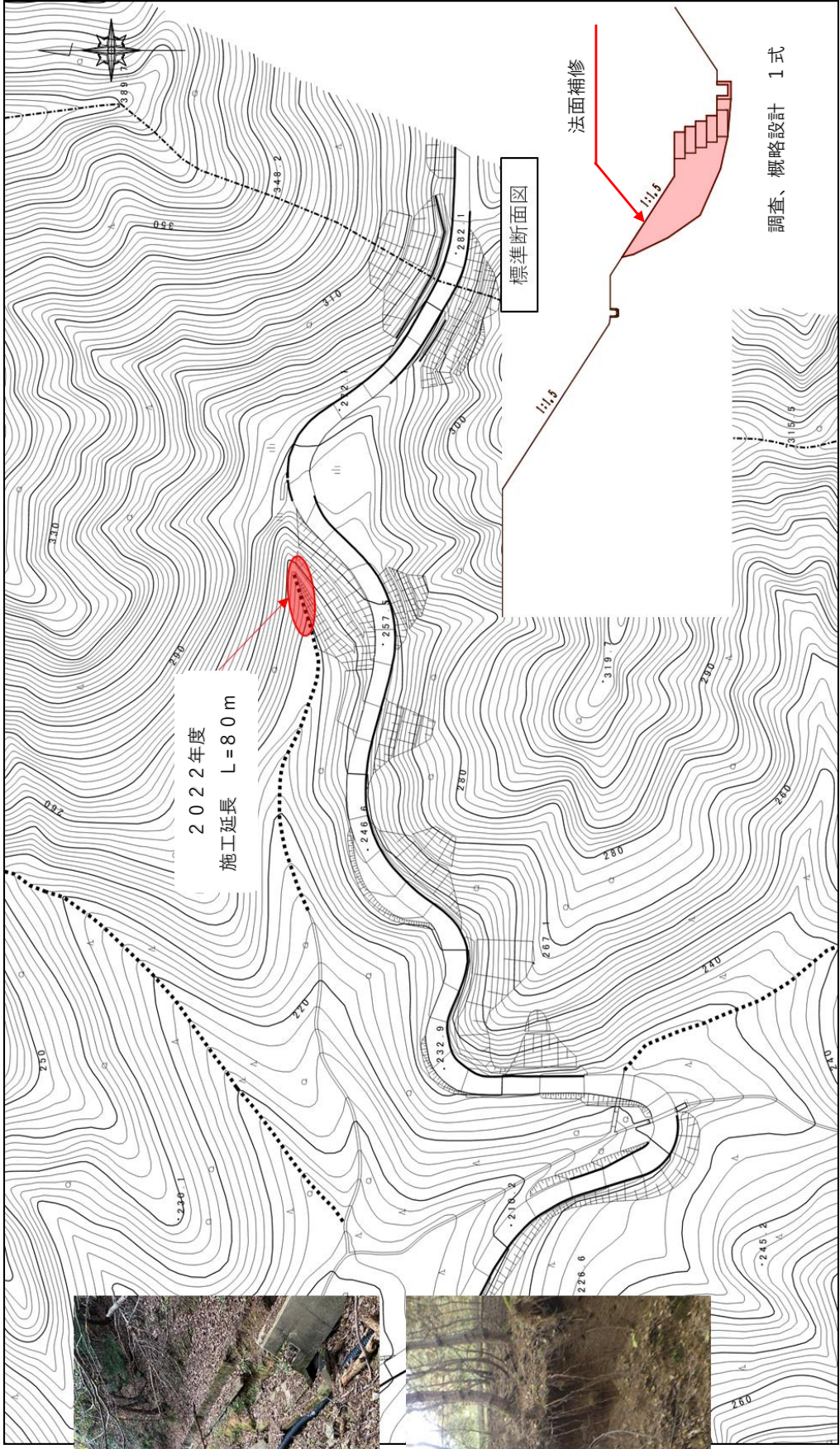
道路構造物長寿命化のため補修を行う。

道路維持（道路構造物長寿命化・補修）：大谷地蔵湯線外



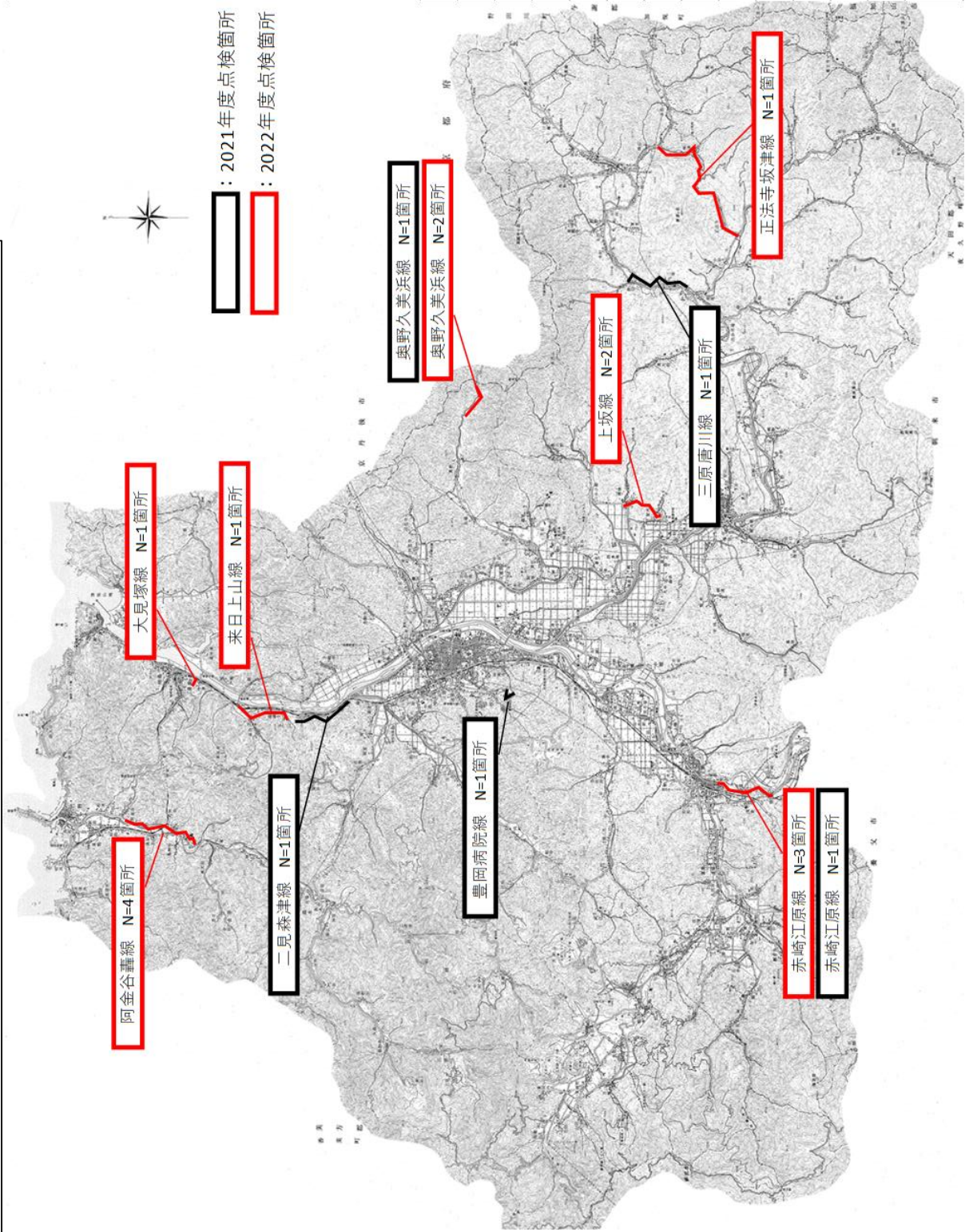
城崎地区無電柱化整備事業に伴い、道路照明の移設及び地上機器の修景を行う。

道路維持（道路構造物長寿命化・補修）：奥野久美浜線



盛土法面崩壊箇所の補修を行う。

道路維持（道路構造物長寿命化）：特定道路土工構造物点検



市道一日市水路沿線道路補修工事（一日市地内）

継続



工種	道路改良工事
事業予定着手年度	2018年度
事業予定完了年度	2025年度

・本路線は幅員が狭小であるのと、蓼川水路に対して防護柵がなく危険な状況であるため、拡幅及び防護柵の設置を行う。

市道河畑分尾線道路法面補修工事（日高町羽尻地内）

新規



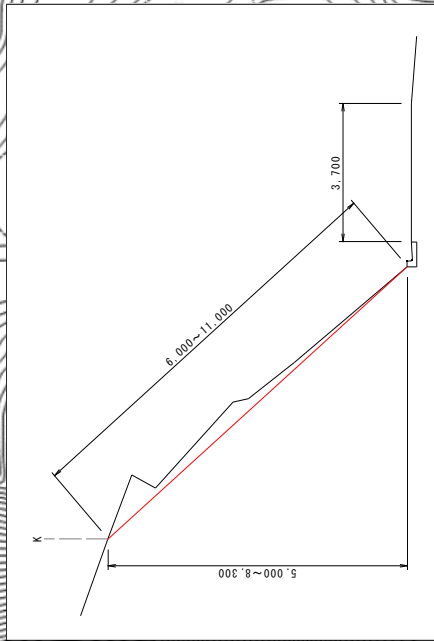
2022年度
② L=17m



2021年冬の落石



2022年度
① L=17m

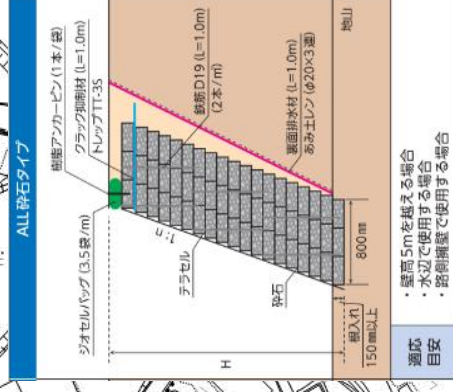


工種	道路防災工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

・法面の岩が風化し、市道への落石が多発している。安全な通行を確保するために法面対策工事を行う。

市道三原区内線第3号道路法面補修工事（竹野町三原地内）

新規

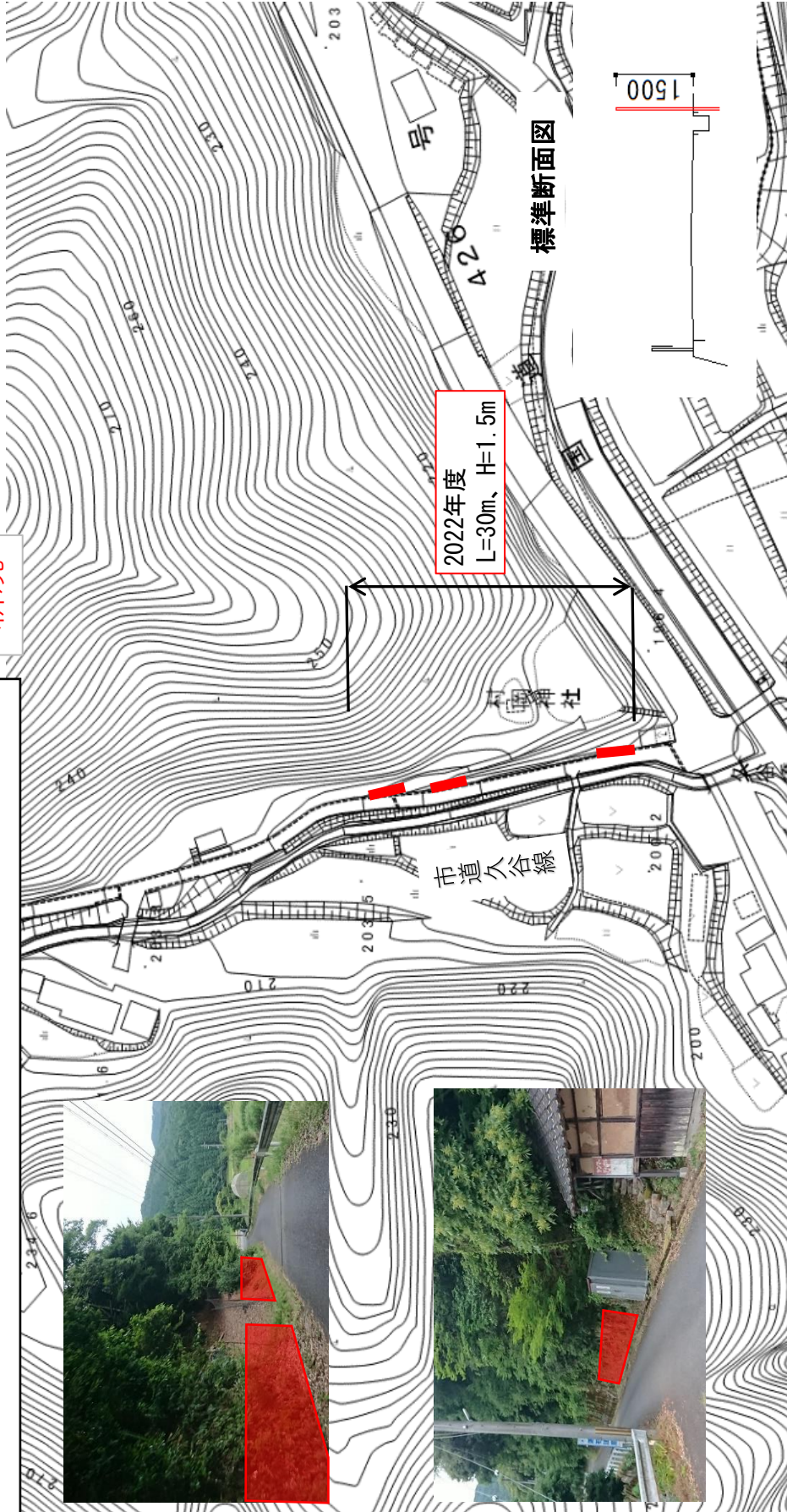


工種	道路防災工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

・市道法面はふとんかごが老朽化し一部崩落し、安全に通行できる状態に無いため、早期に修繕を行う。

市道久谷線簡易落石防護柵設置工事（但東町薬王寺地内）

新規



工種	道路防災工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

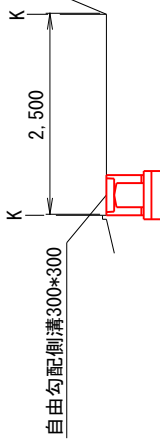
・市道への落石が多々あり、通行の安全を図るため、簡易落石防護柵を設置する。

市道岩井北清水線側溝修繕工事（岩井地内）



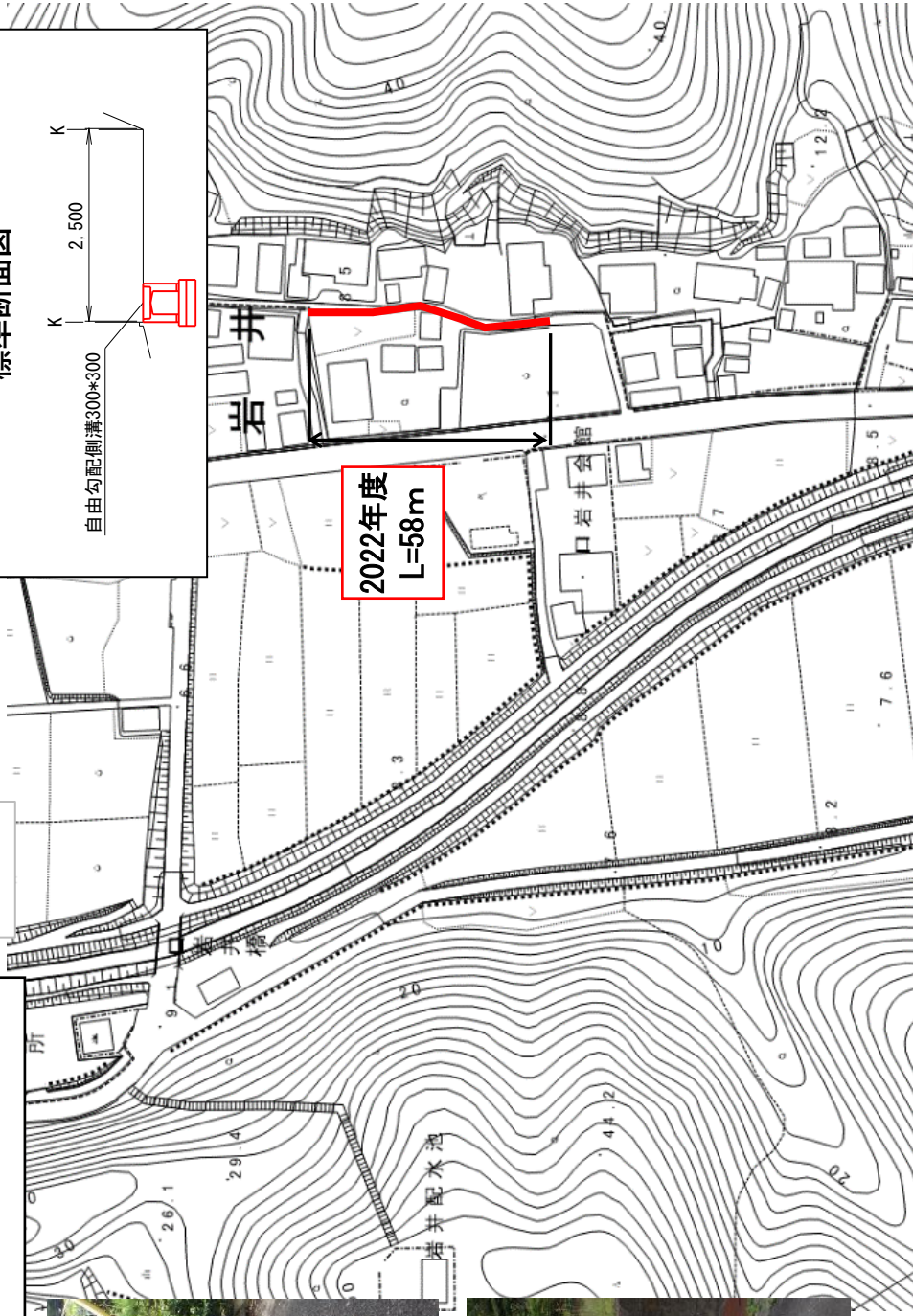
新規

標準断面図



自由勾配側溝300*300

2022年度
L=58m



工種	側溝修繕工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

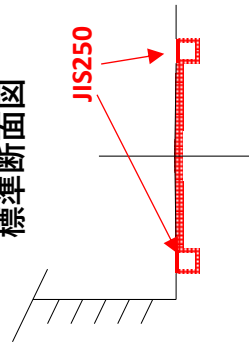
・本路線は一部区間に水路が無く、道路排水を行うための側溝を新設する。

市道御所2号線側溝修繕工事（城崎町湯島地内）

新規



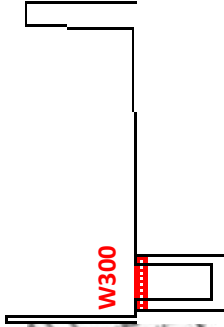
標準断面図



工種	側溝修繕工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

・側溝の老朽化及び蓋板(鉄板)のガタ付、腐食が著しく、近年周辺旅館駐車場への通行も増加していることから、修繕を行う。

標準断面図



新規

市道愛宕3号線側溝修繕工事（城崎町湯島地内）

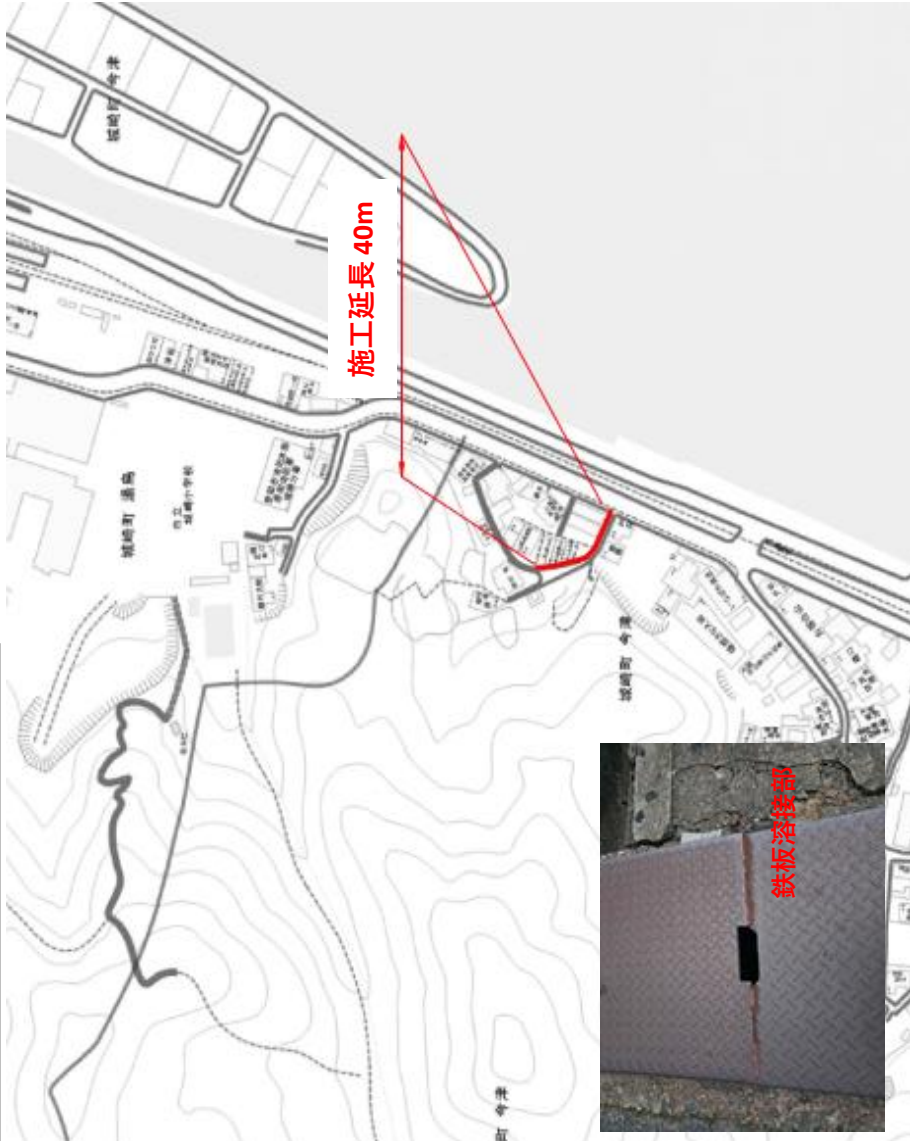


工種	側溝修繕工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

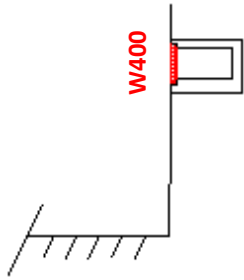
・鉄板の腐食、ガタが著しく危険な状態であるため、蓋板の改修を行う。

市道小見塚1号線側溝修繕工事（城崎町今津地内）

新規



標準断面図

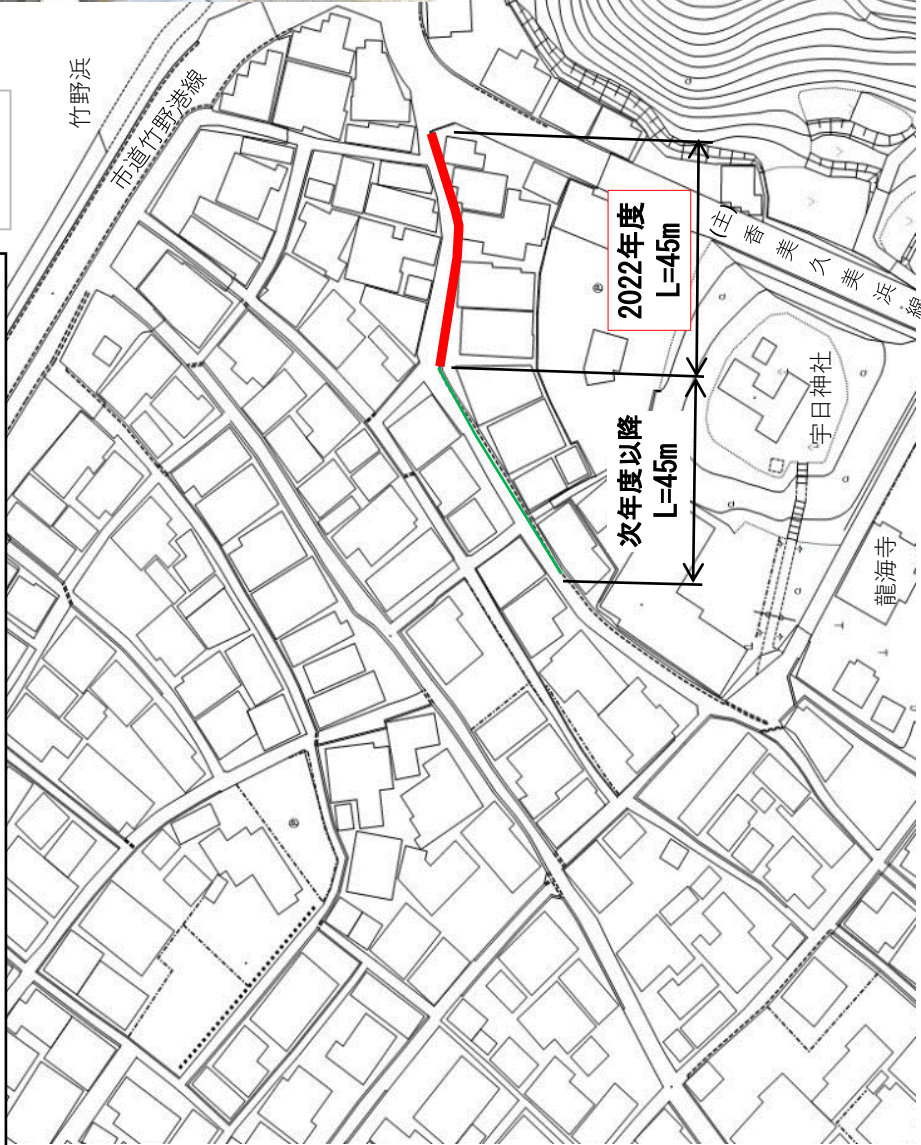


工種	側溝修繕工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

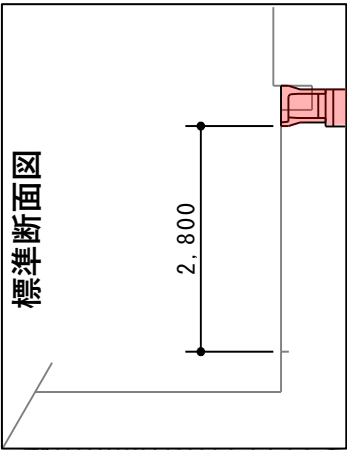
・鉄板の変形が著しく抜本的な蓋板改修を行う。

市道東町区内線第6号側溝修繕工事（竹野町竹野地内）

新規



標準断面図

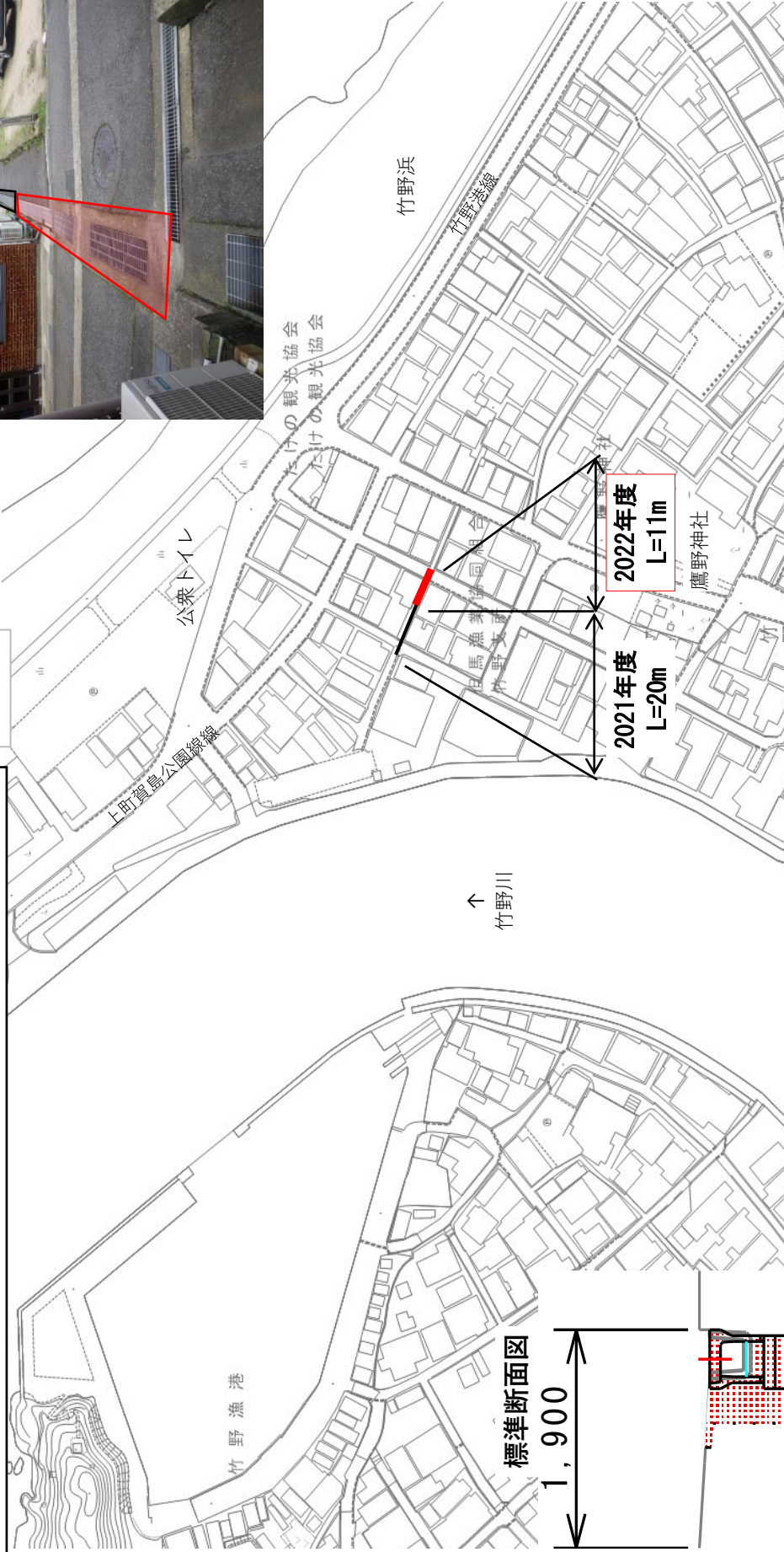
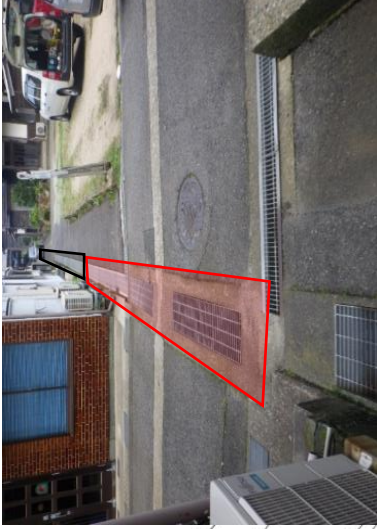


工種	側溝修繕工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2023年度

・本路線の側溝は老朽化により損傷が著しいため修繕を行う。

市道下町区内線第1号側溝修繕工事（竹野町竹野地内）

継続



工種	側溝修繕工事
事業予定着手年度	2021年度
事業予定完了年度	2022年度

・本路線の側溝は老朽化により損傷が著しいため修繕を行う。



新規

市道山田地内線側溝修繕工事（日高町山田地内）

2022年度
L=22m

標準断面図

1.700 800.500

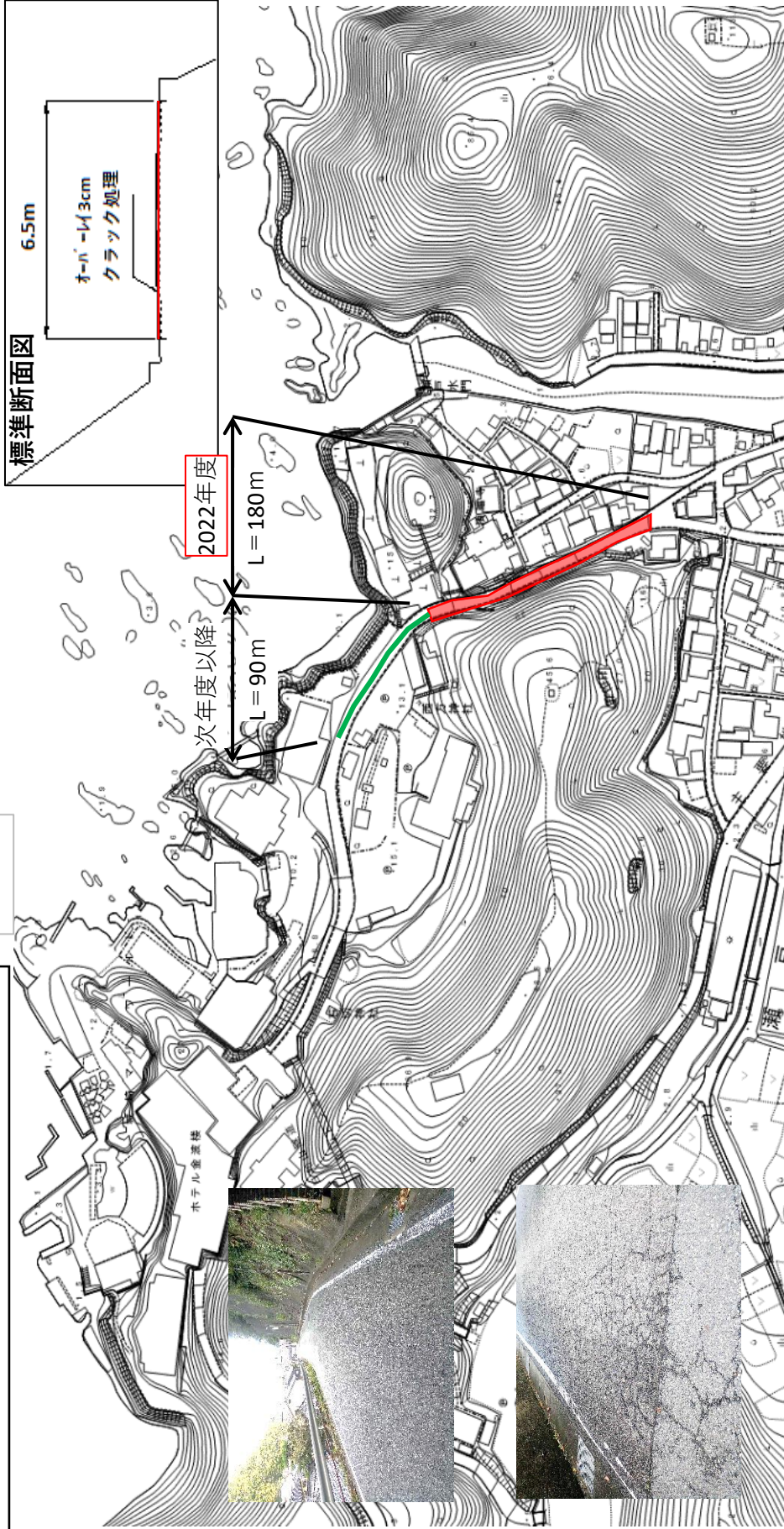


工種	側溝修繕工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

・本路線の側溝は老朽化により損傷が著しいため修繕を行う。

市道日和山線舗装修繕工事（瀬戸地内）

新規

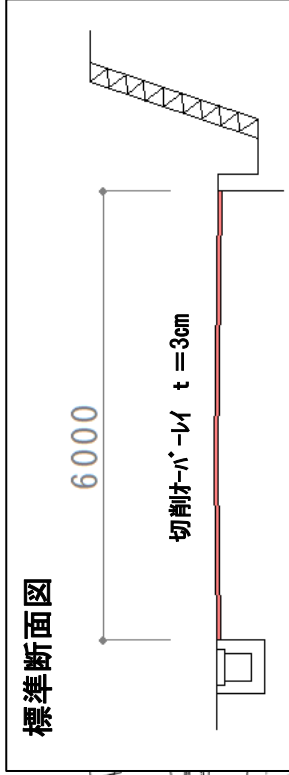


工種	舗装工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2023年度

・路面の損傷が著しいため修繕を行う。

市道東条線舗装修繕工事（出石町東条地内）

新規



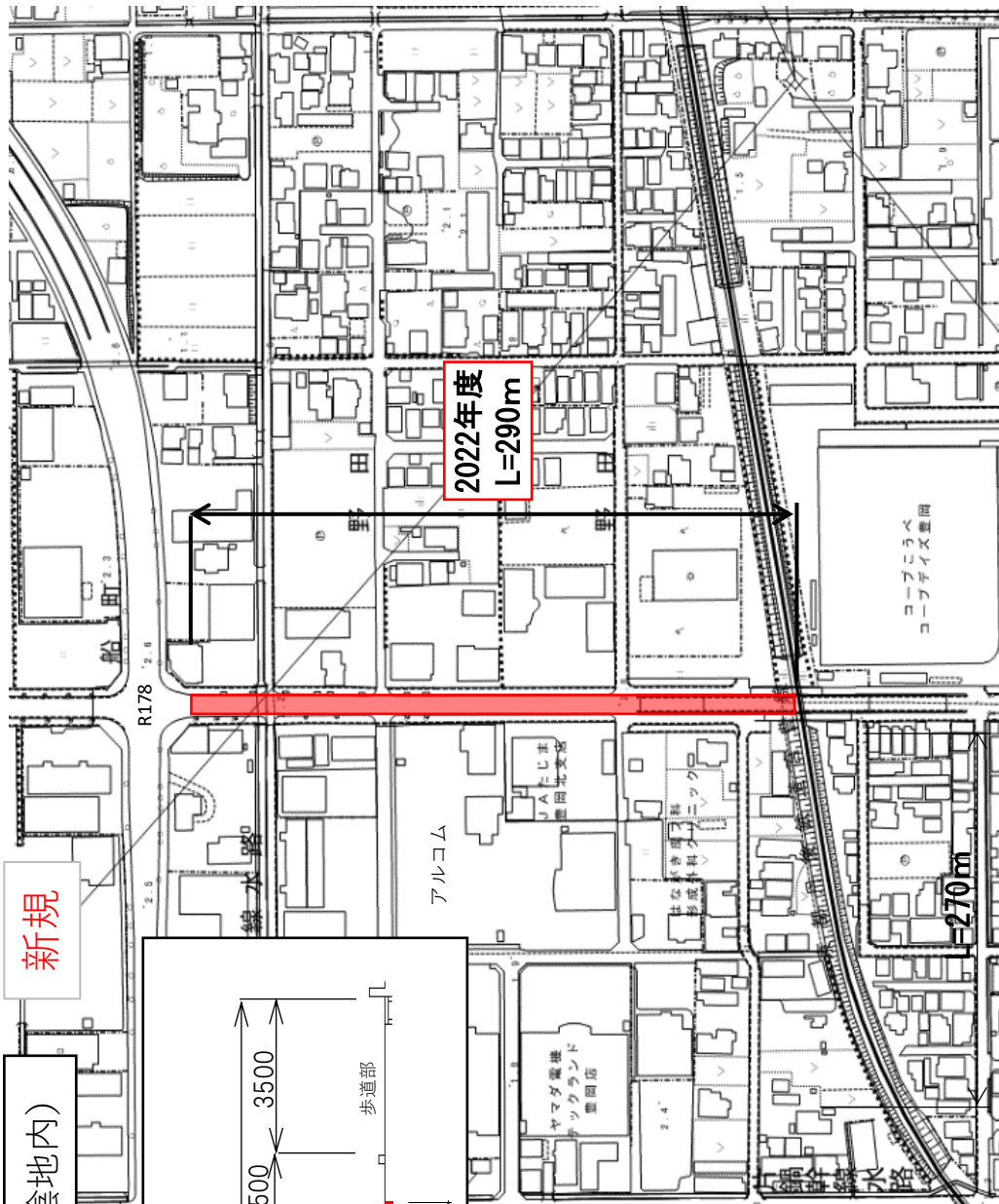
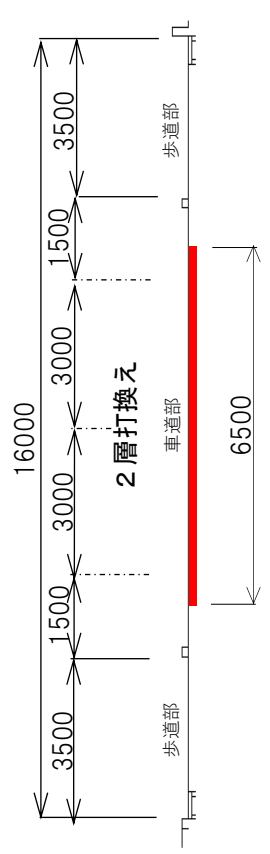
工種	舗装工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2023年度

・路面の損傷が著しいため修繕を行う。

新規

市道大開一日市線舗装修繕工事（中陰地内）

標準断面図



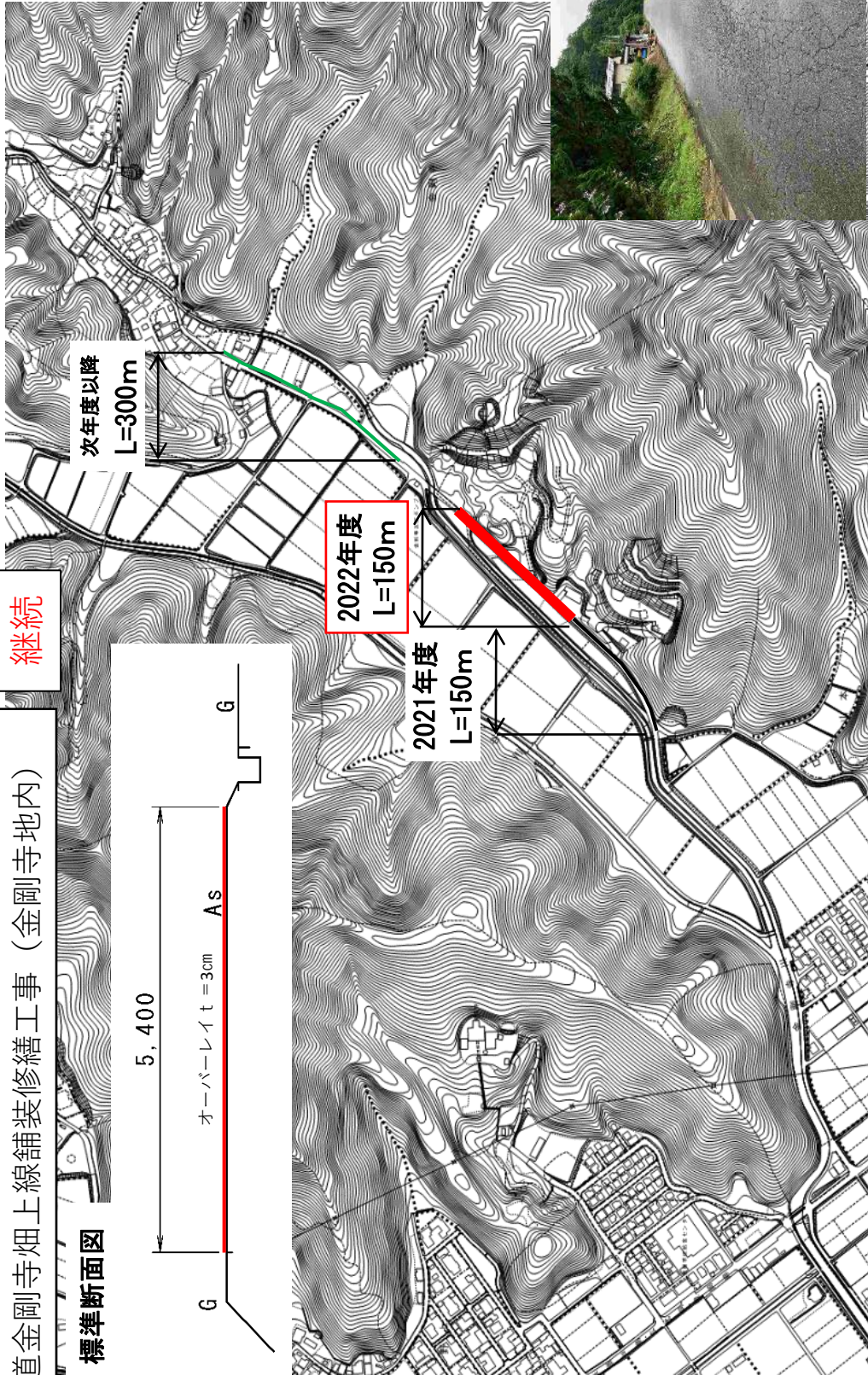
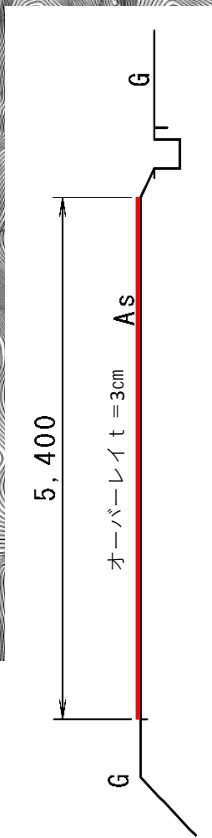
工種	舗装修繕工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

・路面の損傷が著しいため、修繕を行う。

市道金剛寺畑上線舗装修繕工事（金剛寺地内）

継続

標準断面図



工種	舗装工事
事業予定着手年度	2021年度
事業予定完了年度	2024年度

・路面の損傷が著しいため、修繕を行う。

市道森津一日市線舗装修繕工事（下陰地内）

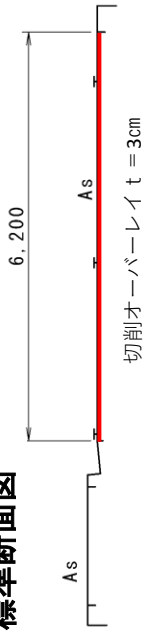
継続

2022年度
L=195m

2021年度
L=130m

次年度以降
L=460m

標準断面図



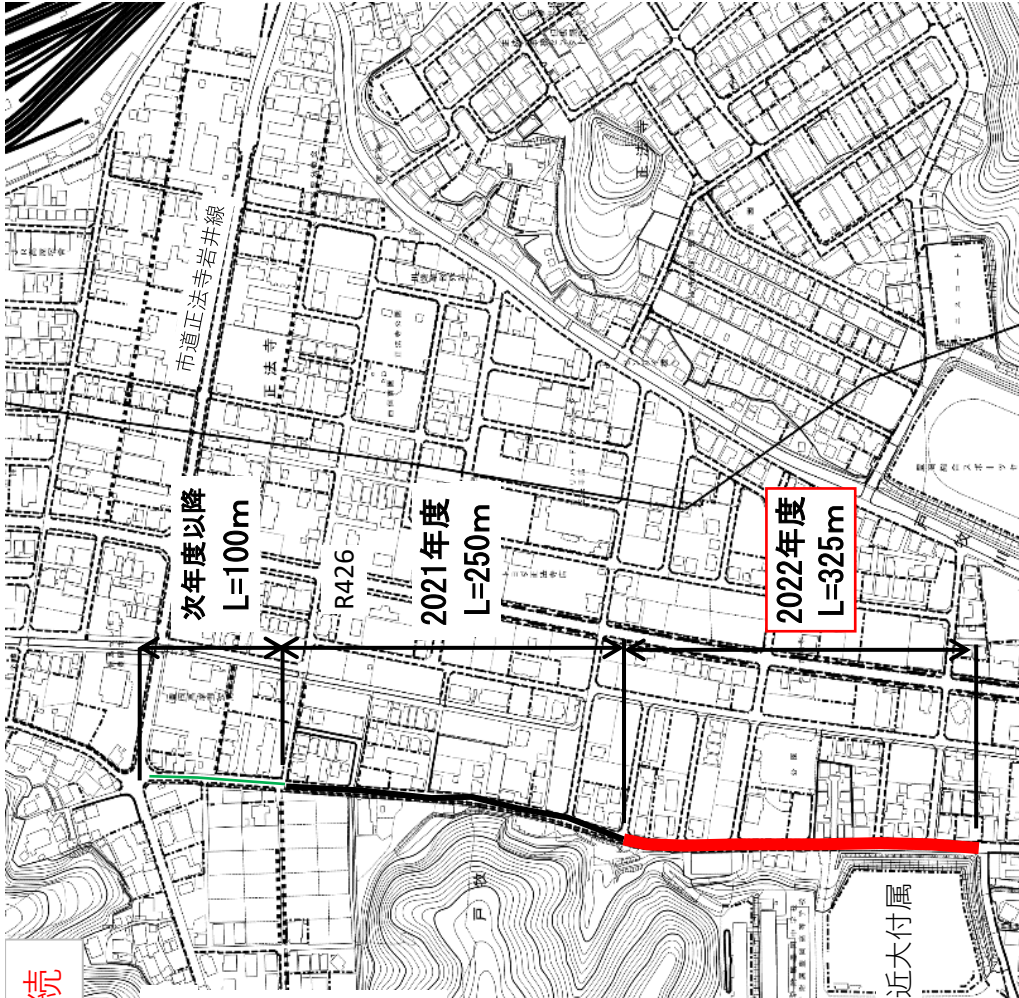
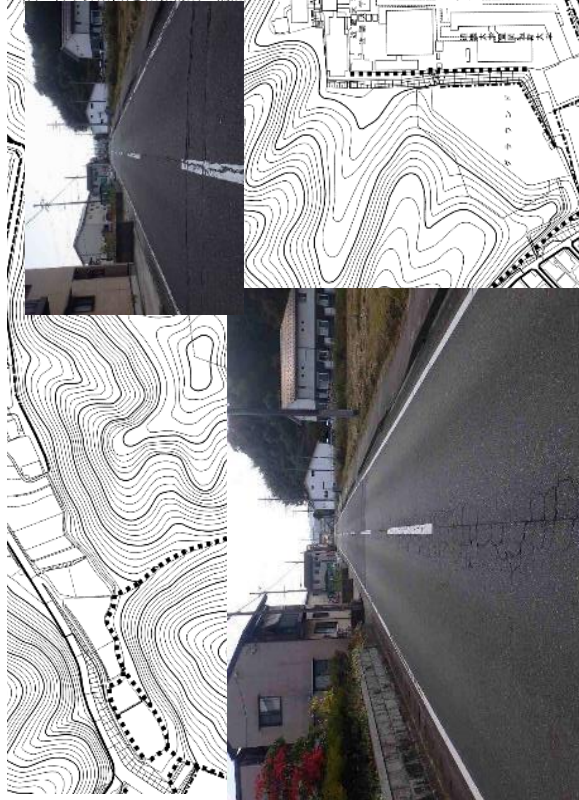
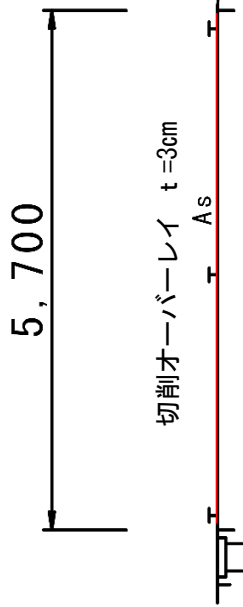
工種	舗装工事
事業予定着手年度	2021年度
事業予定完了年度	2024年度

・路面の損傷が著しいため、修繕工事を行う。

市道高屋戸牧線舗装修繕工事（高屋地内）

継続

標準断面図

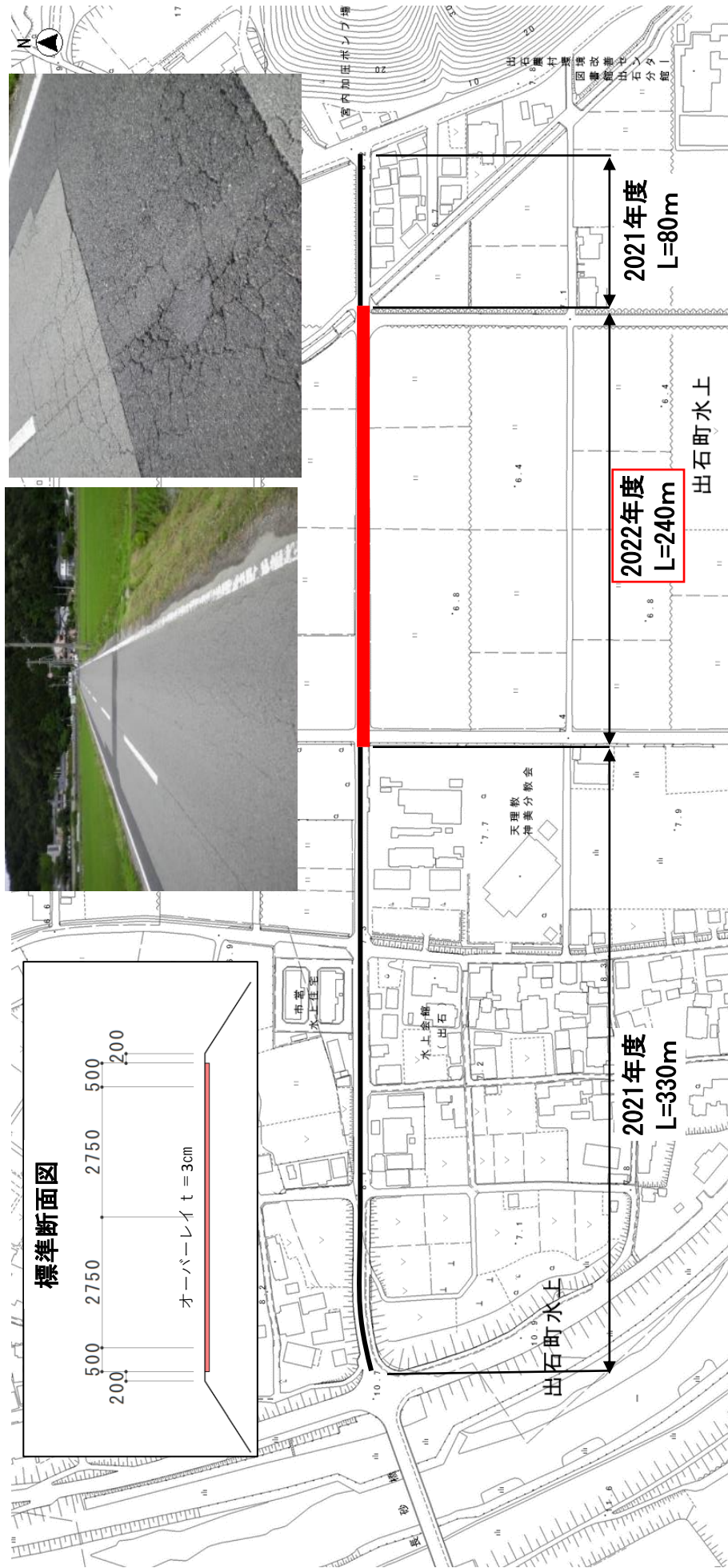


工種	舗装修繕工事
事業予定着手年度	2021年度
事業予定完了年度	2023年度

・路面の損傷が著しいため、修繕工事を行う。

市道学園線舗装修繕工事（出石町水上地内）

継続



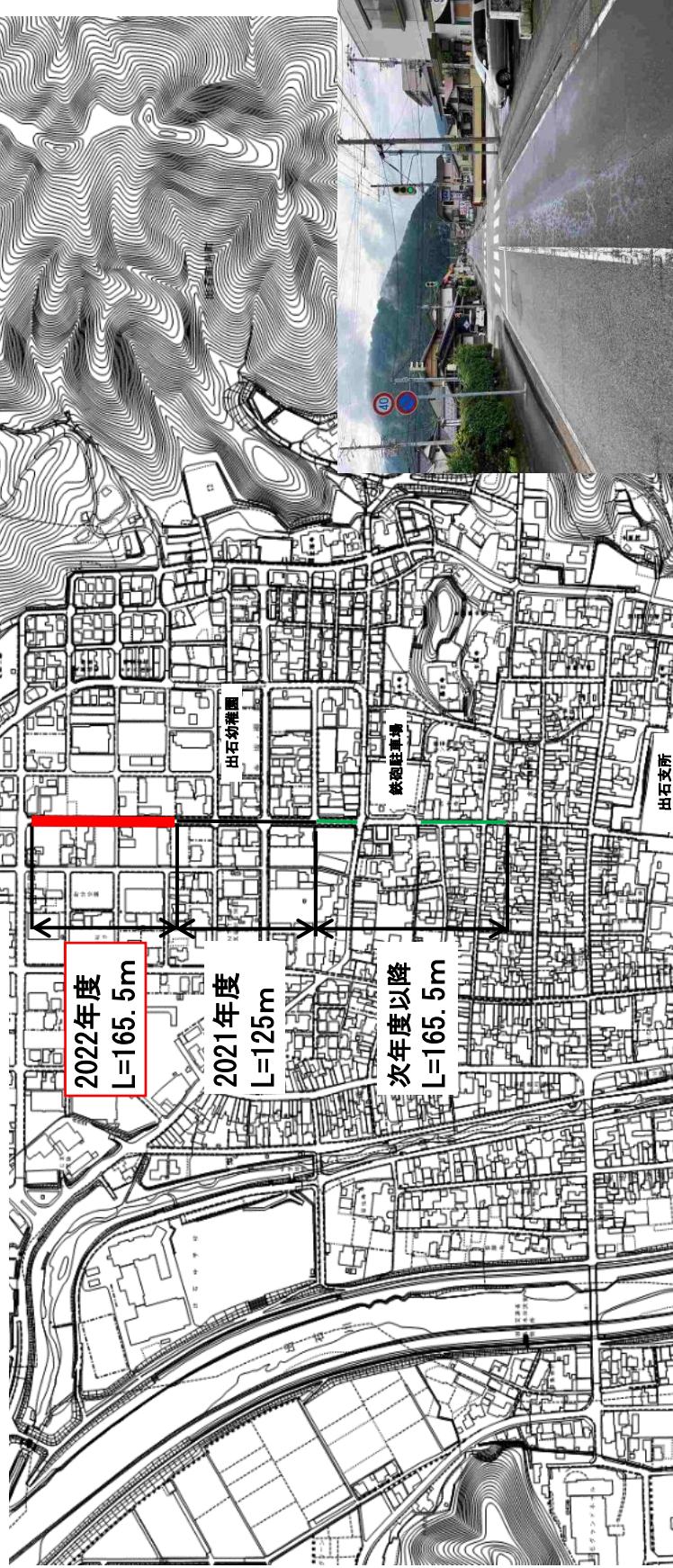
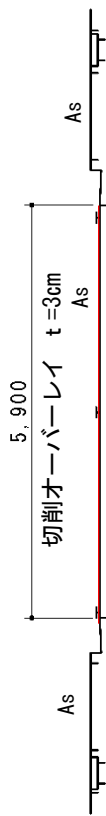
工種	舗装工事
事業予定着手年度	2021年度
事業予定完了年度	2022年度

・路面の損傷が著しいため、修繕工事を行う。

市道八木町分線舗装修繕工事（出石町分地内）

継続

標準断面図

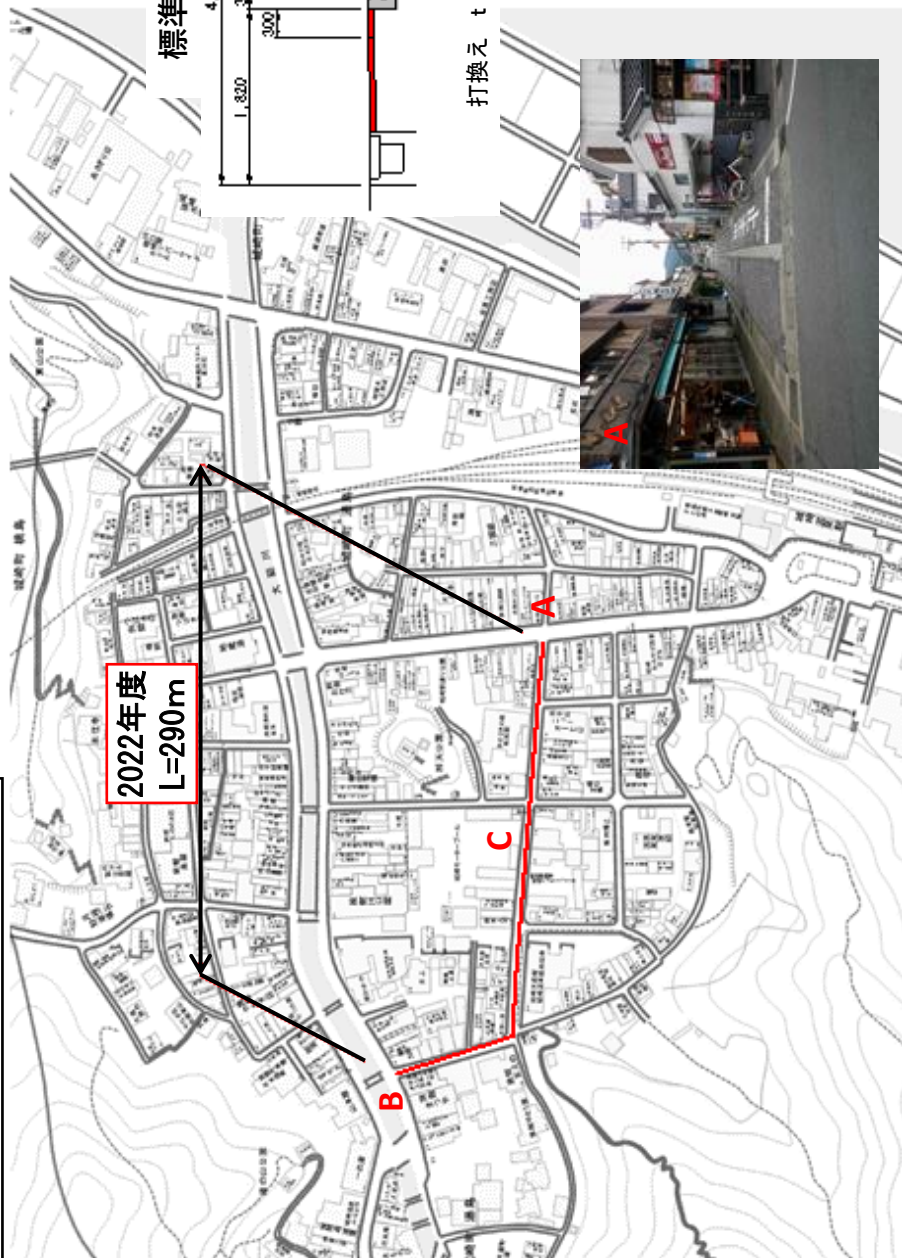


工種	舗装工事
事業予定着手年度	2021年度
事業予定完了年度	2023年度

・路面の損傷が著しいため、修繕工事を行う。

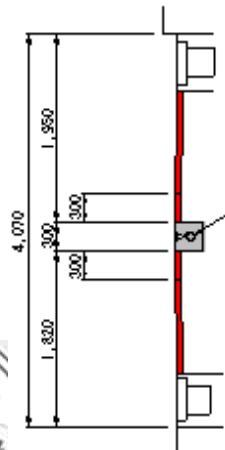
市道一の湯松崎線舗装復旧工事(城崎町湯島地内)

新規



2022年度
L=290m

標準断面図



打換え t=5cm

排水管φ175

工種	舗装工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

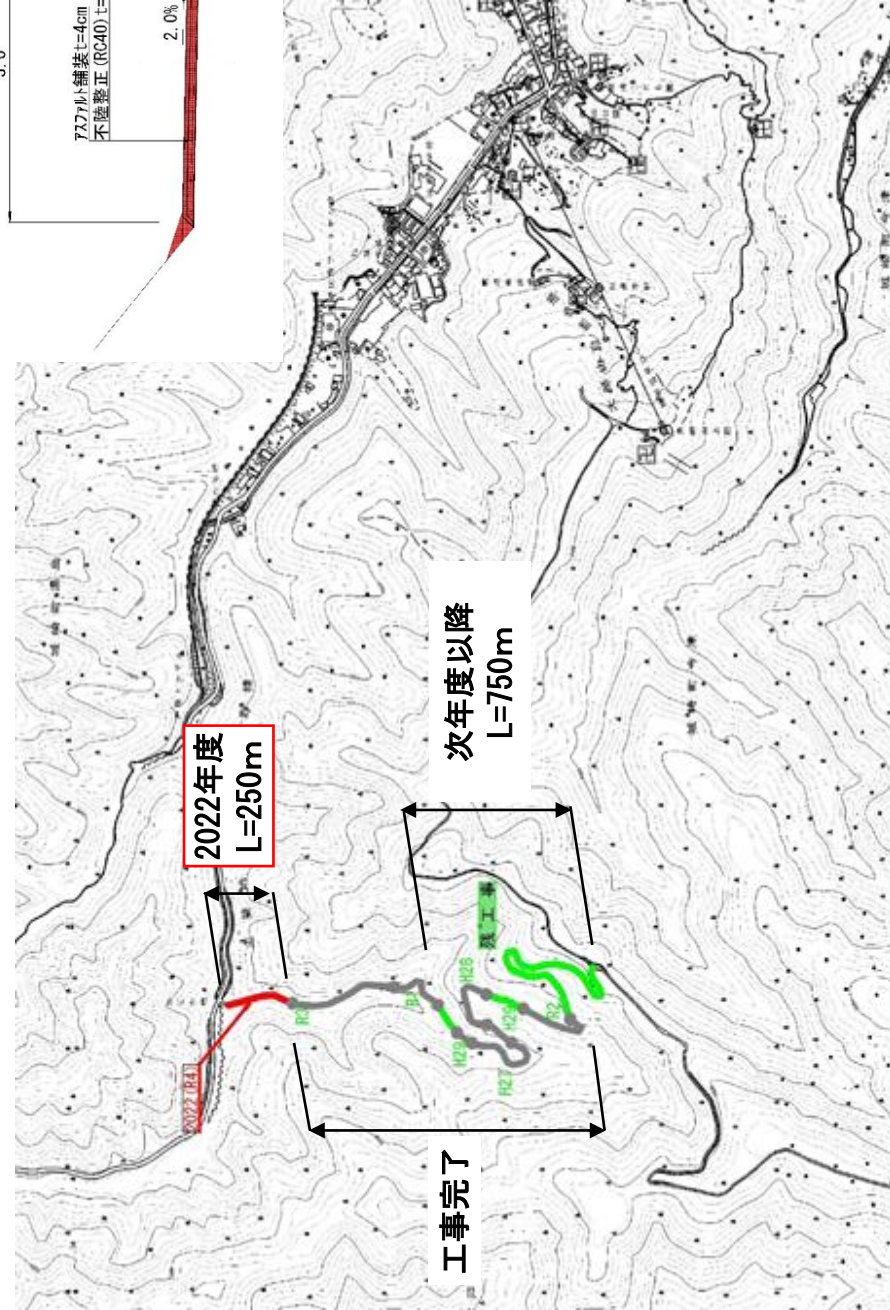
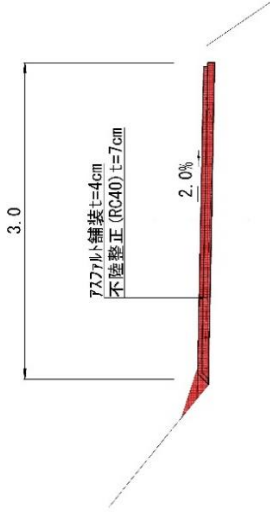
・'20,'21年度に消雪工を更新し、既設舗装と消雪工の段差が著しく早急に実施する必要がある。

市道来日山線舗装修繕工事（城崎町湯島地内）

継続

標準断面図

No. 0+10

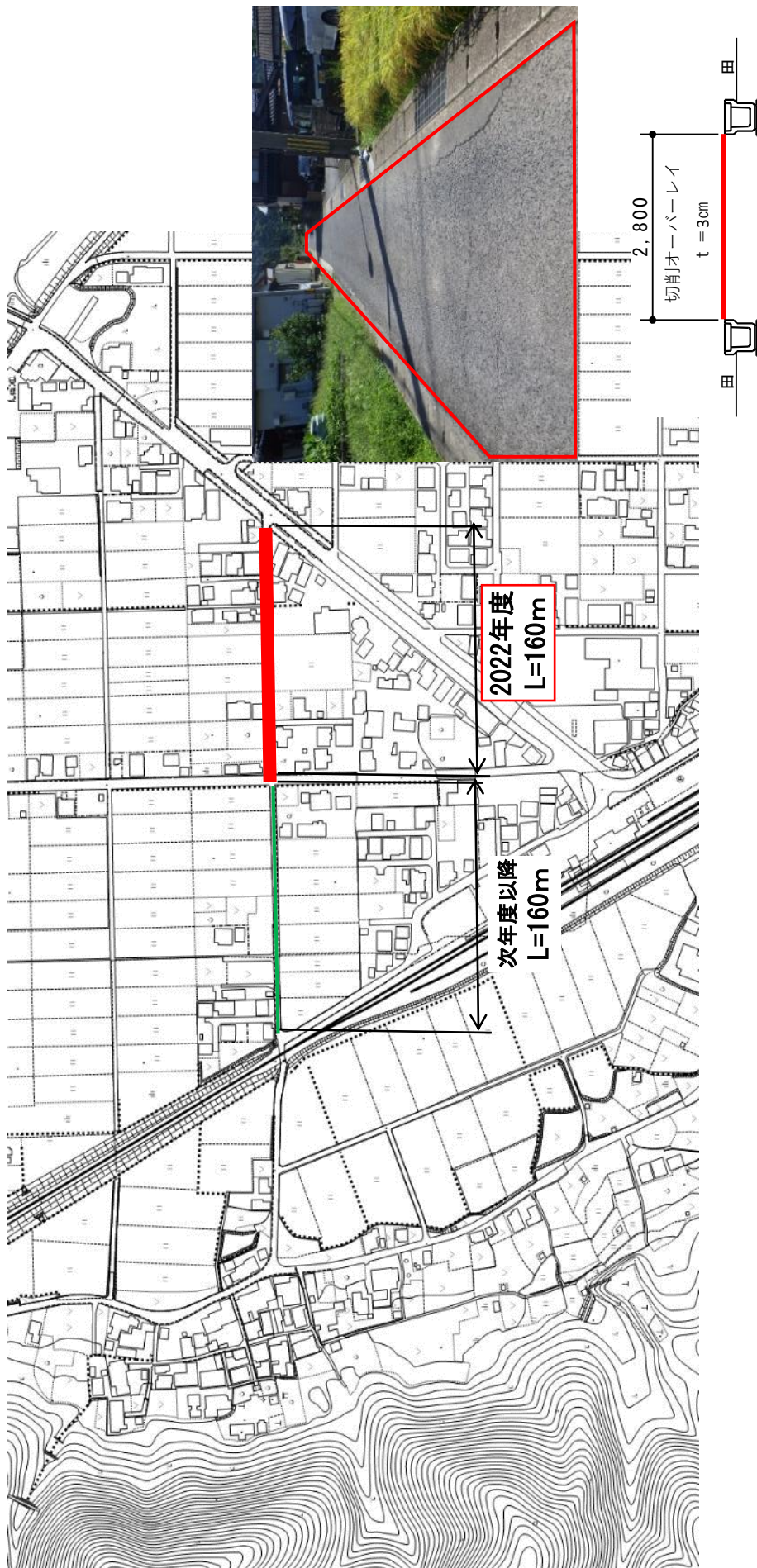


工種	舗装工事
事業予定着手年度	2015年度
事業予定完了年度	2025年度

・路面の損傷が著しいため、舗装を行い走行性を確保する。

市道草飼引舟線舗装修繕工事（竹野町竹野地内）

新規



工種	舗装工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2023年度

・路面の損傷が著しいため、修繕工事を行う。

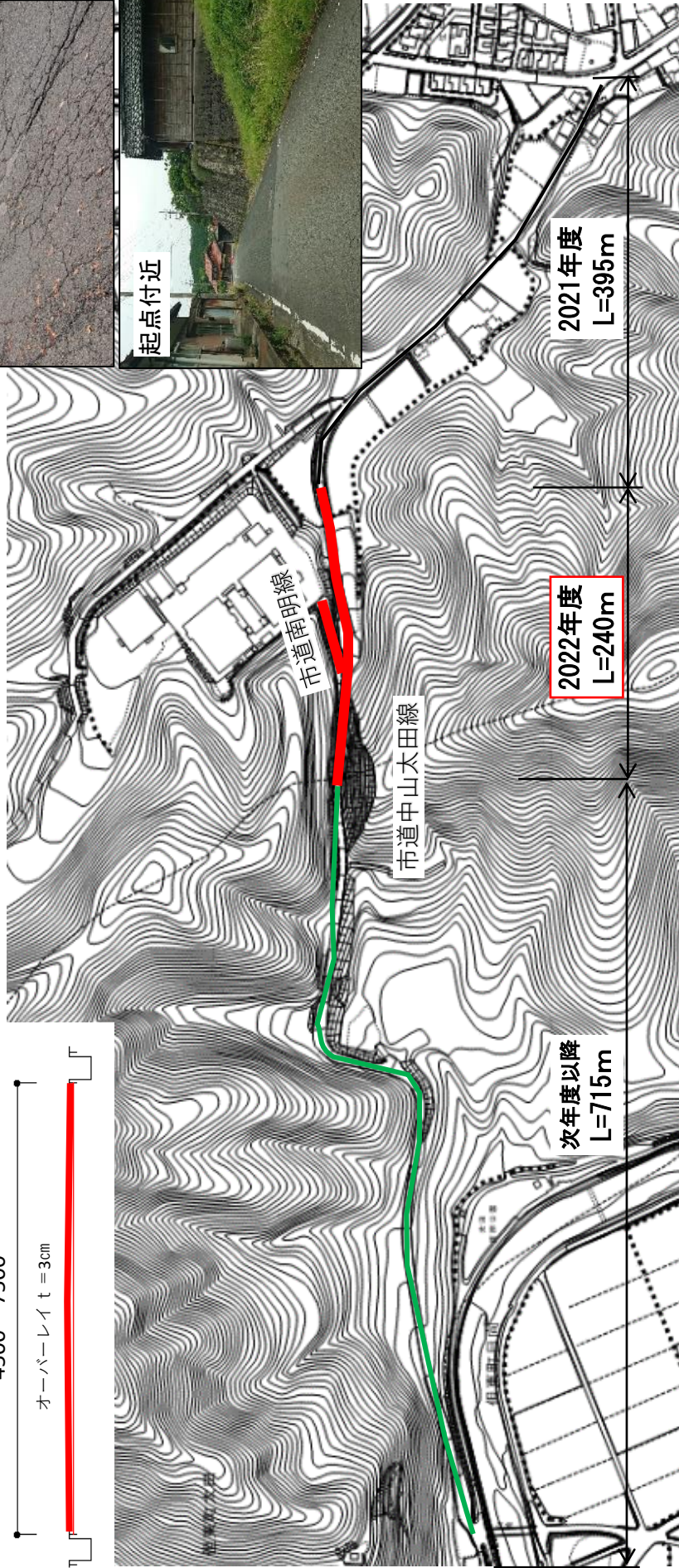
市道中山太田線外舗装修繕工事（但東町中山地内）

継続

標準断面図

4500～7500

オーバーレイ t = 3cm



工種	舗装工事
事業予定着手年度	2021年度
事業予定完了年度	2025年度

・路面の損傷が著しいため、修繕工事を行う。

No.24	事業名	道路整備 (市単独事業：池上日吉線)	2022 年度 予算額	27,000 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-----------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

広域的な道路網の構築、通学路や避難路などの安全・安心確保を目的として、地域の生活に密着した道路整備を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

道路改良工事、路線測量、詳細設計

(2) 事業期間

2014 年度～2022 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

304,201 千円

合併特例債（95%）

3 2022 年度予算

(1) 予算額

27,000 千円

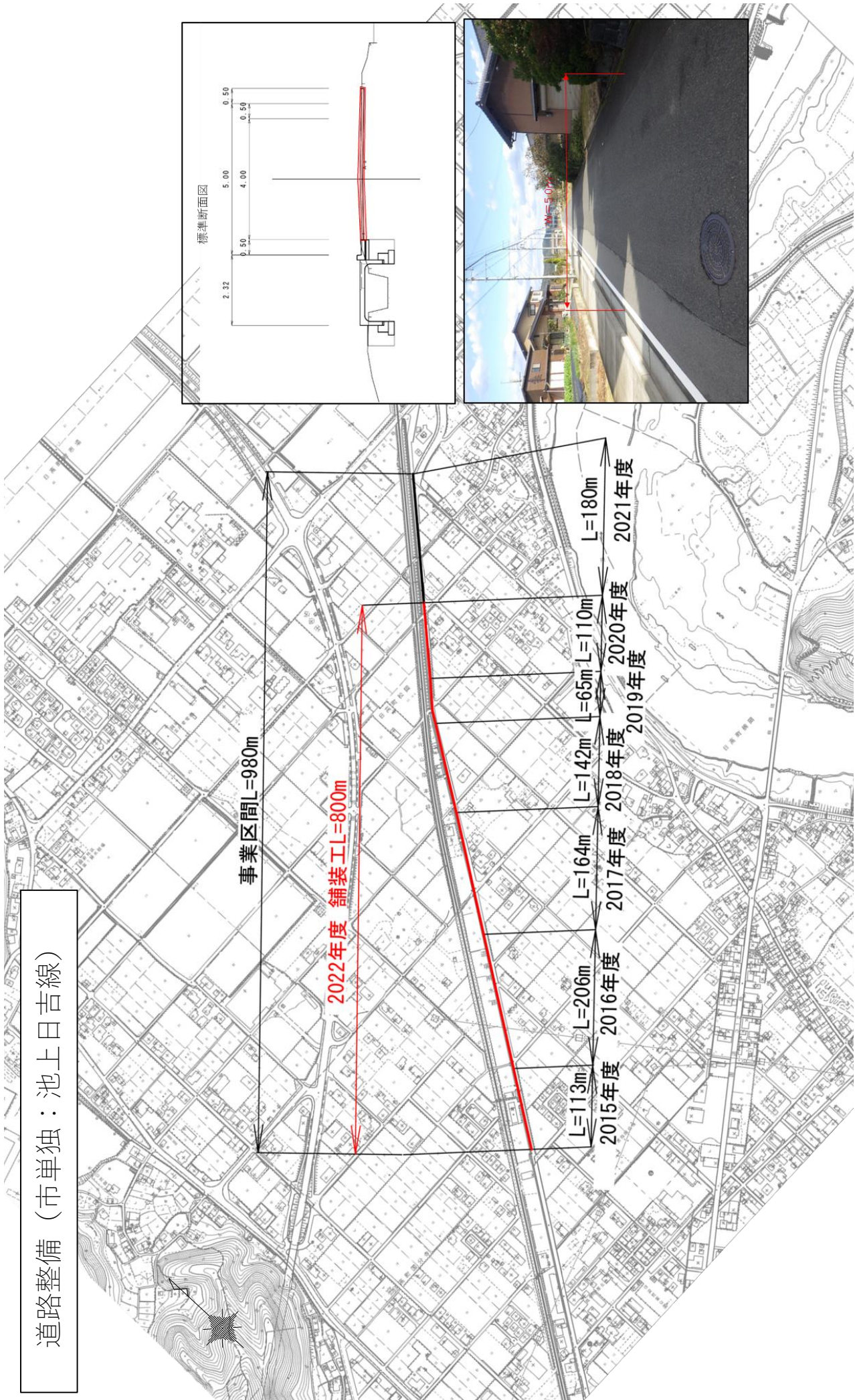
(2) 事業内容

舗装工事 L=800m 日高町鶴岡・松岡 地内

担当課名【建設課】（内線 2421）

施策体系番号 3-2-3-3

道路整備（市単独：池上日吉線）



No.25	事業名 栃江橋整備	2022 年度 予算額	30,000 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市道福田宮井線は、栃江、宮井地区と市街地を結ぶ通勤、通学にも利用される生活に密着した地域の幹線道路であるが、栃江橋の幅員が狭小であり、大型車両の通行に支障をきたしている。

また、栃江橋は昭和8年に架設された老朽橋で、橋脚数も多く洪水時の通水を著しく阻害している。このため、早急に橋梁架替を行う必要があり、防災機能を高め、車両や歩行者交通の安全を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

路線・用地測量、用地買収、橋梁予備設計、橋梁・道路詳細設計、
本工事（橋梁架替工、旧橋撤去工、道路改良工）

(2) 事業期間

2011年度～2025年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

1,225,901千円

道路メンテナンス事業費補助金（57.75%）

合併特例債（95%）、公共事業等債（90%）

3 2022年度予算

(1) 予算額

30,000千円

(2) 事業内容

交差点改良 1式

担当課名【建設課】（内線 2421）

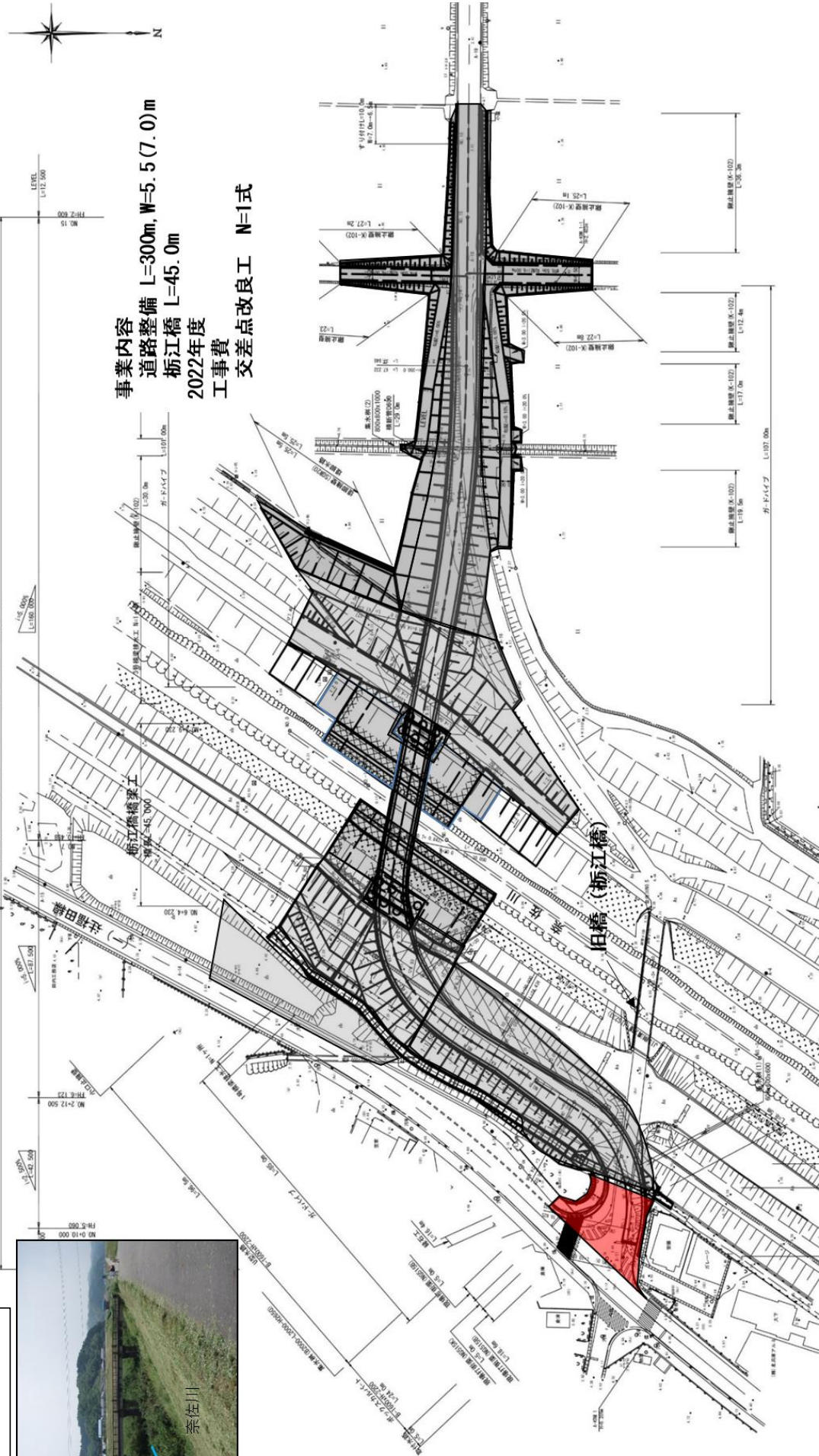
施策体系番号 3-2-3-3

栢江橋整備



全体延長 L=300.00m 幅員W=7.00m (5.50)

事業内容
 道路整備 L=300m, W=5.5 (7.0)m
 栢江橋 L=45.0m
 2022年度
 工事費
 交差点改良工 N=1式



No.26	事業名 上野橋整備	2022 年度 予算額	181,000 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市道上野線は、国道 426 号と県道寺坂福住線を結ぶ生活に密着した幹線道路であるが、上野橋の幅員が狭小で、老朽化が著しく大型車の通行に支障をきたしている。

また、周辺には工場や市の分譲宅地もあることから、早急に橋梁架替を行うことにより、車両や歩行者通行の安全、安心を確保する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

橋梁予備設計、橋梁・道路詳細設計、路線・用地測量、用地買収
本工事（上部工、橋台工、橋脚工、旧橋撤去工、道路改良工）

(2) 事業期間

2015 年度～2025 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

1,257,189 千円

防災・安全交付金（57.75%）

合併特例債（95%）、公共事業等債（90%）

3 2022 年度予算

(1) 予算額

181,000 千円

(2) 事業内容

橋梁上部工（桁製作） N=1 基

ボックスカルバート N=2 基

担当課名【建設課】（内線 2421）

施策体系番号 3-2-3-3

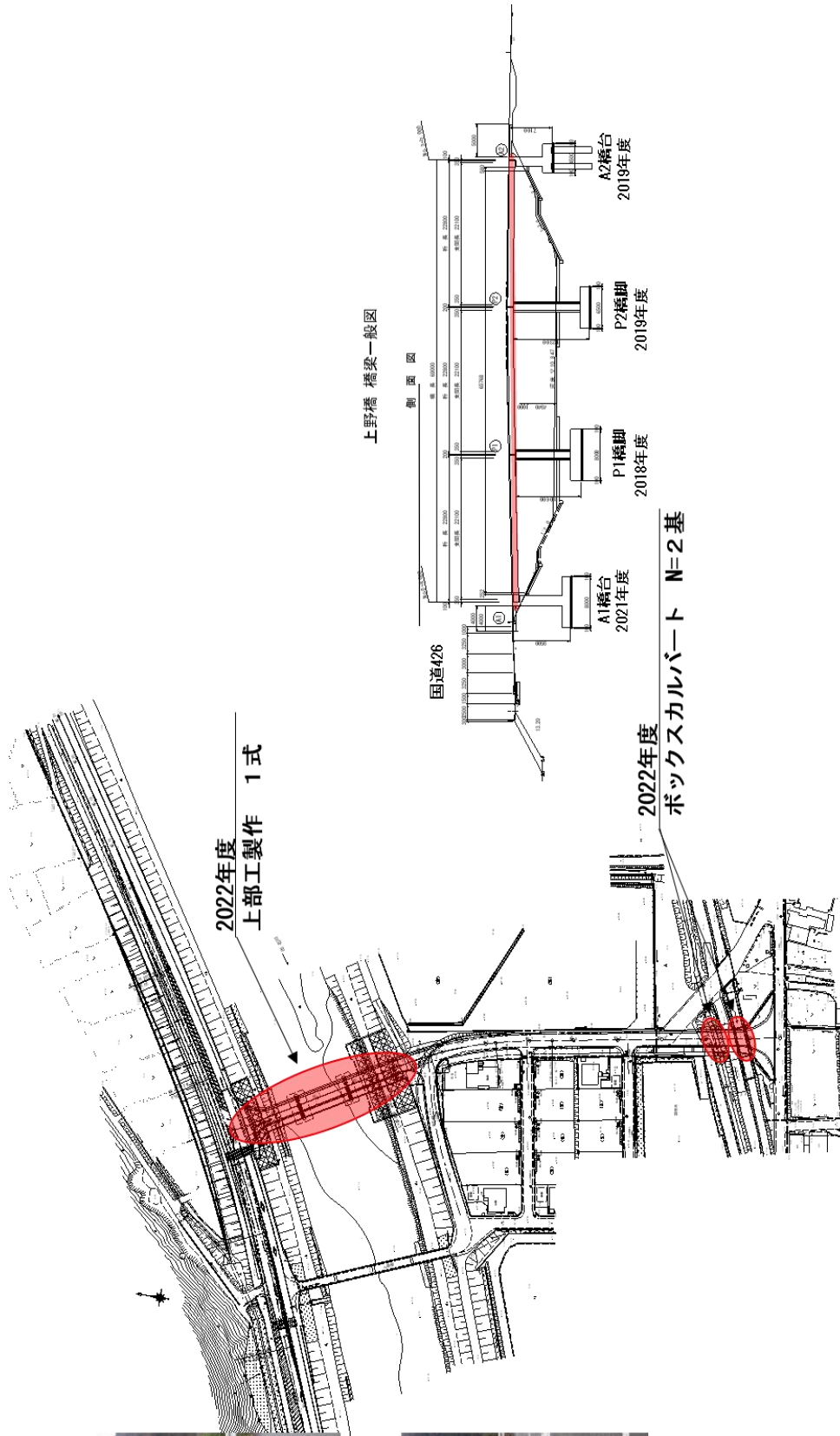
上野橋整備



現在の上野橋（左岸市道上野線から）



現在の上野橋（右岸国道426号から）



No.27	事業名	交通安全施設整備 (通学路 交通安全緊急対策等)	2022 年度 予算額	55,050 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-----------------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的 (趣旨)

2021年6月に千葉県八街市で発生した交通事故を受けて、全国的に実施された通学路の緊急安全点検結果に基づき抽出された危険箇所の対策工事を行う。

また、経年劣化した歩道の舗装修繕及び、摩耗により消失した道路区画線設置を行うとともに、道路の路肩カラー表示及び防護柵設置等により、歩行者の安全な空間を確保し、交通事故防止を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

通学路グリーンベルト設置

区画線設置

通学路交通安全緊急対策

(2) 事業期間

2013年度～

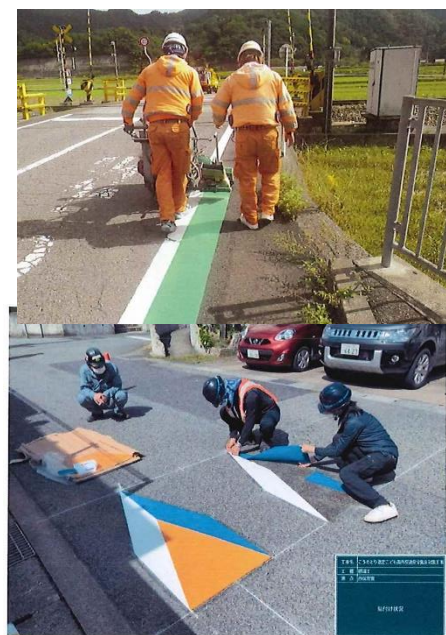
(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費 (補助率・負担率等)

防災・安全交付金 (57.75%)

交通災害共済組合設立基金分配金



3 2022年度予算

(1) 予算額

55,050 千円

(2) 事業内容

通学路グリーンベルト設置	L=4,600m	駅広都通線外	高屋外 地内
区画線設置	L=4,300m	大開一日市線外	大手町外 地内
通学路交通安全緊急対策	N=12箇所		
		豊岡地区…豊岡小学校区、八条小学校区、五荘小学校区 新田小学校区	
		日高地区…府中小学校区、八代小学校区、日高小学校区 静修小学校区、三方小学校区	
		出石地区…弘道小学校区、福住小学校区	
		但東地区…資母小学校区	

担当課名【建設課】 (内線 2421)

施策体系番号 3-2-3-3

2022年度 グリーンベルト施工予定箇所

市道名	路線延長	のべ延長
①市道駅広都通線	300 m	600 m
②市道蓼川線	1,000 m	2,000 m
③市道篠垣・栗山旧県道線	700 m	1,400 m
④学園線	300 m	600 m
合計	2,300 m	4,600 m

①市道駅広都通線



②市道蓼川線



③市道篠垣・栗山旧県道線

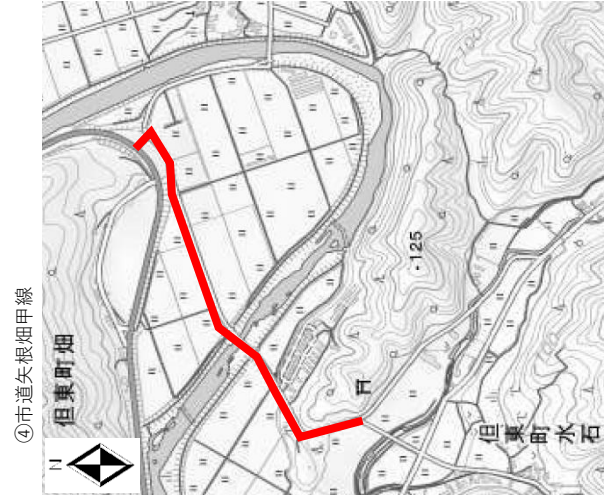
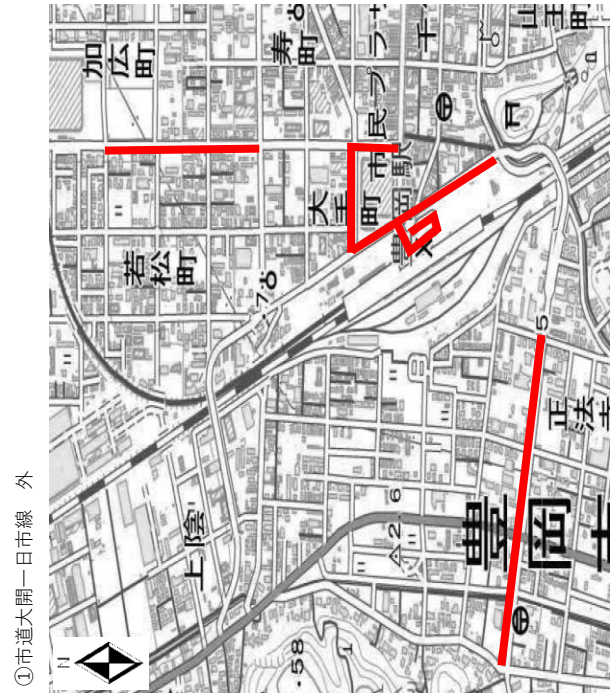


④学園線



2022年度 区画線施工予定箇所

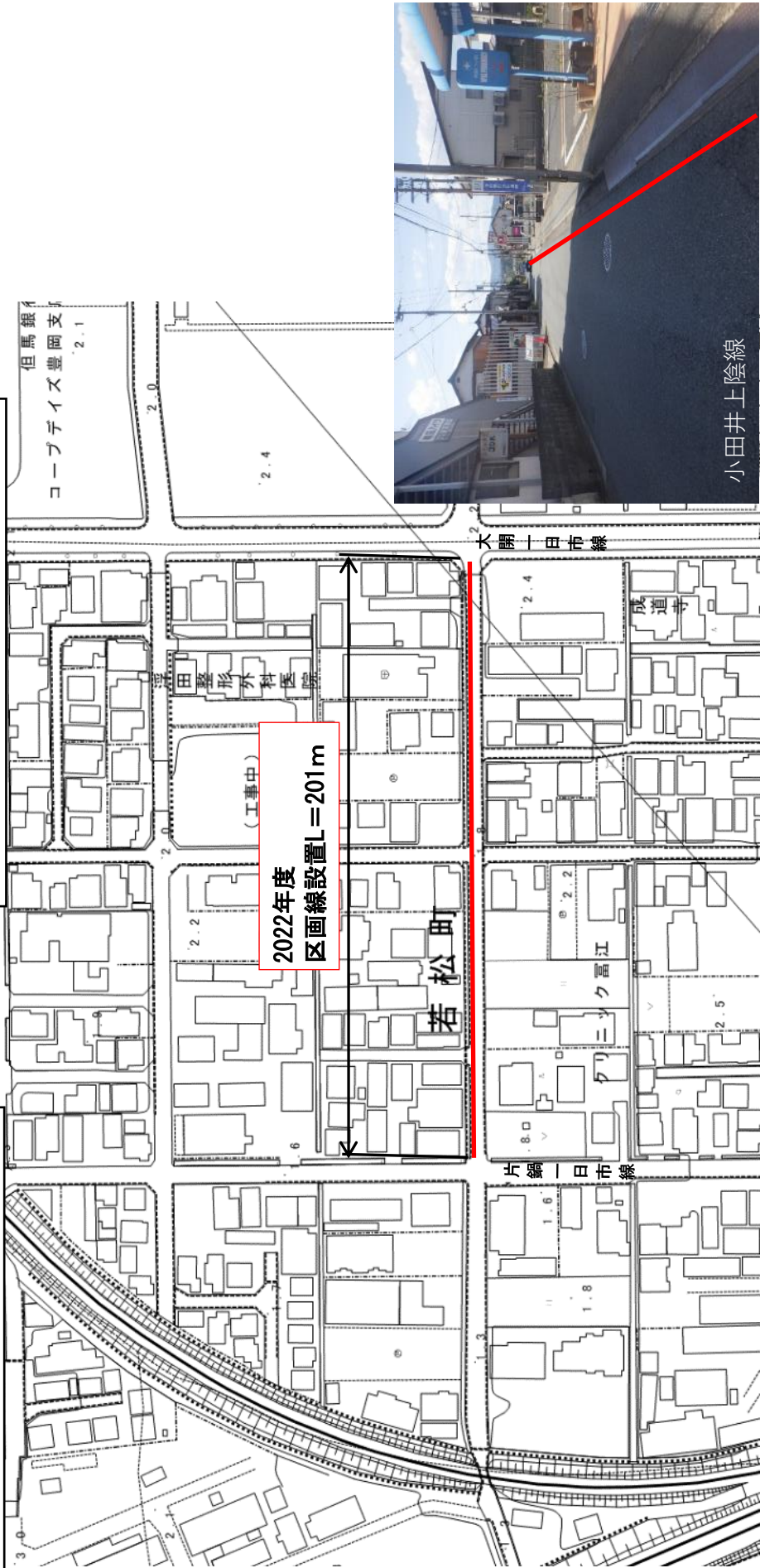
市道名	路線延長	施工内容
①市道大開一日市線 外	1,800 m	外側線・中央破線等
②小田井九日市線 外	800 m	外側線・中央破線等
③山本日吉線	700 m	外側線・中央破線等
④市道矢根畑甲線	1,000 m	外側線
合計	4,300 m	



通学路交通安全緊急対策

新規

豊岡小学校1/2 (若松町地内)



工種	区画線等設置工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

全体事業費	年度別事業費
300千円	2022年度 300千円
	2023年度

事業概要	
区画線：L=201m	

・2021年度に行われた通学路合同点検の結果に基づき対策が必要な箇所の工事を実施する。

通学路交通安全緊急対策

新規

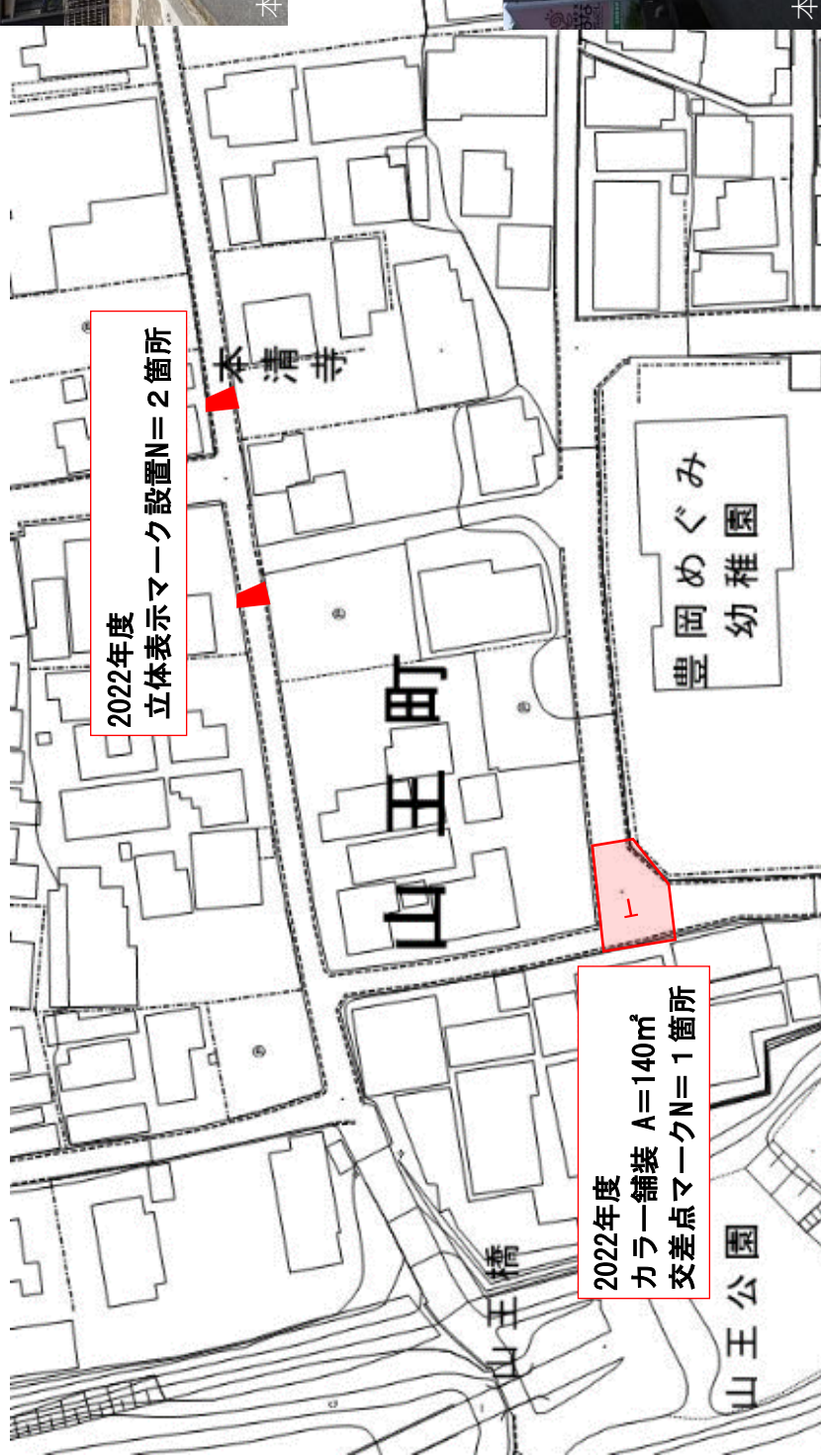
豊岡小学校2/2 (山王町地内)



本町豊田線



本町南北線



2022年度
立体表示マーク設置N=2箇所

2022年度
カラー舗装 A=140㎡
交差点マークN=1箇所

工種	区画線等設置工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

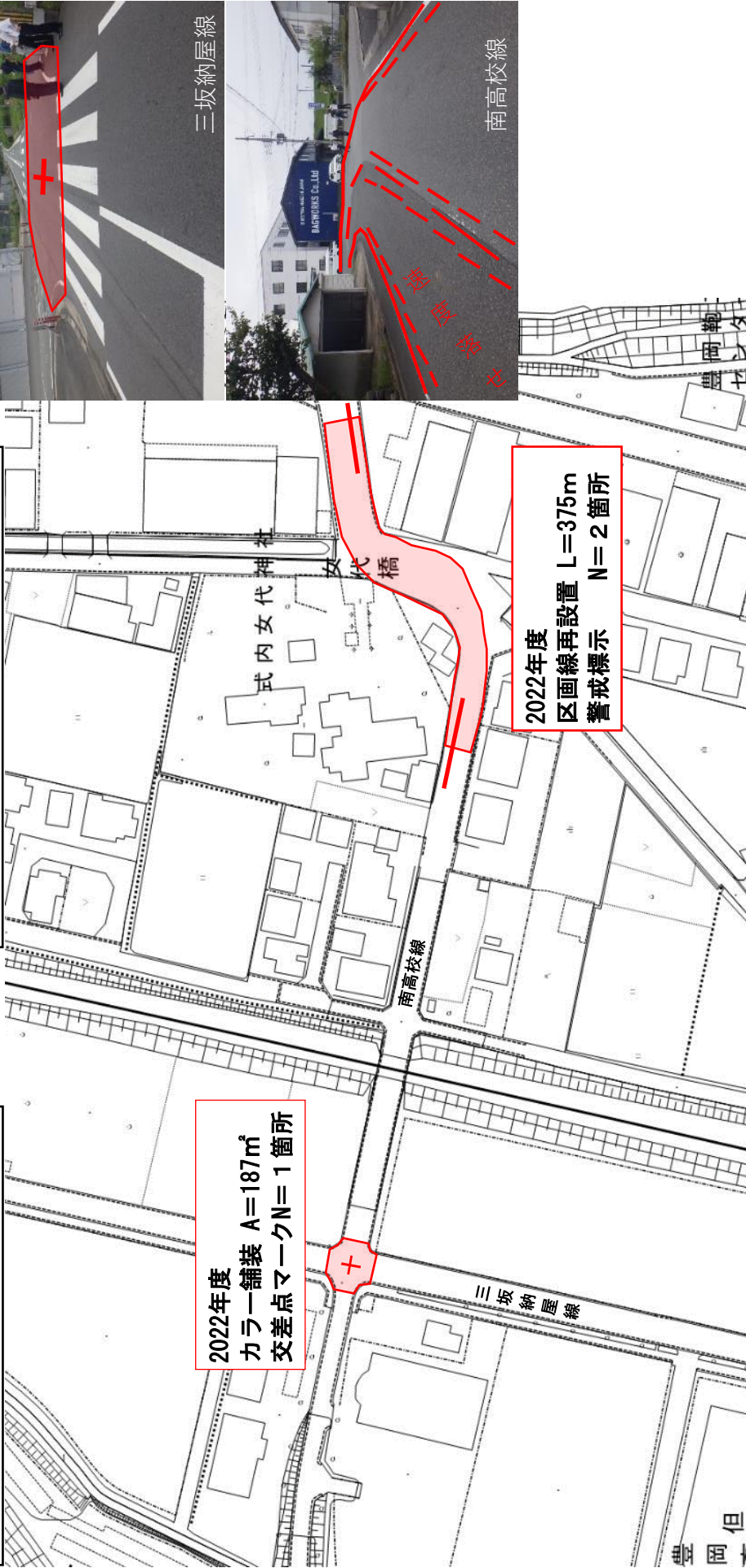
全体事業費	年度別事業費		事業概要
	2022年度	2023年度	
3,000千円	3,000千円		ペンガラ色カラー舗装：A=140㎡ T字マーク：N=1箇所 速度抑制立体シール：N=6個

・2021年度に行われた通学路合同点検の結果に基づき対策が必要な箇所の工事を実施する。

通学路交通安全緊急対策

新規

八条小学校（九日市上町地内）



工種	区画線等設置工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

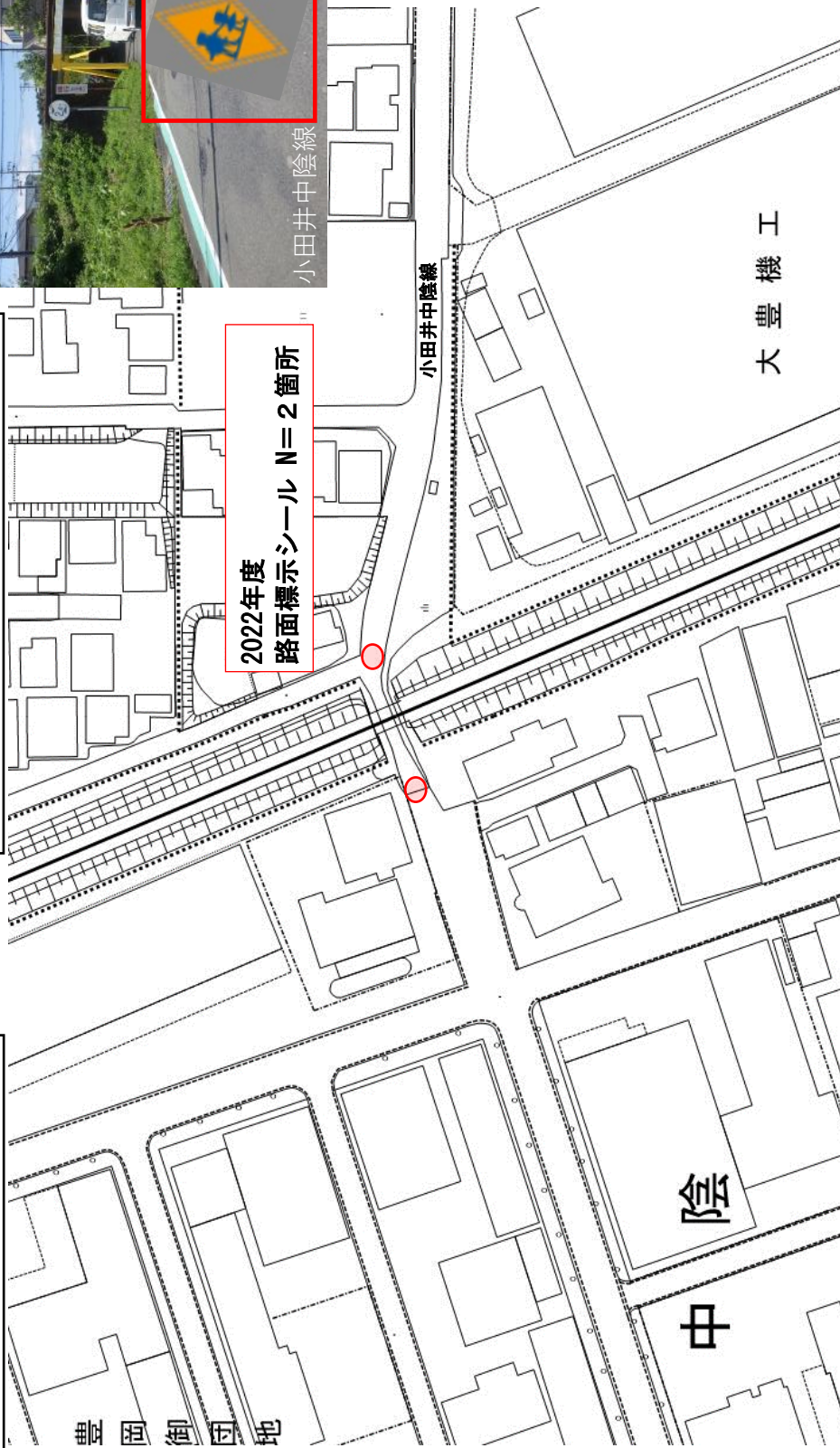
全体事業費	年度別事業費	事業概要
4,800千円	2022年度 4,800千円	ペンカラー色カラー舗装：A=187㎡ 十字マーク：N=1箇所 (速度落せ)路面標示：N=2箇所 区画線・ドット：L=300m 破線：L=75m
	2023年度	

・2021年度に行われた通学路合同点検の結果に基づき対策が必要な箇所の工事を実施する。

通学路交通安全緊急対策

新規

五荘小学校 1/2 (中陰地内)



工種	区画線等設置工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

全体事業費	100千円	
	年度別事業費	事業概要
	2022年度	100千円 [学校等あり] シール：N=2箇所
	2023年度	

・2021年度に行われた通学路合同点検の結果に基づき対策が必要な箇所の工事を実施する。

通学路交通安全緊急対策

新規

五荘小学校 2/2 (下陰地内)



2022年度
カラー舗装 A=218㎡
T字マーク N=2箇所
交差点有標識 N=1本

工種	側溝修繕工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

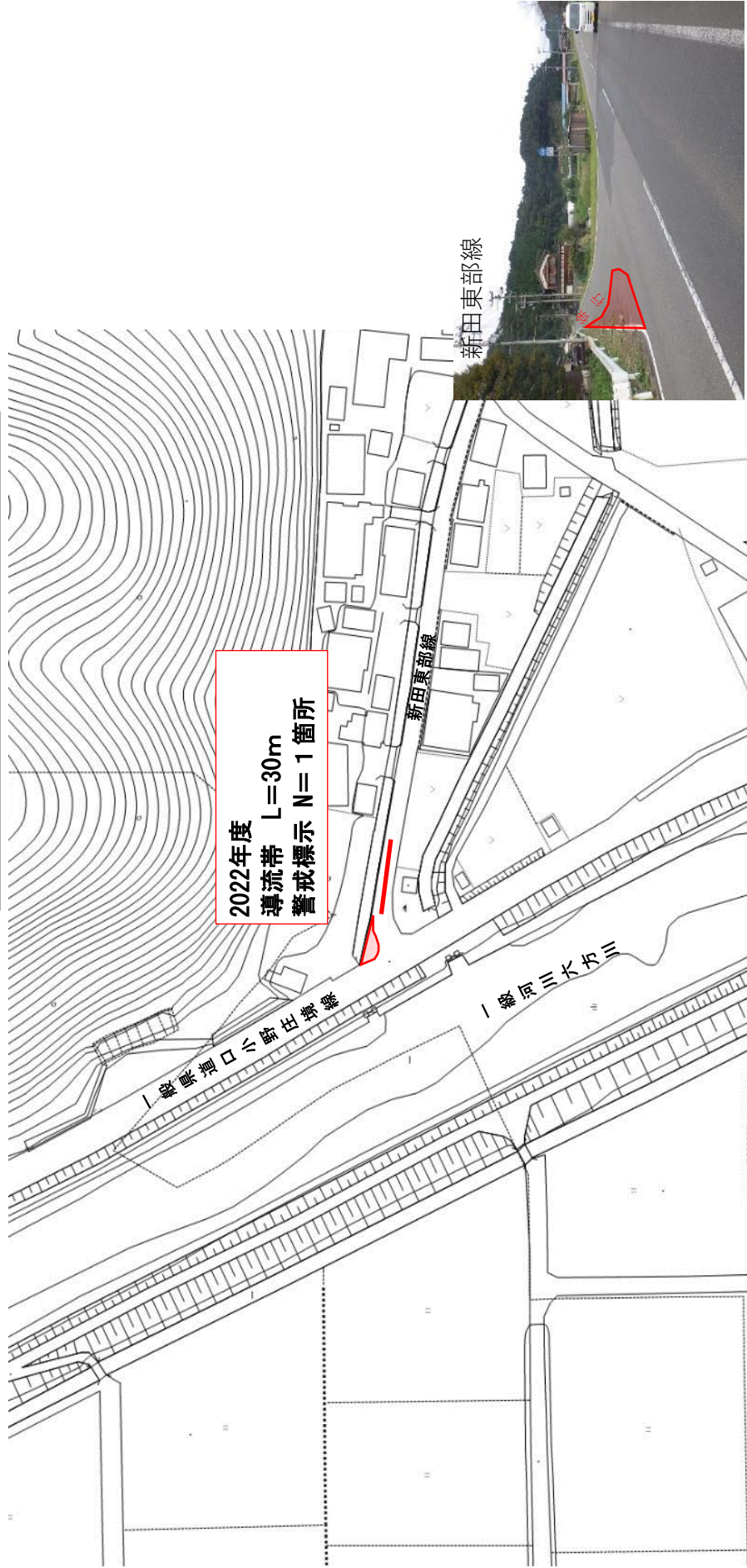
全体事業費	年度別事業費	事業概要
4,900千円	2022年度 4,900千円	ペンタラ色カラー舗装：A=218㎡ T字マーク：N=2箇所 交差点有標識：N=1本
	2022年度	

・2021年度に行われた通学路合同点検の結果に基づき対策が必要な箇所の工事を実施する。

通学路交通安全緊急対策

新規

新田小学校1/3（河谷地内）



工種	区画線等設置工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

全体事業費	500千円	年度別事業費	500千円	事業概要
		2022年度	ゼブラ：L=30m	（徐行）路面標示：N=1箇所
		2023年度		

・2021年度に行われた通学路合同点検の結果に基づき対策が必要な箇所の工事を実施する。



大篠岡駄坂線



新田小学校2/3 (大篠岡外地内)

新規

通学路交通安全緊急対策

工種	区画線等設置工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

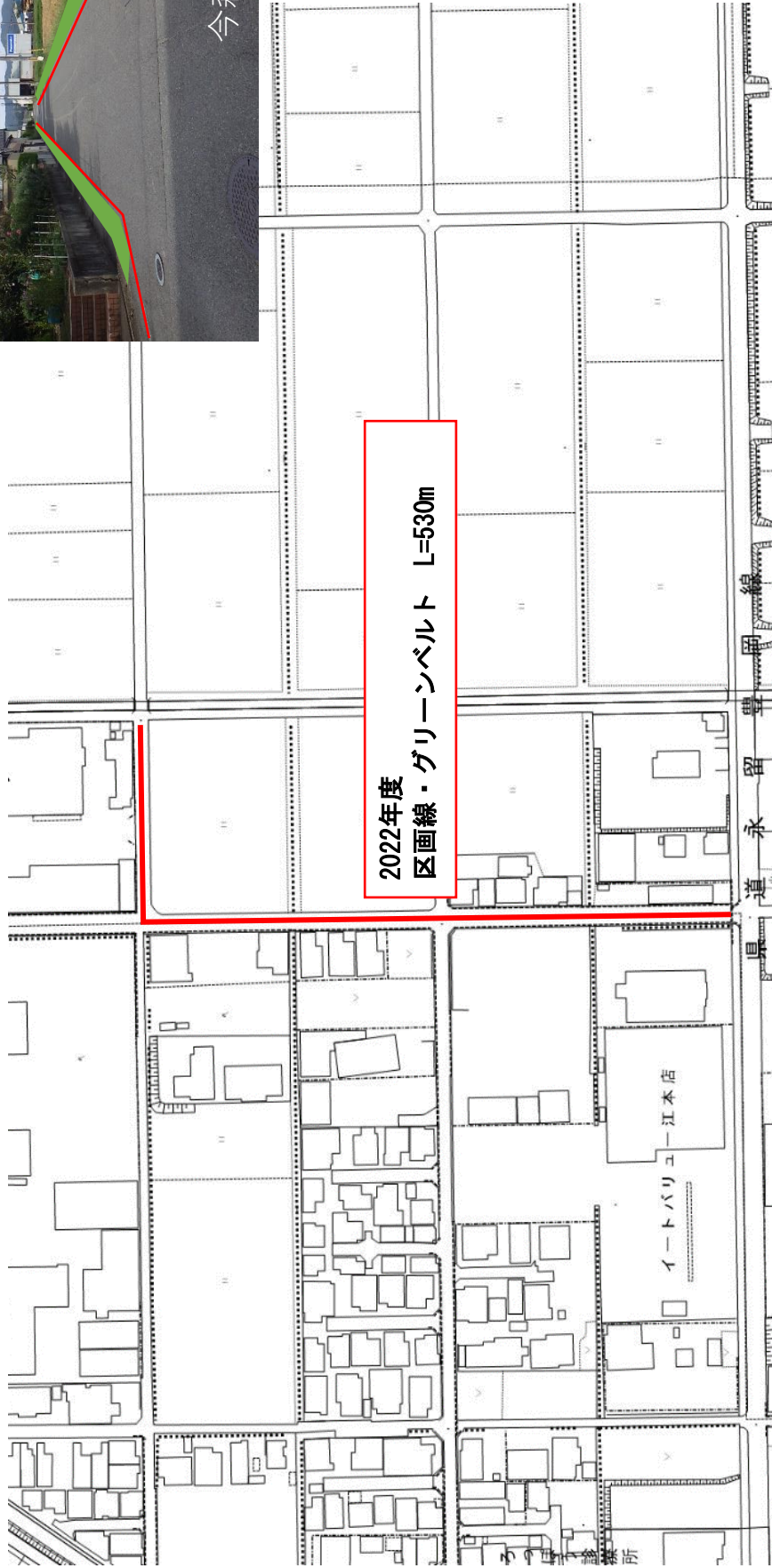
全体事業費	年度別事業費	事業概要
1,800千円	2022年度 1,800千円	区画線 (ﾊﾞｲﾄ式) : L=3.4km
	2023年度	

・2021年度に行われた通学路合同点検の結果に基づき対策が必要な箇所の工事を実施する。

通学路交通安全緊急対策

新規

新田小学校3/3 (江本外地内)



工種	道路維持工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

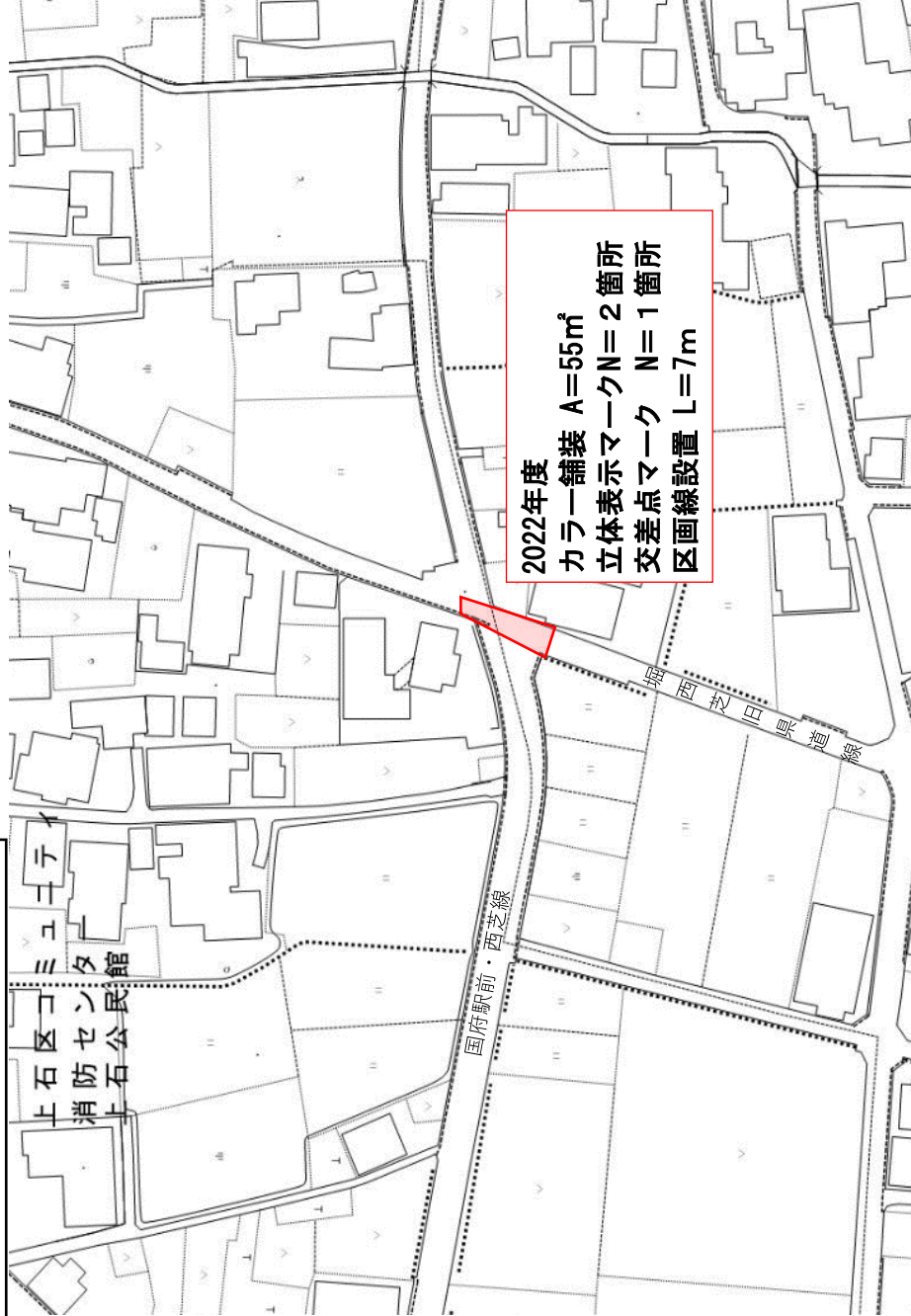
全体事業費	年度別事業費	事業概要
4,000千円	2022年度 4,000千円	グリーンベルト：L=530m 区画線：L=530m
	2023年度	

・2021年度に行われた通学路合同点検の結果に基づき対策が必要な箇所の工事を実施する。

通学路交通安全緊急対策

新規

府中小学校（日高町池上外地内）



2022年度
カラー舗装 A=55㎡
立体表示マーク N=2 箇所
交差点マーク N=1 箇所
区画線設置 L=7m

工種	区画線等設置工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

全体事業費	年度別事業費		事業概要
2,000千円	2022年度	2,000千円	AS舗装打替：A=55㎡ ペンカラー舗装：A=55㎡ 破線：L=7m 立体シール：N=6個 T字マーク：N=1箇所
	2023年度		

・2021年度に行われた通学路合同点検の結果に基づき対策が必要な箇所の工事を実施する。

通学路交通安全緊急対策

新規

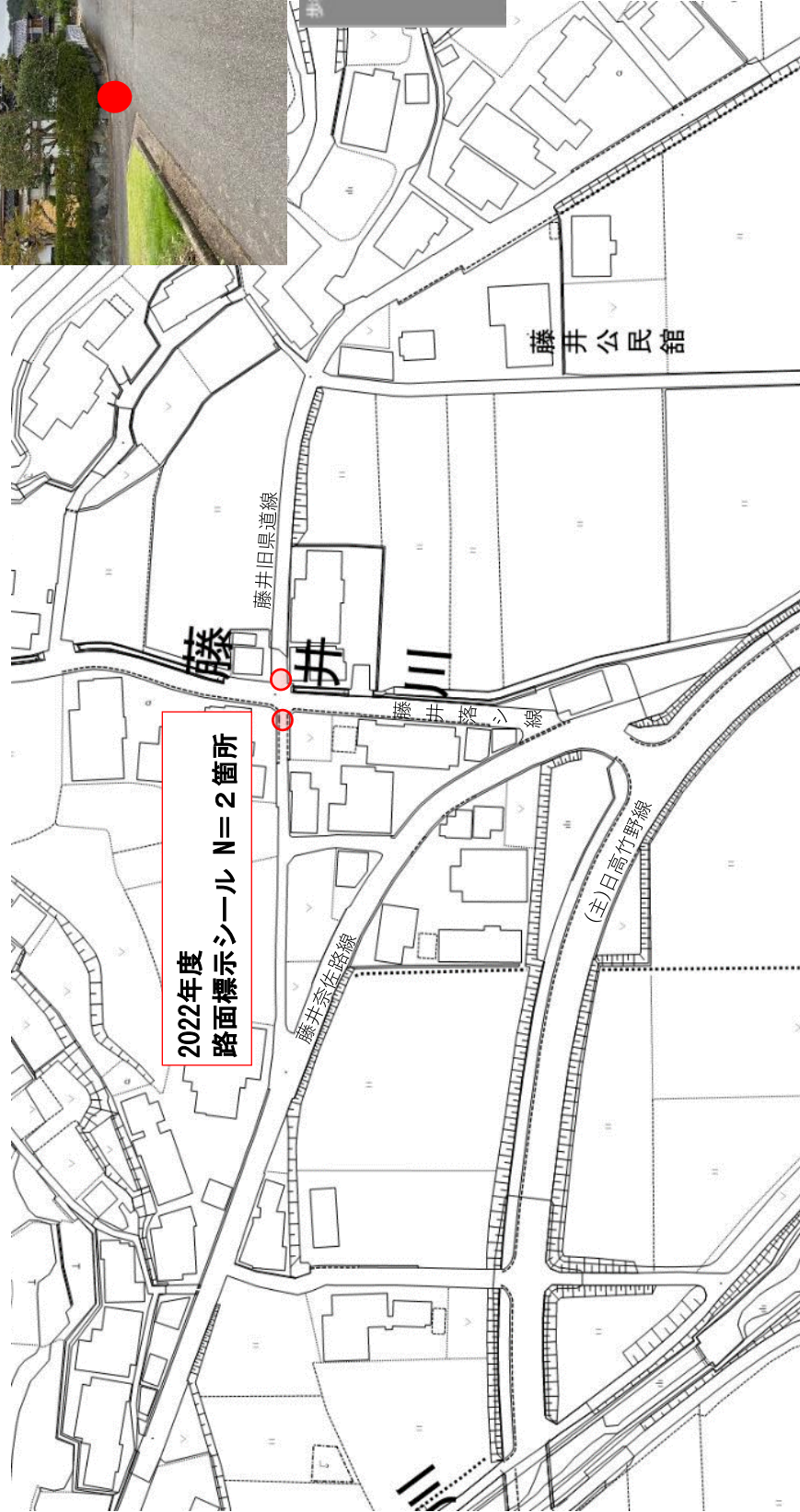
八代小学校（日高町藤井地内）



藤井旧県道線



歩行者とまれ-2 H900xW600mm



2022年度
路面標示シール N=2箇所

工種	区画線等設置工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

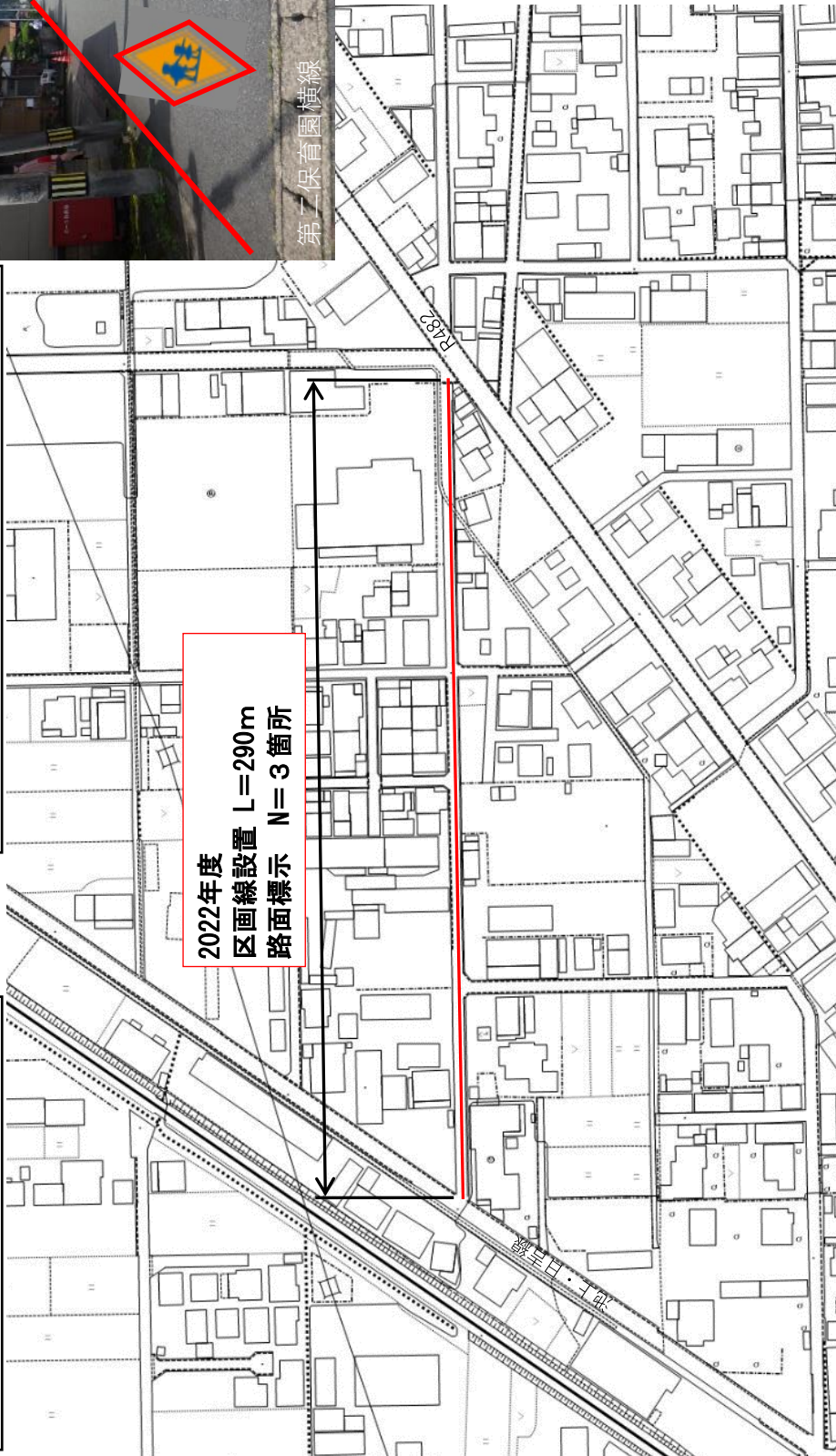
全体事業費	100千円	年度別事業費	100千円	事業概要
	2022年度		100千円	
	2023年度			
	2024年度			
	2025年度			

・2021年度に行われた通学路合同点検の結果に基づき対策が必要な箇所の工事を実施する。

通学路交通安全緊急対策

新規

日高小学校1/2 (日高町鶴岡地内)



工種	区画線等設置工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

全体事業費	700千円
年度別事業費	2022年度 700千円 2023年度

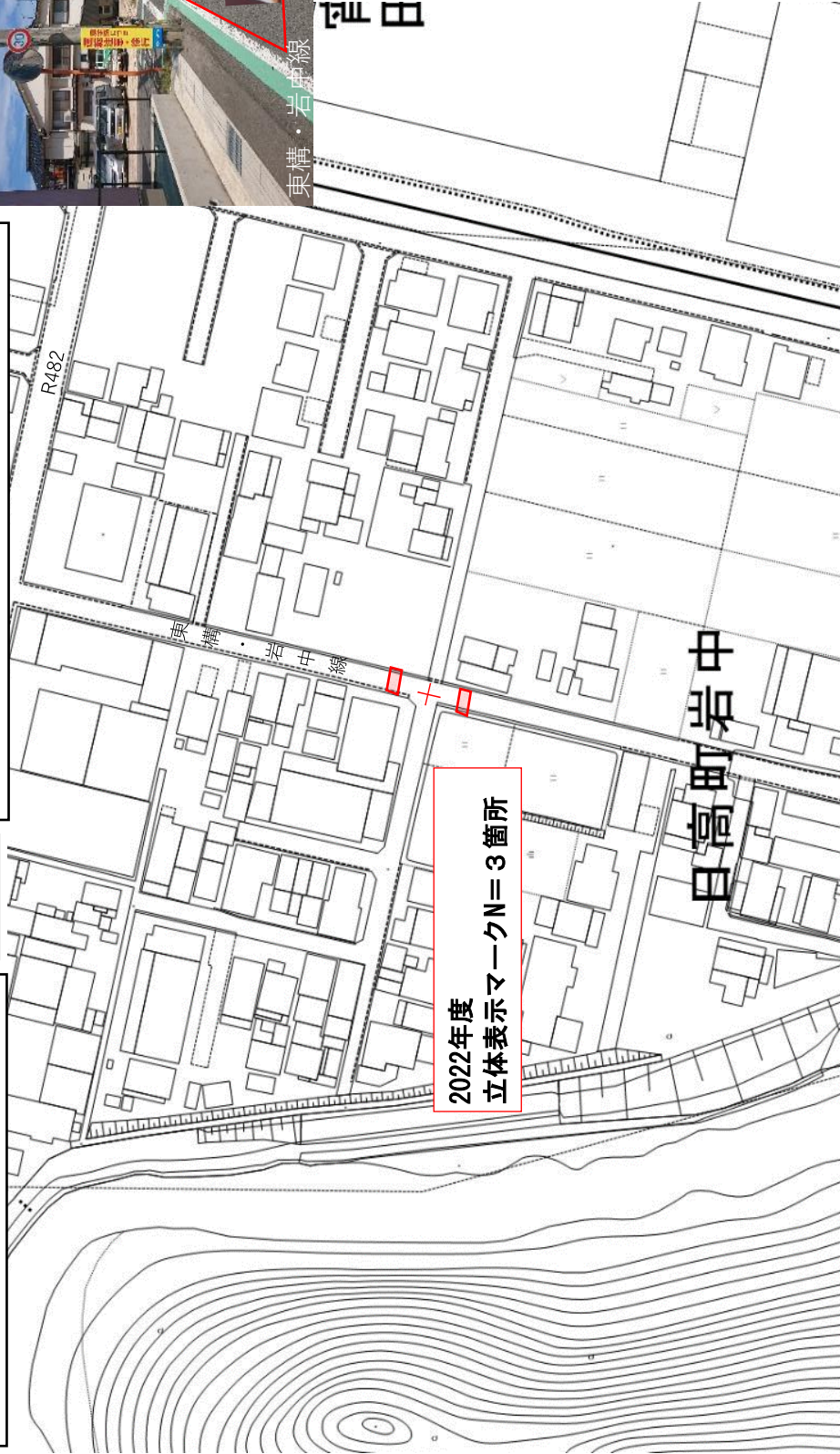
事業概要	区画線：L=290m [学校等あり] シール：N=3箇所
------	------------------------------

・2021年度に行われた通学路合同点検の結果に基づき対策が必要な箇所の工事を実施する。

通学路交通安全緊急対策

新規

日高小学校2/2 (日高町岩中地内)



工種	区画線等設置工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

全体事業費	600千円	
	年度別事業費	事業概要
	2022年度	600千円
	2023年度	十字マークシール：N=1箇所 マウンテンタイプ路面シール：N=4箇所

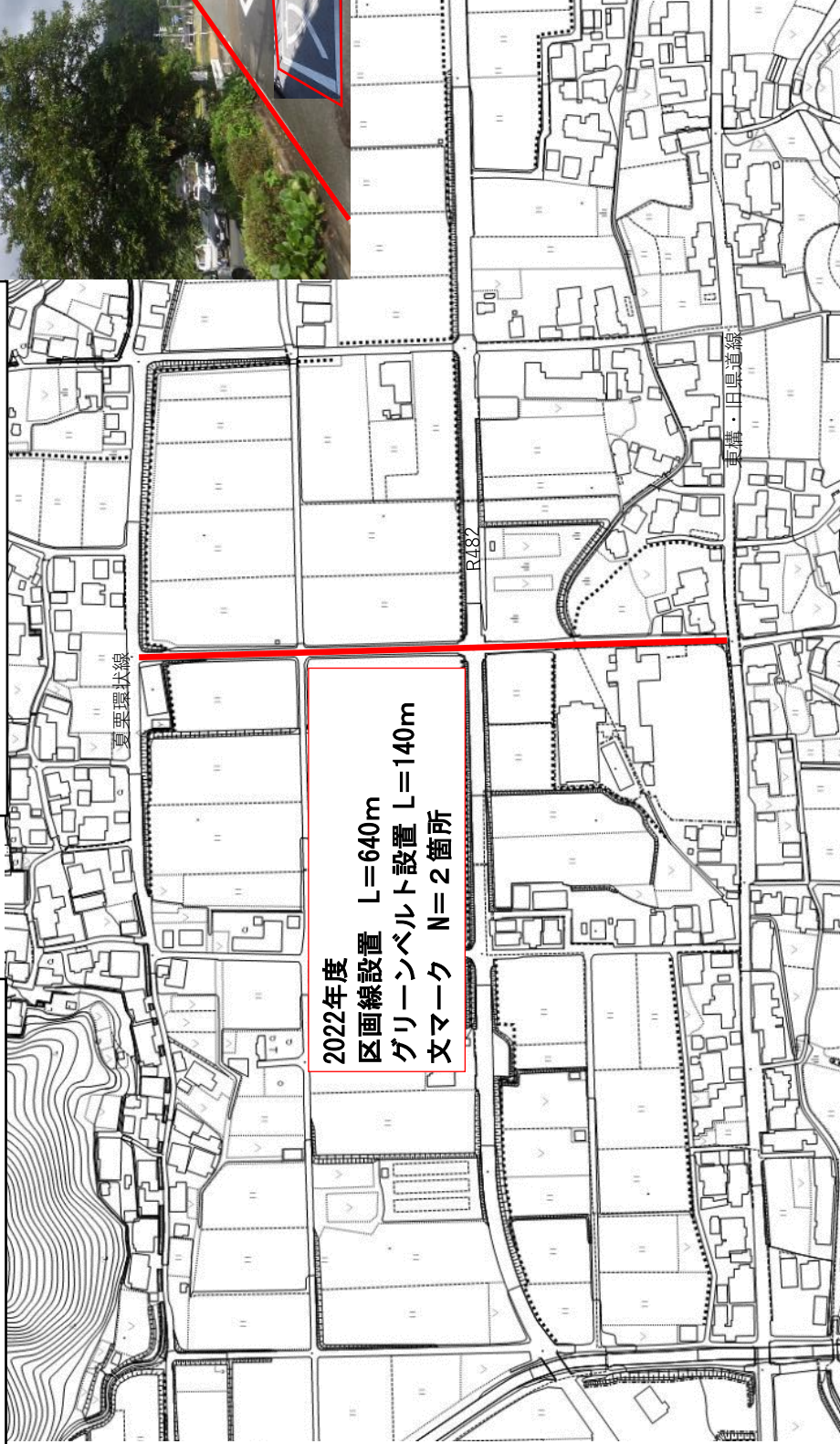
・2021年度に行われた通学路合同点検の結果に基づき対策が必要な箇所の工事を実施する。

通学路交通安全緊急対策

新規

静修小学校（日高町夏栗地内）

道場・夏栗線



2022年度
区画線設置 L=640m
グリーンベルト設置 L=140m
文マーク N=2箇所

工種	区画線等設置工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

全体事業費	1,700千円
年度別事業費	2022年度 1,700千円 2023年度

事業概要	区画線：L=640m グリーンベルト：L=140m 文マーク：N=2箇所
------	--------------------------------------

・2021年度に行われた通学路合同点検の結果に基づき対策が必要な箇所の工事を実施する。



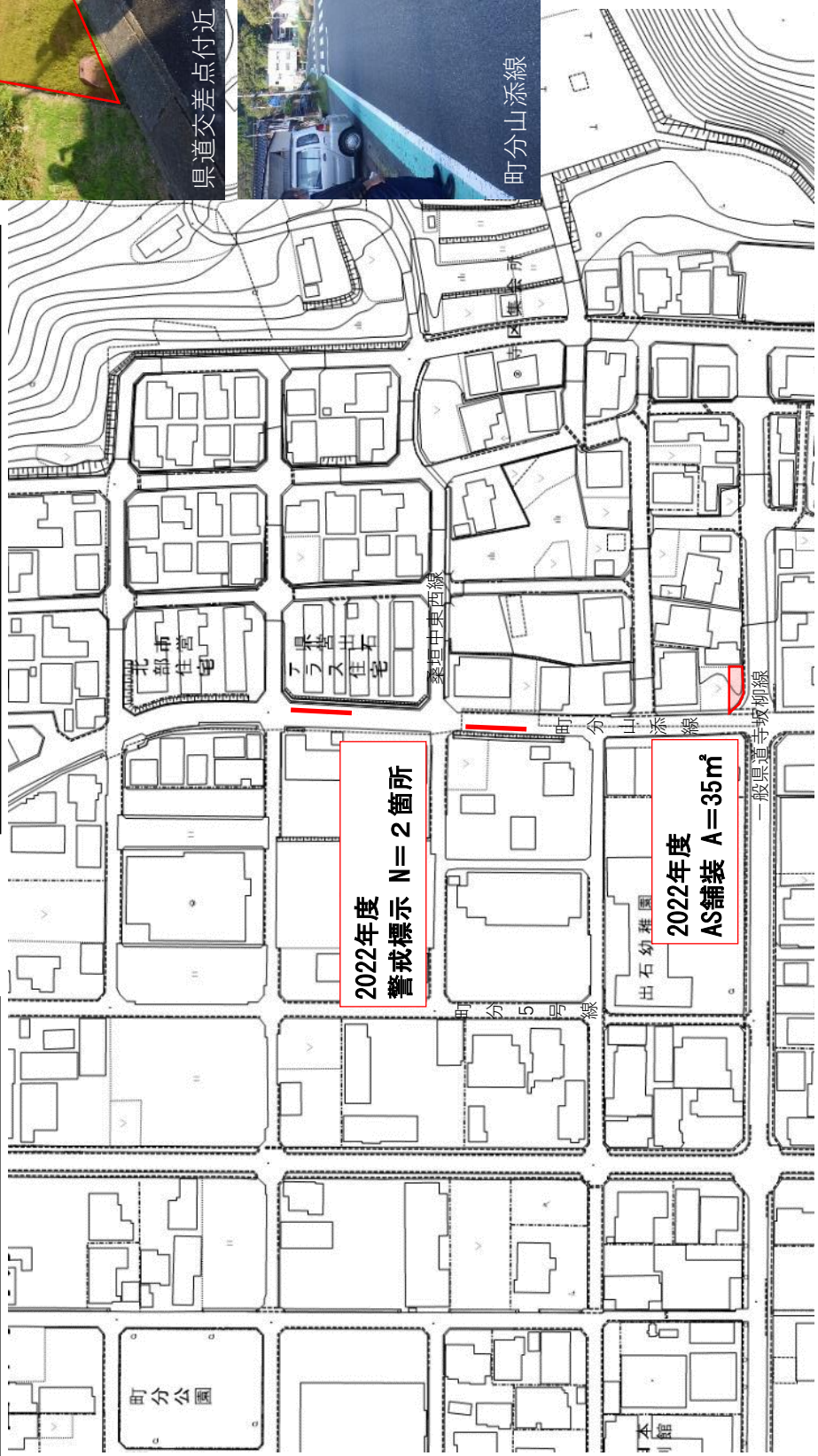
工種	区画線等設置工事	年度別事業費		事業概要
		2022年度	2023年度	
事業予定着手年度	2022年度	1,200千円	1,200千円	グリーンベルト：L=380m
事業予定完了年度	2022年度			

・2021年度に行われた通学路合同点検の結果に基づき対策が必要な箇所の工事を実施する。

通学路交通安全緊急対策

新規

弘道小学校 1/2 (出石町寺町地内)



工種	区画線等設置工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

全体事業費	600千円	年度別事業費	2022年度 600千円	事業概要	As舗装 : A=35㎡ (速度落せ) 路面標示 : N=2箇所
			2023年度		

・2021年度に行われた通学路合同点検の結果に基づき対策が必要な箇所の工事を実施する。

通学路交通安全緊急対策

新規

弘道小学校 2 / 2 (出石町分地内)



工種	道路改良工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

全体事業費	4,500千円
年度別事業費	2022年度 4,500千円 2023年度

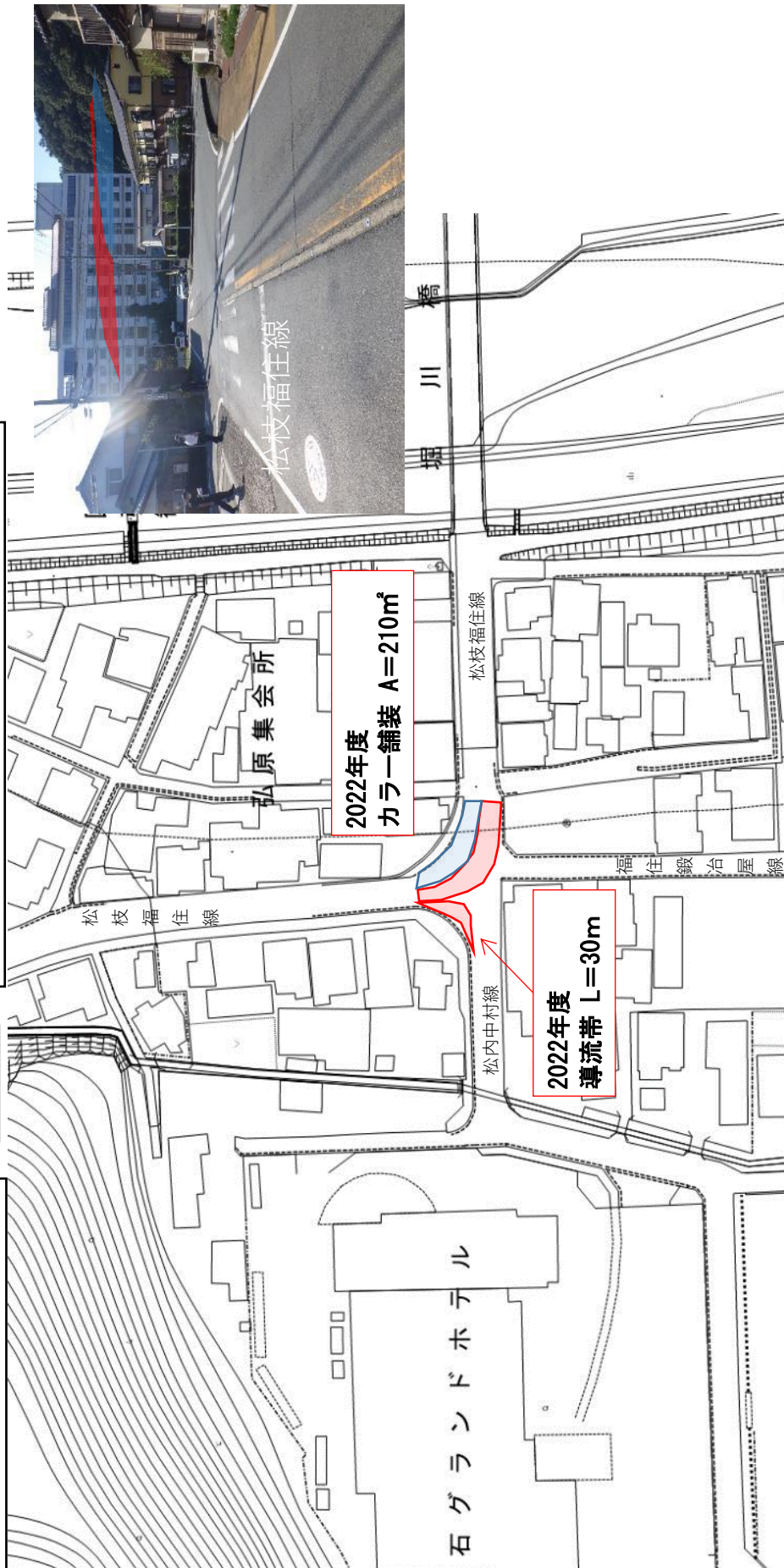
事業概要	転落防止柵：L=210m
------	--------------

・2021年度に行われた通学路合同点検の結果に基づき対策が必要な箇所の工事を実施する。

通学路交通安全緊急対策

新規

福住小学校 1 / 2 (出石町福住地内)



工種	区画線等設置工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

全体事業費		年度別事業費		事業概要	
3,500千円	3,500千円	2022年度	3,500千円	ペンガラ色カラー舗装 : A=105㎡	青色カラー舗装 : A=105㎡
		2023年度		ゼブラ : L=30m	

・2021年度に行われた通学路合同点検の結果に基づき対策が必要な箇所の工事を実施する。

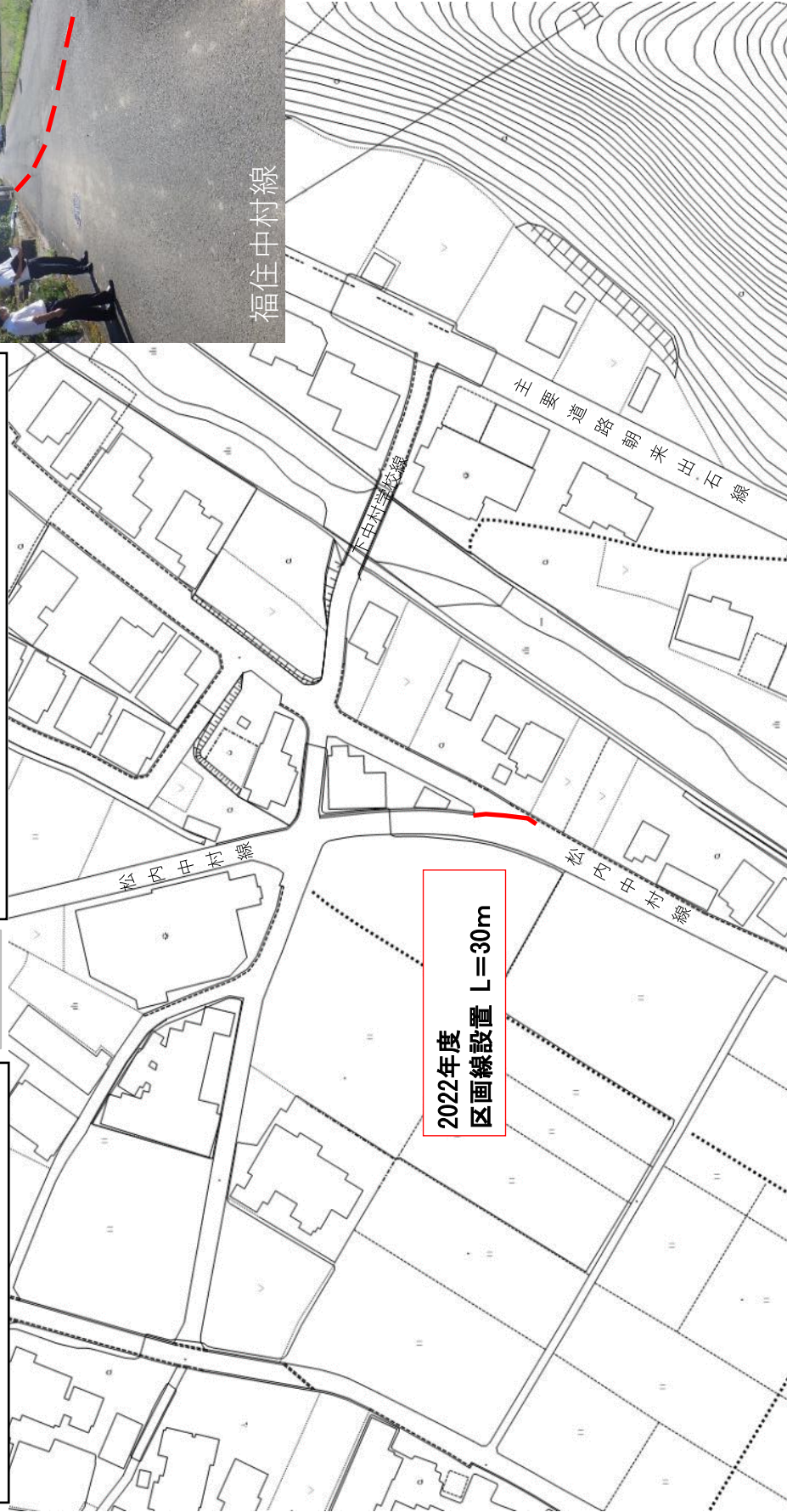
通学路交通安全緊急対策

新規

福住小学校 2 / 2 (出石町中村地内)



福住中村線



2022年度
区画線設置 L=30m

工種	区画線等設置工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

全体事業費	年度別事業費		事業概要
	2022年度	2023年度	
50千円	50千円		破線：L=30m

・2021年度に行われた通学路合同点検の結果に基づき対策が必要な箇所の工事を実施する。

通学路交通安全緊急対策

新規

資母小学校（但東町中山地内）



工種	区画線等設置工事
事業予定着手年度	2022年度
事業予定完了年度	2022年度

全体事業費	700千円
-------	-------

年度別事業費	2022年度	700千円
	2023年度	

事業概要	ペンガラ色カラー舗装：A=10㎡	
------	------------------	--

・2021年度に行われた通学路合同点検の結果に基づき対策が必要な箇所の工事を実施する。

No.28	事業名 公共交通利用促進事業 (ノーマイカーデーの拡充 実証実験)	2022 年度 予算額	3,856 千円	新規 拡大 継続
-------	--	-------------------	----------	----------------

1 事業目的 (趣旨)

マイカーの普及や人口減少等により、公共交通の利用者は大きく減少している。
公共交通への市民の関心を高め、利用促進を図ることにより、市内公共交通を次世代へ繋ぐことを目的とする。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

これまで毎月第2水曜日を「豊岡ノーマイカーデー (※1)」とし、事業者の協力により「ノーマイカーデーフリーチケット (※2)」を販売いただき、バス交通の利用促進に取り組んできた。

新年度から「豊岡ノーマイカーデー」を毎月2回(実施日調整中)に拡大し、併せて「ノーマイカーデーフリーチケット」を販売し、バス交通利用促進を拡充する。

(※1) 「環境都市豊岡エコバレー」の実現に向け、マイカー依存の生活を見つめなおし、二酸化炭素の排出削減や歩いて暮らすまちづくりに効果のある公共交通の利用促進に取り組むもの。

(※2) 「豊岡ノーマイカーデー」の参加特典。市内を運行する路線バスに500円で1日乗り放題となるフリー乗車券を全但バスが販売。

(2) 事業期間

2022年4月～(3年間の実証実験)

(3) 事業主体

全但バス株式会社

3 2022年度予算

(1) 予算額

豊岡市路線バス活性化実証実験運行費補助金 3,856千円(補助率10/10)

(2) 事業内容

全但バス株式会社が実証実施する毎月2回の「豊岡ノーマイカーデーフリーチケット」の取組みに係る運行経費等を支援し、連携した利用促進に取り組む。

- ・運行経費 2,736千円 (@114,000/回×2回×12カ月)
- ・事務経費 720千円 (発券、集金業務等)
- ・印刷費 400千円 (フリーチケット印刷代他)

担当課名【都市整備課】(内線2481)

施策体系番号 3-2-4-4

No.29	事業名 城崎振興局の取組み	2022 年度 予算額	9,656 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

城崎地域では、年間を通じて安定した宿泊者数が見込めるよう城崎温泉の魅力を向上させる取組みを行う。

城崎の伝統工芸である麦わら細工について、市内の小学生を対象とした体験教室を行い、子どもたちの地域への愛着を育む。また、若者等の声を地域づくりに反映できるように、意見交換の場を創出する。

2 全体の事業内容

(1) 予算額

9,656 千円

(2) 事業内容

城崎振興局プロジェクト事業

ア 城崎温泉夢花火事業

事業内容：夏期（夏休み期間中の平日）の花火打上げに対して支援する。

事業費：上限5,000千円（対象経費の1/2以内）

事業主体：城崎温泉観光協会

イ 柳・桜並木整備事業

事業内容：樹木の健全な育成を図るため、剪定、伐採、植替え等を実施する。

事業費：1,812 千円

事業主体：豊岡市

ウ 太鼓橋・パラペット美装化事業

事業内容：大谿川パラペットの表面モルタルに亀裂、剥落が発生しているため、美装化工事を実施する（太鼓橋は2020年度で改修が完了している）。

事業費：2,319 千円

事業主体：豊岡市

エ 麦わら細工振興事業（新規）

事業内容：市内の児童を対象に、麦わら細工の歴史と魅力についての学習会と製作体験を実施する。

事業費：425 千円

事業主体：豊岡市

オ 若者会議事業（新規）

事業内容：地域づくりに対する若者世代の意見・提言を聞く機会を設ける。

事業費：100 千円

事業主体：豊岡市

担当課名【城崎振興局地域振興課】（内線 5002）

施策体系番号 6-1-1-2

No.30 事業名 竹野振興局の取組み	2022 年度 予算額	13,481 千円	新規 拡大 継続
---------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

地域の情報発信や地域の特色を活かした事業を推進することにより、人口減少の緩和と地域振興を図る。併せて、住民の声を地域づくりに反映できるよう、若者を中心とする方々との意見交換の場を創出する。

2 2022 年度予算

(1) 予算額 13,481 千円

(2) 事業内容

振興局プロジェクト事業

ア 竹野地域で行われる事業への支援

事業内容：竹野の知名度向上及び地域経済活性化のために行われる事業（北前まつり、竹野浜オープンウォータースイミング大会、たけの海上花火大会、竹野カニカーニバル）へ支援を行う。

事業費：6,500 千円

事業主体：北前まつり実行委員会、一般社団法人たけの観光協会、竹野町海上花火大会実行委員会、竹野町かにまつり実行委員会

イ 仲田光成作品洗浄事業（新規）

事業内容：書家の仲田光成氏から豊岡市に寄贈頂いた作品の洗浄を行う。

事業費：5,432 千円

事業主体：豊岡市

ウ 竹野焼杉板景観保全事業

事業内容：竹野駅から竹野浜間を対象地域として、家屋の外壁に焼杉板を使用することに対して材料費の 1/3（上限 20 万円）を補助する。

事業費：1,000 千円

事業主体：豊岡市

エ 川湊再生プロジェクト事業

事業内容：竹野川河口付近を中心に「海町マーケット」や「まち歩き散策」など様々な事業を展開する。

事業費：449 千円

事業主体：川湊再生プロジェクト運営協議会、豊岡市

オ 若者会議の開催（新規）

事業内容：住民の声を地域づくりに反映できるよう、若者を中心とする方々との意見交換の場を創出する。

事業費：100 千円

事業主体：豊岡市

担当課名【竹野振興局地域振興課】(内線 5210)

施策体系番号 6-1-1-3、3-1-2-1

No.31 事業名 日高振興局の取組み	2022 年度 予算額	8,745 千円	新規 拡大 継続
---------------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

日高で暮らす若者の増加を目指し、観光事業等による地域の活性化、協働のまちづくりの推進、移住・定住の促進、交流人口の拡大を図る。

2 2022 年度予算

(1) 予算額 8,745 千円

(2) 事業内容

ア 日高振興局プロジェクト事業

(ア) 日高地域づくり運営事業（新規）

事業内容：若者や子育てグループ等のまちづくりに対する提言を振興局プロジェクトに反映させるなど協働のまちづくりを推進する。

事業費：100千円

(イ) 日高地域の先輩に学ぶ授業

事業内容：日高地域で仕事などに活躍している若手が講師となって、中学生（日高東・西中学校）に対して体験談や考え方を伝える授業を実施する。

事業費：80千円

イ 観光事業

(ア) 道の駅「神鍋高原」整備事業（新規）

事業内容：道の駅周辺の観光事業者や生産者等と一緒に道の駅の機能や運営手法等も含めた道の駅の最適化を図る整備計画を策定する。

事業費：2,093千円

(イ) 観光施設管理

事業内容：道の駅「神鍋高原」（神鍋温泉ゆとろぎ含む）の維持管理のための修繕を実施する。観光トイレ（2施設）の解体工事を実施する。

事業費：5,472千円

(ウ) 日高夏まつり事業

事業内容：日高夏まつり事業について補助支援する。

事業費：1,000千円

担当課名【日高振興局地域振興課】（内線 5402）

施策体系番号 6-1-1-4、3-1-2-2、3-1-2-3

No.32	事業名 出石振興局の取組み	2022 年度 予算額	8,087 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

観光地としての魅力向上を図るため、出石城下町エリアの文化財施設を修繕するとともに、今年で第50回を迎える出石お城まつりへの支援を行う。

また、地域づくりに対する若者世代の意見・提言を聞く場として、若者会議を開催する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア 出石振興局プロジェクト

(ア) 出石お城まつり事業補助金(第50回)

コロナ禍により2カ年延期した第50回出石お城まつりについて、地域活性化、槍振りの後継者育成を目的として支援を行う

(イ) 若者会議の開催

地域づくりに対する若者世代の意見・提言を聞く機会を設ける

(ウ) 出石交通環境改善事業

交通環境改善計画策定に係る連携大学等との協議

イ 観光関係施設の整備

(ア) 辰鼓楼外壁防腐剤塗装

経年劣化による外壁の色褪せ等が著しいため、外壁の塗装修繕を行う

(イ) 歴史資料館等文化財施設修繕

出石永楽館西面樋修繕、出石史料館老朽箇所修繕、出石家老屋敷雨戸戸袋修繕、加藤弘之生家自動火災報知設備設置等

(2) 事業期間

2022年度

(3) 全体事業費

ア 出石振興局プロジェクト 2,654千円

(ア) 出石お城まつり事業補助金(第50回) 2,500千円

(イ) 若者会議の開催 100千円

(ウ) 出石交通環境改善事業 54千円

イ 観光関係施設の整備 5,433千円

(ア) 辰鼓楼外壁防腐剤塗装 3,265千円

(イ) 歴史資料館等文化財施設修繕等 2,168千円

担当課名【出石振興局地域振興課】（内線 5607）

施策体系番号 5-1-2-2, 6-1-1-5

No.33 事業名 但東振興局の取組み	2022 年度 予算額	86,600 千円	新規 拡大 継続
---------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

但東地域では、子どものある世帯を中心に移住定住者を増やすことにより、人口減少を緩やかにするとともに、地域で暮らす魅力を高めていく。

地域振興の拠点施設であるシルク温泉やまびこの施設整備、たんとうチューリップまつりなど地域の取組みを支援し、但東地域の認知・魅力度の向上を図り、地域経済の活性化、移住促進につなげる。

2 全体の事業内容

(1) 予算額 86,600 千円

(2) 事業内容

ア 但東振興局プロジェクト事業

(ア) 移住促進住宅運営事業（継続）

事業内容：中山向町移住促進住宅の施設修繕等

事業費：5,000 千円

事業主体：豊岡市

(イ) 若者会議（新規）

事業内容：市民が将来像や理想を共有し、実現のための手法を共に探し、共に実行する“誰にも居場所のある地域”をつくるため、多様な人々が集まって、気軽に“まちの将来像”や“希望”を語り合える「場」を創出する。

事業費：100 千円

事業主体：豊岡市

イ 治山事業（継続）

事業内容：但東シルク温泉やまびこ法面崩壊対策工事

事業費：69,500 千円（緊急自然災害防止対策事業債）

事業主体：豊岡市

ウ 但東シルク温泉やまびこ管理（継続）

事業内容：温泉設備更新、空調設備更新等

事業費：10,000 千円

事業主体：豊岡市

エ 但東観光施設管理（拡大）

事業内容：たんとうチューリップまつり開催事業費補助

事業費：2,000 千円（対象経費の 1/2 以内：上限 2,000 千円）

事業主体：たんとうチューリップまつり実行委員会

担当課名【但東振興局地域振興課】（内線 5802）

施策体系番号 6-1-1-6、3-1-2-2

No.34	事業名	市民交流広場、こども広場の運営管理	2022 年度 予算額	61,422 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市民に子育て支援、女性の活躍支援及び多文化共生の機会並びに交流の場の提供を行い、多様性を受け入れるまちづくりを推進する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

施設の管理運営

(2) 事業期間

2022 年度 ～

(3) 事業主体

豊岡市

こども広場（イメージ図）



【こども広場入場料】

使用区分		使用料
子ども (1歳未満を除く。)	1人1回	200円
保護者等	1人1回	300円

3 2022 年度予算

(1) 予算額

61,422 千円

(2) 事業内容

ア 施設の維持管理 47,703 千円

イ 市民交流広場、こども広場の運営 13,719 千円

指定管理者制度により、市民交流広場の貸館、活用、こども広場の営業を行う。

担当課名【こども育成課】（内線 2553）

施策体系番号 4-1-1-3

No.35	事業名 放課後児童クラブ整備事業	2022 年度 予算額	20,080 千円	新規 拡大 継続
-------	------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画」に基づく施設整備。
 学校施設を活用した放課後児童クラブの開設、閉園する幼稚園施設を活用した放課後児童クラブの専用施設化にあたり、必要な施設整備を行い、放課後児童の健全育成を図るとともに、家庭の子育てと仕事の両立を支援する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア 豊岡第2放課後児童クラブ

豊岡ひかり幼稚園（2023年3月末閉園予定）で実施している同クラブを、豊岡小学校の校舎内に移転する。

豊岡小学校の第一ミーティングルーム及び第二ミーティングルームを児童クラブの活動室に改修するとともに、児童の手洗い場やロッカー等を整備する。

イ 新田・神美放課後児童クラブ

新田幼稚園及び神美幼稚園（2023年3月末閉園予定）を放課後児童クラブの専用施設とするため、トイレ等の改修を行う。

(2) 事業期間

豊岡第2放課後児童クラブ 2021年度～2022年度

新田・神美放課後児童クラブ 2022年度～2023年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

豊岡第2放課後児童クラブ 18,658千円

（子ども・子育て支援整備交付金 基準額の国 1/3 県 1/3）

新田・神美放課後児童クラブ 20,275千円

3 2022年度予算

(1) 予算額

豊岡第2放課後児童クラブ 整備工事 16,000千円

工事監理 1,300千円

新田・神美放課後児童クラブ 実施設計 2,780千円

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

施策体系番号 4-1-1-4

No.36	事業名 私立認定こども園の整備	2022 年度 予算額	201,261 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画」に基づき、保育所から認定こども園へ移行する法人に対し、施設整備費補助金を交付する。

園児数の少ない公立幼稚園を閉園し、その受け入れ先として、私立認定こども園を整備することで、適正規模の子ども集団を確保し、子ども同士が共に遊び、育ち合い、学び合える環境を整える。併せて、利用定員を拡大し、待機児童の解消を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

保育所から認定こども園へ移行するために必要な施設整備費の 3/4 を補助する。

ア アートチャイルドケア豊岡こうのとり保育園を増築・改修し、新田幼稚園・中筋幼稚園・神美幼稚園を統合して私立認定こども園に移行する。

イ 蓼川保育園を増築・改修し、日高幼稚園を統合して私立認定こども園に移行する。

(2) 事業期間

ア アートチャイルドケア豊岡こうのとり保育園 2022 年度 施設整備
2023 年 4 月 認定こども園開園

イ 蓼川保育園 2022 年度～2023 年度 施設整備
2024 年 4 月 認定こども園開園

(3) 事業主体

ア アートチャイルドケア 株式会社

イ 社会福祉法人 蓼川福社会

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

404,087 千円

〔 保育所等整備交付金 交付基準額の 1/2 又は 2/3
認定こども園施設整備交付金 交付基準額の 1/2
合併特例債

3 2022 年度予算

201,261 千円

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

施策体系番号 4-1-1-5